



お知らせ

- ・ 回線検出を「する」（お買い上げ時は「する」）にしていると、留守録転送ができない場合があります。
- ・ おやすみモードをセットしている場合は、留守録転送はできません。
- ・ 携帯電話設定機能（P.80～87）を利用して携帯電話に電話をかけるときは、事業者識別番号を自動的につけてダイヤルします。このとき、親機の【オンフック】が点滅します。



ワンポイント

- 登録した電話番号を変えるには
手順 6 で【消去／キャッチ】を押して番号を消去した後、新しい番号を入力します。
- 留守録転送をやめるには
手順 4 で「しない」を選びます。

転送先で用件を聞く

転送先の呼び出しは、新しい用件が録音されてから約 1 分後に行われます。転送先では次のように操作してください。

- 1 転送先に電話がかかってくるとき
- 2 電話を受けると「こちらは留守番電話です。留守録を転送します。シャープ（#）を押してください」というメッセージが繰り返し流れる間に # を押す
 トーン信号に切り替える電話機から操作するときは、# を押す前にトーン信号に切り替えてください。
 「暗証なし」に設定しているときは手順 4 に進みます。
- 3 「暗証番号を入れてください」というメッセージが流れ終わったら暗証番号（4 桁の数字）を入力する
 お買い上げ時は「1234」に設定されています。
 「暗証番号が間違っています」というメッセージが流れるときは、正しい暗証番号を入力し直してください。2 回間違えると電話は切れます。
- 4 「留守録を再生します」というメッセージが流れる
 新しい用件が再生されます。
- 5 「操作番号を入れてください」というメッセージが流れる
 外線リモート操作（P.102）ができます。
- 6 操作が終わったら、9 # を押す
- 7 電話を切る



お知らせ

- 留守録転送で用件を聞くことができるのは、プッシュ回線の電話機か、トーン（プッシュ）信号を出せる電話機からのみです。
- 本商品が操作待ちの状態、20 秒間何も操作をしないと回線が切断されます。
- 手順 6 の 9 # を押さずに電話を切ると、20 秒間話し中の状態になったあと待機状態に戻ります。



ワンポイント

●転送ができなかった場合は

転送先が話し中のときや電話に出なかったときなど、転送ができなかったときは、2 分間隔で、2 回まで再転送します。それでも転送できなかったときや、手順 3 で暗証番号を 2 回間違えたときは、転送動作が解除されます。ただし、また新しい用件が録音された場合は、その都度転送先の電話番号に電話をかけます。

留守モード時の呼出回数を設定する

「トールセーバー」を設定するとき

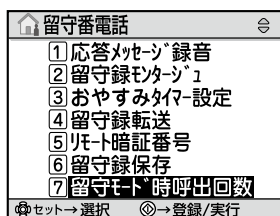
トールセーバー機能を使うと、外出先から本商品に電話をかけたときの留守応答までの呼出回数で、未再生の留守録の有無を簡単に確認できます。未再生の留守録があるときは、受話器から呼出音が2回聞こえた後、留守応答します。未再生の留守録がないときは受話器から呼出音が5回聞こえた後に応答します。3回目の呼出音を聞いた時点で新しい留守録がないことを確認できるので、そこで電話を切れば通話料金はかかりません。（お買い上げ時の設定は「トールセーバー」になっています）

1 【メニュー】を押す

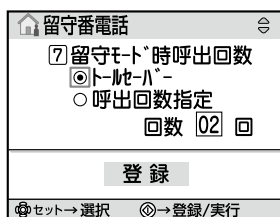
2 「留守番電話」をタッチする



3 Δ/∇ で「留守モード時呼出回数」を選択し、【セット】を押す



4 Δ/∇ で「トールセーバー」を選択し、【セット】を押す



5 【スタート/コピー】を押す

「呼出回数指定」を設定するとき

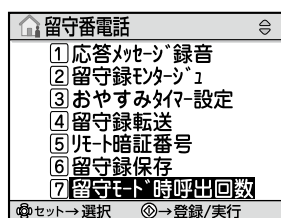
留守モード時呼出回数を「呼出回数指定」に設定しているときは、未再生の留守録の有無にかかわらず、設定された回数の呼出音が鳴ります。

1 【メニュー】を押す

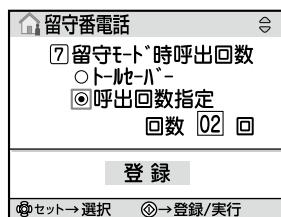
2 「留守番電話」をタッチする



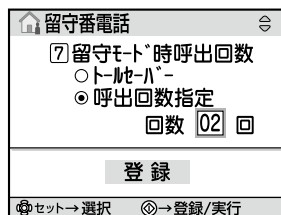
3 Δ/∇ で「留守モード時呼出回数」を選択し、【セット】を押す



4 Δ/∇ で「呼出回数指定」を選択し、【セット】を押す

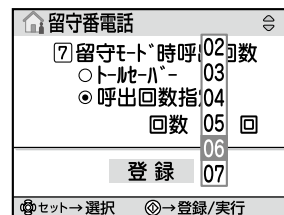


5 Δ/∇ で「回数」を選択し、【セット】を押す

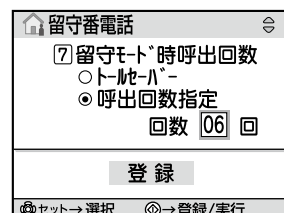


6 Δ/∇ で回数 (1 ~ 15) を選択し、【セット】を押す

お買い上げ時の設定は「2回」になっています。



7 【スタート/コピー】を押す



お知らせ

- 外出先から本商品にかけたときに受話器から聞こえる呼出回数と、実際に本商品が発しているベル音の回数はベル音 (P.48) の設定により異なることがあります。本設定の「呼出回数」は、外出先から本商品にかけたときに受話器から聞こえる呼出回数です。

留守録保存を設定する

再生済みの用件をメモリに保存するかどうかを設定します。「しない」に設定すると、留守モードをセットするときに再生済みの用件が自動的にメモリから消去されます。

(お買い上げ時の設定は「する」になっています。)

1 【メニュー】を押す

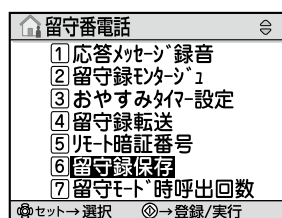
2 「留守番電話」をタッチする



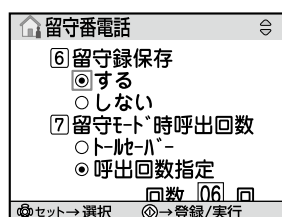
3 △/▽で「留守録保存」を選択し、【セット】を押す

する： 留守録保存 する

しない： 留守録保存 しない



4 △/▽で設定を選択し、【セット】を押す



5 【スタート/コピー】を押す



お知らせ

- メモリから消去された用件は、再度聞くことができませんのでご注意ください。
- メモリがいっぱいになる前に、再生済みの用件は消去されることをお勧めします。

ファクス

ファクスを送信する

モノクロファクスを送信する

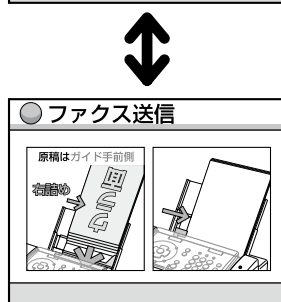
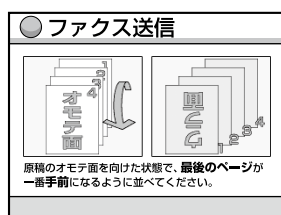
- 1 待機画面表示中に、「ファクスを送る」をタッチする



- 2 原稿をセットする

原稿トレイにウラ向きに、先頭を下に向けてセットします。(複数ページを送る場合、先に送りたいページを一番上になるようセットします。)

ディスプレイにファクス送信の選択画面が表示されます。

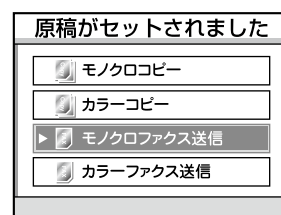


- 3 原稿ガイドを合わせる

原稿ガイドが原稿の両端に軽く触れる程度に合っていることを確認してください。このとき、強く押さえずぎると原稿がつまる原因になる場合があります。

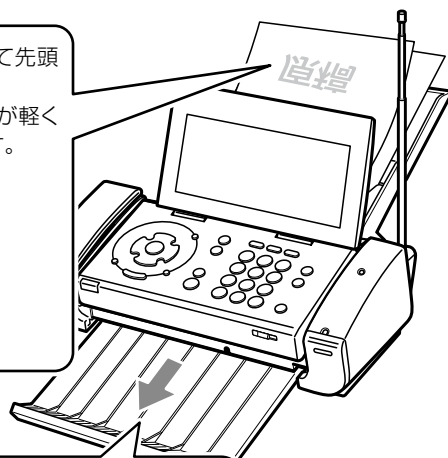
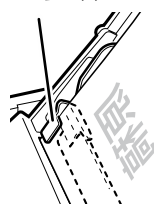
- 4 Δ / ∇ で「モノクロファクス送信」を選択し、【セット】を押す

「濃さ／画質」の選択画面が表示されます。

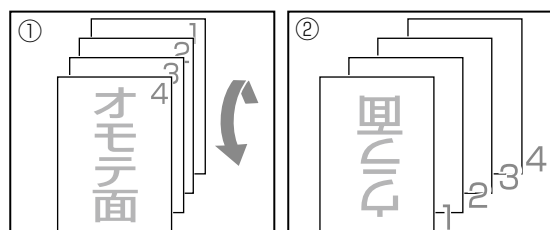


<原稿のセット方法>

原稿面をウラ向きにして先頭は下向きにします。
原稿の端に原稿ガイドが軽く触れるように合わせます。



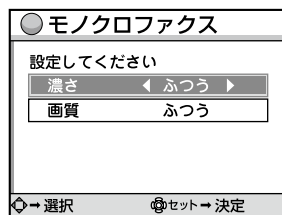
排紙トレイを引き出します。



①のように置いた原稿を縦方向に180度回転させて
②のように最初のページが裏面で下向きになるよう並べる

5 ▲／▼／◀／▶ で濃さと画質を選択し、【セット】を押す

宛先入力画面が表示されます。

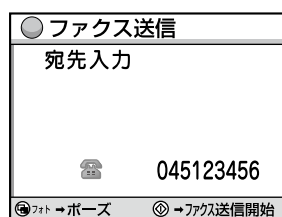


●画質の設定

「ふつう」	普通の文字の大きさ（本書の文字と同じくらいの大きさ）の原稿を送信するのに適している。送信にかかる時間は、「細かい」や「写真」よりも短くなる
「細かい」	小さい文字の原稿を送信するのに適している
「写真」	写真のように濃淡のある原稿を送信するのに適している

6 ファクス送信先のダイヤルを入力し、【スタート／コピー】を押す

相手につながると、すぐにファクスを送信します。

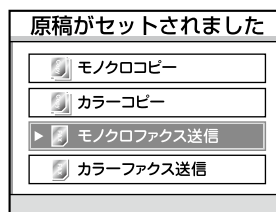


相手と話してからモノクロファクスを送信する

1 原稿をセットする

原稿トレイにウラ向きに、先頭を下に向けてセットします。（複数ページを送る場合、先に送りたいページを一番上になるようセットします。）

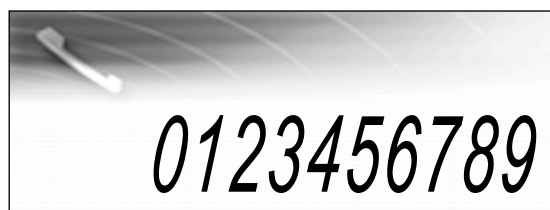
ディスプレイにコピーおよびファクス送信の選択画面が表示されます。



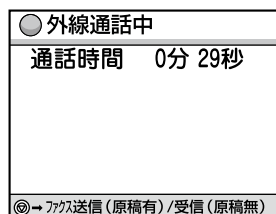
2 原稿ガイドを合わせる

原稿ガイドが原稿の両端に軽く触れる程度に合っていることを確認してください。このとき、強く押さえすぎると原稿がつまる原因になる場合があります。

3 受話器を取って発信音（ツー音）を確認し、ダイヤルする



4 相手が応答したら話す



5 【スタート／コピー】を押し、受話器を戻す



お知らせ

- 通話中にモノクロファクスを送信する場合、濃さ／画質の選択はできません。
- 「細かい」「写真」を選択すると、「ふつう」よりも送信に時間がかかります。
- ナビメニューでも手順の確認ができます。



ワンポイント

- ナビメニューを利用してファクス送信を行った場合、濃度の選択はできません。
- **ワンタッチボタンを使ってモノクロファクス送信するには**
原稿がセットされている状態でワンタッチボタンを押すと、すぐにファクス送信をします。
- **途中でファクス送信をやめるには**
【ストップ】を押します。原稿が途中で止まっていたら取り除いてください。詳しくは「原稿または記録紙がつまったときは」(P.174)をご覧ください。
- **電話帳の相手先にファクス送信するには**
「モノクロファクスを送信する」手順 6 でダイヤル入力する代わりに ◀ で電話帳選択画面を表示させ、▲／▼ で相手先を選択します。その後、【セット】を押すと選んだ相手先の電話番号が表示されます。さらに【セット】を押すと、相手先が宛先に設定されます。
- **再ダイヤルの相手先にファクス送信するには**
「モノクロファクスを送信する」手順 6 でダイヤル入力する代わりに ▶ で再ダイヤル画面を表示させて【セット】を押すと、相手先が宛先に設定されます。
- **着信履歴の相手先にファクス送信するには**
「モノクロファクスを送信する」手順 6 でダイヤル入力する代わりに ▶ を 2 回押して着信履歴選択画面を表示させ、▲／▼ で相手先を選択します。その後、【セット】を押すと選んだ相手先の電話番号が表示されます。さらに【セット】を押すと、相手先が宛先に設定されます。
- **「回線検出できません」と表示され、ファクス送信できないときは**
 - ① 電話回線が正しく接続されているか確認してください。
 - ② ①が正しければ、少し時間をおいてから再度送信してください。
 - ③ ②でもファクス送信できないときは、回線検出を「しない」に設定してください。(お買い上げ時は「する」の設定になっています。

【メニュー】を押して「初期設定」をタッチし、▲／▼で「回線検出」を選択します。
- **「ファクス送信が失敗しました。【セット】を押して下さい」と表示されたときは**
ファクスの送信ができませんでした。【セット】を押して表示を消し、必要な場合はファクスの送信をやり直してください。

カラーファクスを送信する

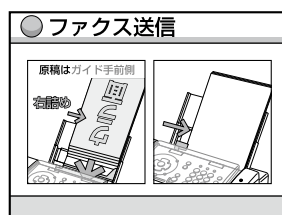
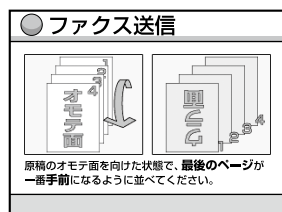
相手先のファクスもカラーに対応している場合は、カラー送信もできます。

1 待機画面表示中に、「ファクスを送る」をタッチする



2 原稿をセットする

原稿トレイにウラ向きに、先頭を下に向けてセットします。(複数ページを送る場合、先に送りたいページを一番上になるようセットします。) ディスプレイにファクス送信の選択画面が表示されます。

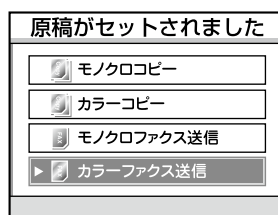


3 原稿ガイドを合わせる

原稿ガイドが原稿の両端に軽く触れる程度に合っていることを確認してください。このとき、強く押さえずぎると原稿がつまる原因になる場合があります。

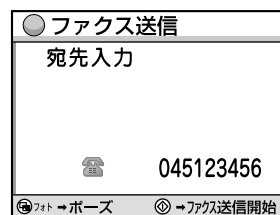
4 Δ / ∇ で「カラーファクス送信」を選択し、【セット】を押す

宛先入力画面が表示されます。

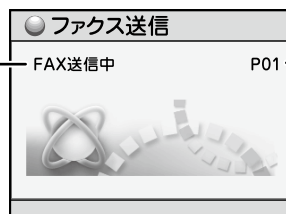


5 ファクス送信先のダイヤルを入力し、【スタート／コピー】を押す

相手につながると、すぐにファクスを送信します。



送信中であることを表示



送信枚数

STOP お願い

- フチなしで写真を大量に印刷した直後に原稿を読み取ると、原稿が汚れることがあります。大切な原稿を読み取る場合は、約5分待ってからご利用いただくか、インクふき取りクリーニング (P.167) を行ってからご利用いただきますようお願いいたします。
- 受話器を取ってからかける場合は、ダイヤルする前に必ず発信音 (ツープ音) を確認してください。発信音が聞こえる前にダイヤルしてしまうと、間違い電話などの原因となります。



お知らせ

- カラーファクスを送信するには、相手先のファクスもカラーに対応している必要があります。カラー非対応のファクスへは、モノクロファクスを送信してください。
- 通話中のカラーファクス送信はできません。
- カラーファクスはモノクロファクスより送信に時間がかかります。
- ナビメニューでも手順の確認ができます。



ワンポイント

●途中でファクス送信をやめるには

【ストップ】を押します。原稿が途中で止まっていたら取り除いてください。詳しくは「原稿または記録紙がつまったときは」(P.174)をご覧ください。

●電話帳の相手先にファクス送信するには

カラーファクスは手順5でダイヤル入力する代わりに◀で電話帳選択画面を表示させ、▲／▼で相手先を選択します。その後、【セット】を押すと選んだ相手先の電話番号が表示されます。さらに【セット】を押すと、相手先が宛先に設定されます。

●再ダイヤルの相手先にファクス送信するには

カラーファクスは手順5でダイヤル入力する代わりに▶で再ダイヤル画面を表示させて【セット】を押すと、相手先が宛先に設定されます。

●着信履歴の相手先にファクス送信するには

カラーファクスは手順5でダイヤル入力する代わりに▶を2回押して着信履歴選択画面を表示させ、▲／▼で相手先を選択します。その後、【セット】を押すと選んだ相手先の電話番号が表示されます。さらに【セット】を押すと、相手先が宛先に設定されます。

●「回線検出できません」と表示され、ファクス送信できないときは

- ① 電話回線が正しく接続されているか確認してください。
- ② ①が正しければ、少し時間をおいてから再度送信してください。
- ③ ②でもファクス送信できないときは、回線検出を「しない」に設定してください。(お買い上げ時は「する」の設定になっています。

【メニュー】を押して「初期設定」をタッチし、▲／▼で「回線検出」を選択します。

●「ファクス送信が失敗しました。【セット】を押して下さい」と表示されたときは

ファクスの送信ができませんでした。【セット】を押して表示を消し、必要な場合はファクスの送信をやり直してください。

ファクスを受信する

親機でも子機でも受信操作が行えます。お買い上げ時の設定ではファクス受信と同時に印刷をしない設定になっています（「ファクス受信同時プリントを設定する」P.124）。

ファクス受信設定について

ファクス受信設定では留守モードを解除しているときの着信動作を指定できます。ファクス受信設定には、「電話モード」、「ファクス優先」、「ファクス専用」の3つがあります。留守番電話を設定している場合は留守番電話の設定にしたがって動作します。留守番電話の設定・解除方法については「留守モードを使う」（P.91）をご覧ください。

電話モード	電話がかかってくることが多い場合に適した設定
ファクス優先	ファクスを受信することが多い場合に適した設定
ファクス専用	ファクスのみを受ける場合に適した設定

電話モードの場合（電話がかかってくることが多い場合に適した設定）



着信…

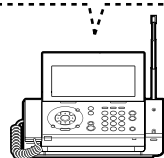


●受話器をとってお話ください。

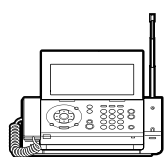
- 留守番電話をセットしていなくても一定時間呼出音が鳴った後に留守応答する設定（P.122）ができます。お買い上げ時は留守応答「しない」設定になっています。

ファクス優先の場合（ファクスを受信することが多い場合に適した設定）

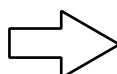
電話の方はこのままお待ちください。ファクシミリをご利用の方は送信してください。



着信…



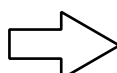
ファクスの場合
着信音は鳴りません。



●自動的に受信します。



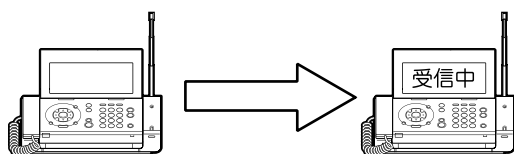
電話の場合
着信音が鳴ります。



●受話器をとってお話ください。

- 留守番電話をセットしていなくても一定時間呼出音が鳴った後に留守応答する設定（P.123）ができます。お買い上げ時は留守応答「しない」設定になっています。

ファクス専用の場合（ファクスのみを受ける場合に適した設定）



着信…
(音は鳴りません)

●自動的に受信します。

- メモリがいっぱいのときは自動受信できずに、着信音が鳴ります。不要なメッセージやファクスを消去してから、再度ファクスを送信してもらってください。詳しくは「用件を再生する」(P.92)、「メモリ内の受信ファクスを消去する」(P.121)をご覧ください。



お知らせ

- モデムダイヤルインで、「モデムダイヤルインを有効にする」を選択しているときには、ファクス受信設定を設定できません。モデムダイヤルイン設定で受信動作を選択してください。



ワンポイント

●電話に出なかった場合は

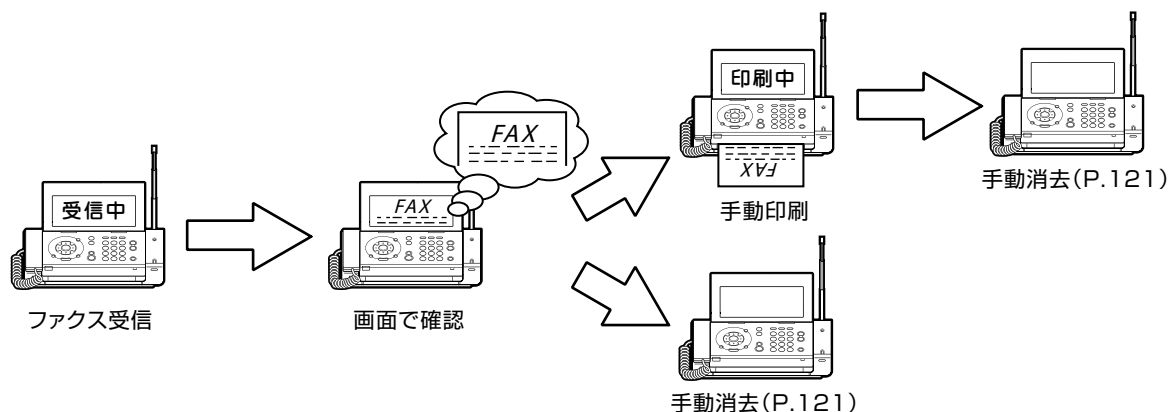
電話に出なかった場合は、設定された時間（P.122）だけ着信音が鳴った後、電話がつながって相手に応答メッセージが流れます。ファクス優先モード（P.123）に設定してあるときは、着信音が鳴らずに電話が自動的につながります（この時点から相手には通話料金がかかります）。応答メッセージはメモリの残量に応じて、以下のいずれかが流れます（電話モードかファクス優先モードがセットされている場合のみ）。

- 用件の録音もファクス受信も可能なとき
「呼び出しましたが近くにおりません。電話の方はピーという音の後にお名前とご用件をお話してください。ファクシミリをご利用の方は送信してください。」
- 用件の録音のみ可能なとき
「呼び出しましたが近くにおりません。電話の方はピーという音の後にお名前とご用件をお話してください。ファクシミリをご利用の方は恐れ入りますが後ほどおかけ直してください。」
- 用件の録音もファクス受信もできないとき
「呼び出しましたが近くにおりません。恐れ入りますが後ほどおかけ直してください。」

ファクス受信と印刷設定について

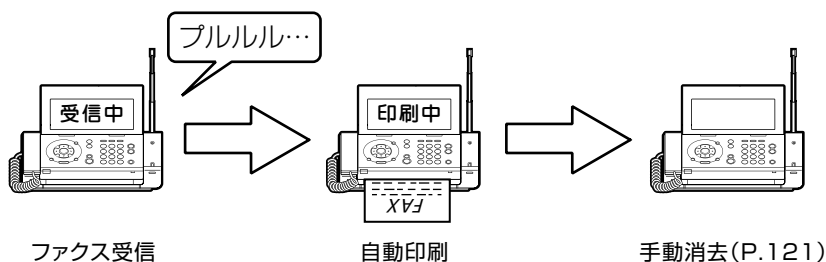
ファクス受信同時プリントが「する」に設定されていると、受信と同時に印刷が行われます。「しない」に設定すると、印刷の操作を行うまで印刷されません。どちらの場合も、受信ファクスは消去するまでメモリに保存されているので、ディスプレイで内容を確認したり、必要に応じて印刷することができます（P.121）。（お買い上げ時は「しない」の設定になっています。）

ファクス受信同時プリントが「しない」の場合



画面で確認して、不要なファクスは消去 必要なものだけ印刷するので、紙とインクがムダになりません。（P.121）

ファクス受信同時プリントが「する」の場合



受信と同時に印刷することもできます。（設定変更が必要です）（P.124）

親機で受信する

らくらくファクス機能 (P.125) が「する」のとき

電話に出たとき、相手がファクスであれば自動的に受信します。

1 電話に出たとき、「ファクスを受信します 受話器を戻してください」という音声ガイダンスが流れたら、受話器を戻す

ファクスの受信が始まります。ファクス受信時、ディスプレイには次のような情報が表示されます。



らくらくファクス機能が「しない」のとき

1 電話に出たときに、「ポー、ポー」というファクス呼出音が聞こえたら、呼びかけて応答がないことを確認したうえで、【スタート/コピー】を押す

原稿が原稿トレイに入っていると送信してしまいます。原稿トレイに何もいないことを確認してから【スタートコピー】を押してください。

2 受話器を戻す

ファクスの受信が始まります。



お知らせ

- 相手が利用しているサービスによっては、ファクス呼出音が鳴らないことがあります。呼びかけて応答がない場合は、【スタート/コピー】を押してください。
- ファクス受信同時プリント (P.124) が「しない」の場合（お買い上げ時の設定は「しない」になっています。）や、記録紙トレイに用紙がない場合は、受信した内容を印刷しません「受信ファクスをディスプレイで確認する(ディスプレイ FAX)」(P.120) で確認し、必要に応じて印刷することができます。



ワンポイント

●新着ファクスがあるときは

ディスプレイ上のファクスアイコンの枠がオレンジ色に点滅し、新着ランプが点滅し、ディスプレイ中央上部に「新着ファクスがあります ④→確認」と表示されます。

ファクスのすべてのページを確認または印刷すると、中央上部のメッセージは「ファクスがあります ④→確認」に変わり、ファクスアイコンの枠の点滅は消え、新着ランプの点滅も消えます。

「ファクスがあります ④→確認」のメッセージは、メモリー内すべてのファクスを消去 (P.121) するまで消えません。

●ファクス情報サービスを利用するには

お使いの電話がダイヤル (パルス) 回線の場合は、各種サービス提供元へダイヤル後、【*】(トーン) を押します。詳しくは各サービス提供元にお問い合わせください。

相手と話をした後で受信するとき

1 通話中に相手がファクス送信を開始したら、【スタート／コピー】を押す

原稿が原稿トレイに入っていると送信してしまいます。
原稿トレイに何も無いことを確認してから【スタート／コピー】を押してください。

2 受話器を戻す



子機で受信する

らくらくファクス機能 (P.125) が「する」のとき

電話に出たとき、相手がファクスであれば自動的に親機で受信します。

(お買い上げ時はこの設定になっています。)

1 電話に出たとき、「ファクスを受信します」という音声ガイダンスが流れたら、充電器に戻す

親機でファクス受信がはじまります。

らくらくファクス機能が「しない」のとき

1 電話に出たときに、「ポー、ポー」というファクス呼出音が聞こえたら、呼びかけて応答がないことを確認したうえで【文字／ファクス】を押す

親機でファクス受信がはじまります。

2 充電器に戻す

相手と話をした後で受信するとき

1 通話中に相手がファクス送信を開始したら、【文字／ファクス】を押す

親機でファクス受信がはじまります。

2 充電器に戻す

STOP お願い

- モデムダイヤルイン (P.143) で「子機専用の番号にする」設定とした電話番号に着信した場合、らくらく FAX 機能がはたらきませんので、【文字／ファクス】を押して受信してください。



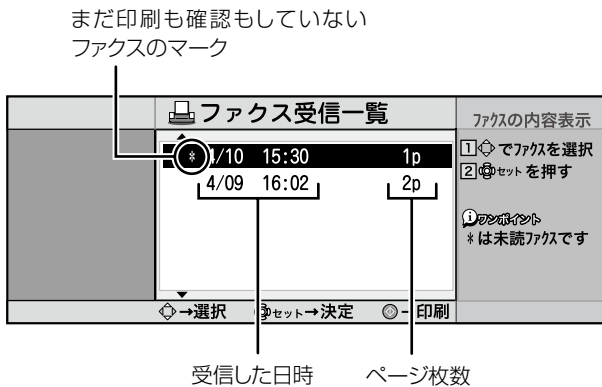
お知らせ

- 相手が利用しているサービスによっては、ファクス呼出音が鳴らないことがあります。呼びかけて応答がない場合は、【文字／ファクス】を押してください。

受信ファクスをディスプレイで確認する (ディスプレイ FAX)

新しい受信ファクスがメモリに保存されると、ディスプレイに「新着ファクスがあります」と表示されます。メモリに保存されている受信ファクスは、ファクス受信一覧で確認できます。

<ファクス受信一覧の見かた>



メモリ内の受信ファクスを確認する

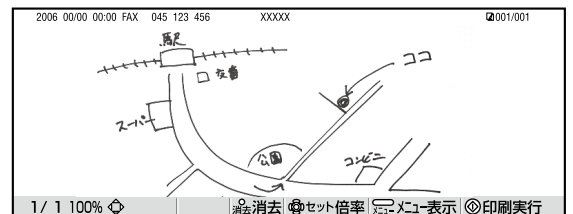


- 1 【スタート/コピー】を押す
ファクス受信一覧が表示されます。
- 2 Δ / ∇ で確認するファクスを選択する



- 3 【セット】を押す
ファクスの内容が表示されます。

- ・表示しきれていない部分は、 Δ / ∇ / \triangleleft / \triangleright で確認できます。
- ・2 ページ以上ある場合、【#】を押すと確認できます。
(【*】を押すと前ページを確認できます)
- ・【セット】を押すごとに、表示倍率が 100%→200%→25%→50%に切り替わります。
- ・【メニュー】を押し Δ / ∇ で「右回転」を選択後【セット】を押すと、90 度ずつ右回転します。



お知らせ

- ・メモリには、当社 A4 標準原稿 (A4 サイズ 700 字程度：標準画質 (8 × 3.85 本/mm)) を 20 件約 50 枚まで保存することができます。ただし、原稿の内容によって、受信できる枚数は異なります。また、留守番電話の用件が録音されている場合は、記録できる枚数が少なくなります。
- ・「*」がついているファクスは、受信内容をすべて印刷するか、全ページをディスプレイで確認するとマークが消えます。
- ・ナビメニューでも受信ファクスの確認ができます。

メモリ内の受信ファクスを印刷する

1 記録紙トレイに記録紙をセットする (P.37)

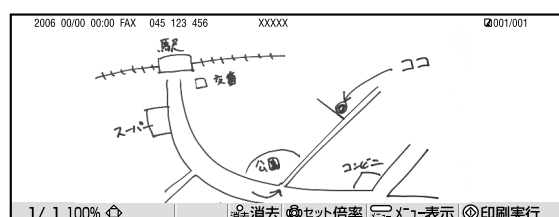
2 【スタート／コピー】を押す

ファクス受信一覧が表示されます。

ファクス受信一覧		
8/11 11:03	1p	
* 8/04 16:18	1p	
7/17 09:30	1p	
7/11 21:44	1p	

3 Δ／▽で確認するファクスを選択し、【セット】を押す

ファクスの内容がディスプレイに表示されます。



4 【スタート／コピー】を押す

ファクスの内容が印刷されます。

- ファクスが2ページ以上ある場合、「全ページ」「表示ページ」「このページ以降」という画面が表示されます。
Δ／▽で印刷する範囲を選択し、【セット】を押してください。
- 必要なくなったファクスはメモリから削除してください。

メモリ内の受信ファクスを消去する

1 【スタート／コピー】を押す

ファクス受信一覧が表示されます。

2 Δ／▽で消去するファクスを選択する

ファクス受信一覧		
8/11 11:03	1p	
* 8/04 16:18	1p	
7/17 09:30	1p	
7/11 21:44	1p	

3 【消去／キャッチ】を押す

消去確認画面が表示されます。

ファクス受信一覧	
消去しますか？	
8/11 11:03	
1p	
はい	いいえ

4 ◀で「はい」を選択し、【セット】を押す

ファクス受信一覧		
8/04 16:18	1p	
* 7/17 09:30	1p	
7/11 21:44	1p	

STOP お願い

- 待機中（通話や用件再生などをしていないとき）以外は印刷できません。



お知らせ

- 画面上で倍率の切り替えや回転を行っても、印刷の倍率や向きは変わりません。
- ナビメニューを使っても、印刷することができます。
- 受信したファクスの長さが A4 サイズの縦よりも長い場合は、ファクスの内容が画面に表示されないことがあります。
- メモリ内の受信ファクスを確認中に【消去／キャッチ】を押すことでも消去ができます。
その際は手順4にしたがって消去を行ってください。



ワンポイント

- ディスプレイで確認せずに印刷するには
「メモリ内の受信ファクスを確認する」(P.120) の手順2の後、【スタート／コピー】を押します。
- 途中で印刷をやめるには
【ストップ】を押します。
- すべてのファクスを消去するには
「メモリに保存されている内容を一括消去する」(P.158) をご覧ください。

ファクスの受信モードを設定する

ファクスの受信モードには、「電話モード」、「ファクス優先」と「ファクス専用」があります（お買い上げ時は「電話モード」の設定になっています）。

電話モードおよびファクス優先では、「留守応答」が設定できます。この機能を利用すると、留守モードをセットしていないときでも用件の録音やファクスの受信ができます。

ここでは、在宅時に設定できるファクス設定を説明しています。お出かけ時の留守モード(P.91)や、おやすみモード(P.95)では、設定されたモードの動作となります。

●留守モードにセットするときは、「留守モードをセットする」(P.91)をご確認ください。

電話モードを設定する

電話がかかってきてから本商品が留守応答するまでの秒数(呼出時間)を15～65秒の間、または留守応答「しない」から選択できます。

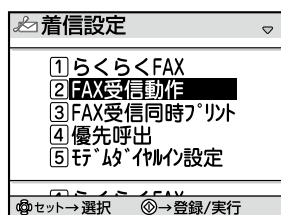
(お買い上げ時は「しない」の設定になっています。)

1 【メニュー】を押す

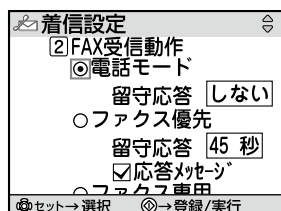
2 「着信設定」をタッチする



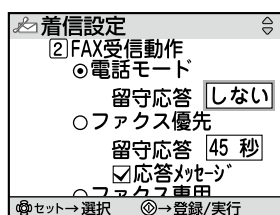
3 Δ/▽で「FAX 受信動作」を選択し、【セット】を押す



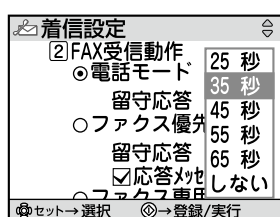
4 Δ/▽で「電話モード」を選択し、【セット】を押す



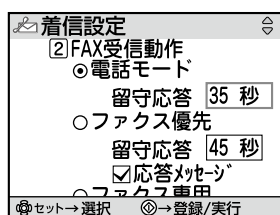
5 Δ/▽で「留守応答」を選択し、【セット】を押す



6 Δ/▽で設定したい秒数を選択し、【セット】を押す



7 【スタート/コピー】を押し、登録する



お知らせ

- 留守番電話にセットしたときについて、詳しくは「留守モードをセットしたときには」(P.89)をご覧ください。
- 新着ファクスがあるときは、ディスプレイ上のファクスアイコンの枠がオレンジ色に点滅し、新着ランプが点滅し、ディスプレイ中央上部に「新着ファクスがあります ●→確認」と表示されます。
ファクスのすべてのページを確認または印刷すると、中央上部のメッセージは「ファクスがあります ●→確認」に変わり、ファクスアイコンの枠の点滅は消え、新着ランプの点滅も消えます。
「ファクスがあります ●→確認」のメッセージは、ファクスを消去(P.121)するまで消えません。

ファクス優先を設定する

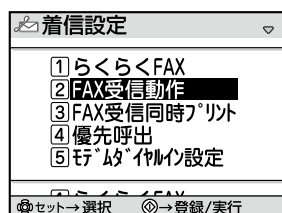
電話がかかってきてから本商品が留守応答するまでの秒数（呼出時間）を 15 ～ 65 秒の間から選択できます。また、応答メッセージを流さない設定にもできます。（お買い上げ時は「45 秒」の設定になっています。）

1 【メニュー】を押す

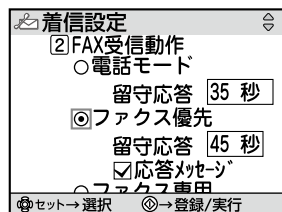
2 「着信設定」をタッチする



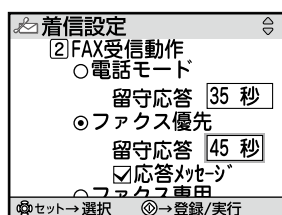
3 Δ/∇ で「FAX 受信動作」を選択し、【セット】を押す



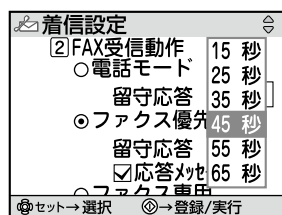
4 Δ/∇ で「ファクス優先」を選択し、【セット】を押す



5 Δ/∇ で「留守応答」を選択し、【セット】を押す

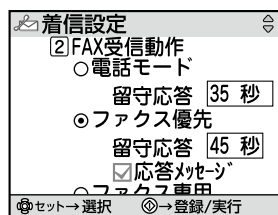


6 Δ/∇ で設定したい秒数を選択し、【セット】を押す



7 応答メッセージを流さない場合は、 Δ/∇ で「応答メッセージ」のチェックボックスを選択し、【セット】を押して、チェックをはずす

8 【スタート/コピー】を押し、登録する



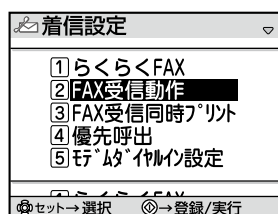
ファクス専用を設定する

1 【メニュー】を押す

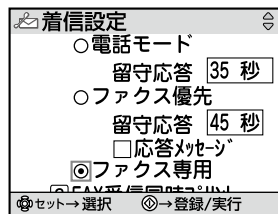
2 「着信設定」をタッチする



3 Δ/∇ で「FAX 受信動作」を選択し、【セット】を押す



4 Δ/∇ で「ファクス専用」を選択し、【セット】を押す



5 【スタート/コピー】を押し、登録する

ファクス受信同時プリントを設定する

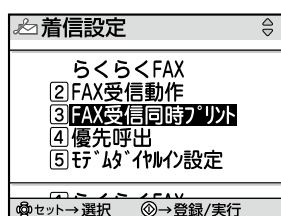
ファクス受信同時プリントが「する」に設定されていると、受信と同時に印刷が行われます。「しない」に設定すると、印刷の操作を行うまで印刷されません。どちらの場合も、受信ファクスは消去するまでメモリに保存されているので、ディスプレイで内容を確認したり、必要に応じて印刷することができます（P.121）。
（お買い上げ時は「しない」の設定になっています。）

1 【メニュー】を押す

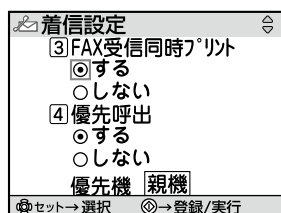
2 「着信設定」をタッチする



3 △／▽で「FAX 受信同時プリント」を選択し、【セット】を押す



4 △／▽で「する」または「しない」を選択し、【セット】を押す



5 【スタート／コピー】を押し、登録する

らくらくファクス機能を設定する

親機のらくらくファクス機能を「する」に設定すると、電話に出たときに相手がファクスだった場合は、音声ガイダンスが流れ、自動的にファクスを受信します。

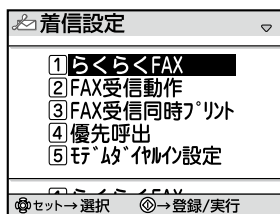
(お買い上げ時は「する」の設定になっています。)

1 【メニュー】を押す

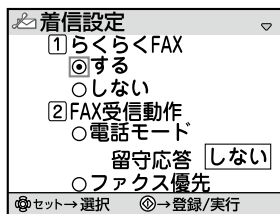
2 「着信設定」をタッチする



3 ▲／▼で「らくらくFAX」を選択し、【セット】を押す



4 ▲／▼で「する」または「しない」を選択し、【セット】を押す



5 【スタート／コピー】を押し、登録する

STOP お願い

- ・モデムダイヤルイン (P.143) で「子機専用の番号にする」設定とした電話番号に着信した場合、らくらくFAX機能がはたらかませんので、【文字／ファクス】を押して受信してください。



ワンポイント

●通話中にファクス受信に切り替わってしまう場合は

相手がファクスを送信していないのにファクス受信に切り替わってしまうなど、らくらくファクス機能が正常にはたらかない場合は、「しない」に設定してください。

「しない」に設定した場合、ファクスを受信するときは親機の【スタート／コピー】(子機の場合は【文字／ファクス】)を押します。

コピー

コピーをする

記録紙や原稿をセットするときは、用紙カバーに書かれている説明を参考にしてください。

モノクロコピーをする

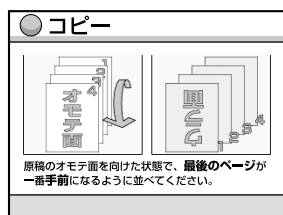
モノクロコピーできる原稿のサイズは、A4 サイズのみです。

1 待機画面表示中に、「コピーをする」をタッチする



2 記録紙をセットする (P.37)

A4 の記録紙をセットしてください。



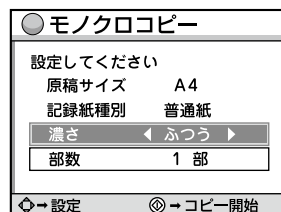
3 原稿をセットする (P.38)

読取面を下にして原稿トレイに原稿をセットし、原稿に合わせて原稿ガイドを調節します。原稿ガイドが原稿の端に軽く触れる程度に合っていることを確認してください。このとき、強く押さえずぎると原稿がつまる原因になる場合があります。

4 Δ/∇ で選択画面から「モノクロコピー」を選択し、【セット】を押す

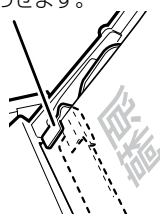


5 Δ/∇ で「濃さ」を選択し、 $\blacktriangleleft/\blacktriangleright$ で印刷濃度を「うすく」、「ふつう」、「こく」の中から選択する

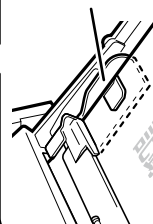


<記録紙と原稿のセット方法>

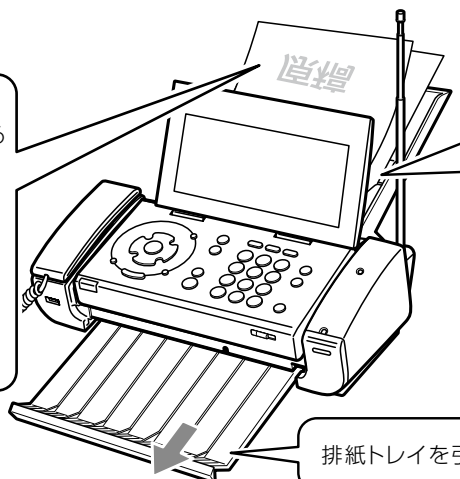
コピーする面をウラ向きにします。
原稿の端に原稿ガイドが軽く触れるように合わせます。



記録紙の端に記録紙ガイドが軽く触れるように合わせます。

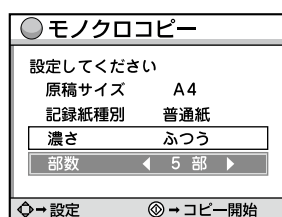


排紙トレイを引き出します。



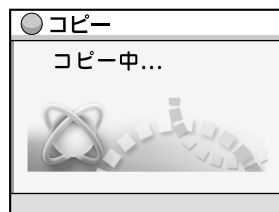
6 ▲／▼で「部数」を選択し、【0】～【9】を押しコピー部数を入力する

◀／▶でも部数を選ぶことができます。



7 【スタート／コピー】を押す

モノクロコピーが開始されます。



カラーコピーをする

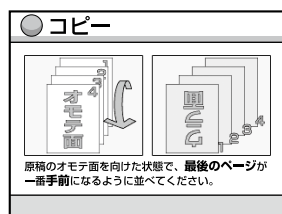
カラーコピーできる原稿のサイズはA4、L判、はがきです。また、一度にコピーできる原稿の枚数は1枚のみです。カラーコピー時には、原稿トレイに原稿を1枚だけセットしてください。

1 待機画面表示中に、「コピーをする」をタッチする



2 記録紙をセットする (P.37)

原稿と同じサイズの記録紙をセットしてください。



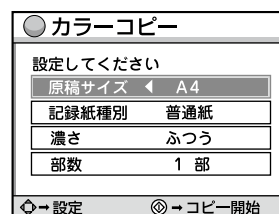
3 原稿をセットする (P.38)

読取面を下にして原稿トレイに原稿をセットし、原稿に合わせて原稿ガイドを調節します。原稿ガイドが原稿の端に軽く触れる程度に合っていることを確認してください。このとき、強く押さえすぎると原稿がつまる原因になる場合があります。

4 ▲／▼で選択画面から「カラーコピー」を選択し、【セット】を押す

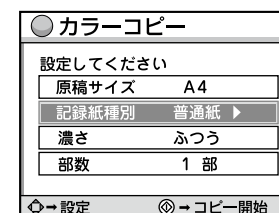


5 ▲／▼で「原稿サイズ」を選択し、◀／▶でサイズを「L判」、「はがき」、「A4」の中から選択する

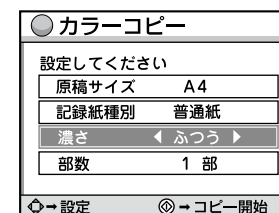


6 ▲／▼で「記録紙種別」を選択し、◀／▶で種類を選択する

原稿サイズでA4を選んだ場合、「フォト紙」か「普通紙」のいずれかを選択します。「L判」か「はがき」を選択した場合は自動的に「フォト紙」が選ばれます。

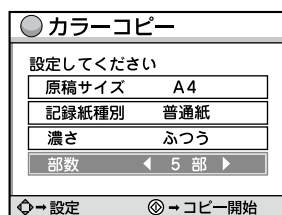


7 ▲／▼で「濃さ」を選択し、◀／▶で印刷濃度を「うすく」、「ふつう」、「こく」の中から選択する



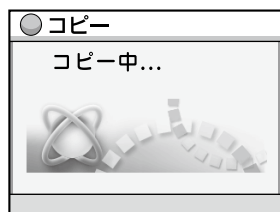
8 ▲／▼で「部数」を選択し、【0】～【9】を押してコピー部数を入力する

◀／▶でも部数を選ぶことができます。
L判ではフチの有無を選択します。



9 【スタート／コピー】を押す

カラーコピーが開始されます。



STOP お願い

- フチなしで写真を大量に印刷した直後に原稿を読み取ると、原稿が汚れることがあります。大切な原稿を読み取る場合は、約5分待ってからご利用いただくか、インクふき取りクリーニング (P.167) を行ってからご利用いただきますようお願いいたします。
- 大切な写真や原稿は、キャリアシート (別売、P.194 参照) に狭んで原稿トレイにセットすることで、万一の汚れや破損を防ぐことができます。



お知らせ

- ナビメニューでも手順の確認ができます。
- L判コピーの際、フチなしを選択すると、原稿の中心を規準にして、原稿を5%拡大してコピーします。この時、記録紙からはみ出す部分はコピーされません。フチありを選択すると原稿等倍で印刷されます。
- ナビメニューを利用してコピーを行った場合、濃度の選択はできません。



ワンポイント

- 途中でコピーをやめるには
【ストップ】を押します。原稿が途中で止まっているときは取り除いてください。詳しくは、「原稿または記録紙がつまったりきは」 (P.174) をご覧ください。
- コピー部数を指定するには
手順7の後で【0】～【9】を押してコピー部数を入力します。コピー部数は、コピー枚数が10枚以内となるように設定してください。

ナンバー・ディスプレイ

相手の電話番号を表示する（発信電話番号表示機能）

ナンバー・ディスプレイ（発信電話番号表示サービス）とは、電話をかけた方またはファクスを送った方の電話（ファクス）番号などが、受信側のディスプレイに表示されるサービスです。

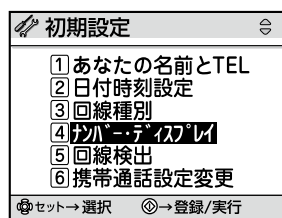
このサービスをご利用になるには、当社との契約（有料）が必要です。詳しくは、局番なしの116番または当社のサービス取扱所にお問い合わせください。（お買い上げ時は「する」の設定になっています。）

1 【メニュー】を押す

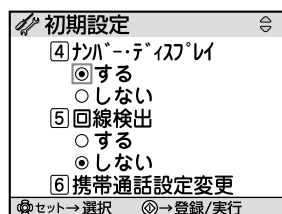
2 「初期設定」をタッチする



3 △/▽で「ナンバー・ディスプレイ」を選択し、【セット】を押す



4 △/▽で「する」を選択し、【セット】を押す



5 【スタート/コピー】を押して登録する

電話がかかってきたときの表示と音声

電話がかかってきたときの表示、および着信をお知らせする音声の内容は、相手の状況などに応じて次のようになります。キャッチホン（P.74）が入ったときも同様です（キャッチホン・ディスプレイ）。

ディスプレイ表示	音声の内容
〈親機〉 031234XXXX 〈子機〉 031234XXXX	相手が電話番号を通知してかけてきたときは、電話番号を読み上げて着信をお知らせします。 親機ではディスプレイの背景が黄色くなります。
〈親機〉 松浦弘幸 031234XXXX 〈子機〉 9月1日 15:00 松浦弘幸 031234XXXX	電話帳に登録されている相手から電話がかかってきたときは、電話帳に登録されている名前（フリガナが優先される）が読み上げられます。 親機ではディスプレイの背景が青くなります。
非通知	電話番号を表示しない契約の相手からのとき、または電話番号の前に「184」をつけてかけてきたときには、「非通知の着信です」という音声でお知らせします。 親機ではディスプレイの背景が赤くなります。
公衆電話	公衆電話からかかってきたときは、「公衆電話からの着信です」という音声でお知らせします。
表示圏外	サービス対象外の地域（海外など）や、サービスに対応していない携帯電話やPHSなどからの電話です。
受信エラー	一時的な回線の雑音などにより、電話番号の情報を正しく受信できませんでした。
〈親機〉 松浦尚彦 031234XXXX 〈子機〉 9月1日 15:00 松浦尚彦 031234XXXX	ネーム・ディスプレイをご利用の場合は、相手が登録している発信者名が表示され、読み上げられます。ただし、相手の名前が電話帳、またはワンタッチに登録されている場合は、電話帳、またはワンタッチに登録されている名前（フリガナが優先される）が読み上げられます。

STOP お願い

- ナンバー・ディスプレイを契約している場合は、必ずナンバー・ディスプレイの利用を「する」に設定してください。「しない」に設定していると、表示がおかしくなったり、着信履歴が記録されなかったり、ボイスワープ*の呼出回数が異なることがあります。

*ボイスワープについて詳しくは、局番なしの116番または当社のサービス取扱所にお問い合わせください。



お知らせ

- 電話の着信を「電話です」などの音声でお知らせする機能は解除できます (P.154)。
- 次のような場合は、発信電話番号表示機能や相手先名前表示機能、音声による読み上げがご利用になれないことがあります。
 - ・ 電話帳に相手の電話番号が市外局番から正しく登録されていない場合
 - ・ 電話帳に特番ダイヤル (186 / 184) をつけて相手の電話番号を登録している場合
 - ・ 本商品をナンバー・ディスプレイに未対応の通信機器 (ターミナルアダプタ (TA) など) に接続している場合
 - ・ 1本の電話回線で2セット以上の電話機をご使用の場合 (ランチ接続 P.26)
- 電話番号は、親機では下13桁が表示されます。子機では最初の12桁が表示された後、1桁ずつスクロールして表示されます。
- 受話器を取ったときに「ザー」という音が聞こえる場合は、電話がかかってきています。受話器を置いてお待ちください。このような場合は、着信音が鳴っても相手の電話番号はディスプレイに表示されません。
- 着信拒否を設定した相手からの電話の場合は、ディスプレイに「着信拒否番号」などが表示されます (P.132)。
- キャッチホン・ディスプレイをご利用になる場合には、ナンバー・ディスプレイとは別に当社とのご契約が必要です (有料)。
- ネーム・ディスプレイをご利用になるには、ナンバー・ディスプレイとは別に当社とのご契約が必要です (有料)。

ナンバー・ディスプレイについては、局番なしの「116」番へお問い合わせください。

受付時間：午前9時～午後9時 年中無休

(年末年始12月29日～1月3日を除きます)

- 構内交換機 (PBX) やビジネスホン、ホームテレホンに接続してお使いのときは、ナンバー・ディスプレイを「しない」に設定してください。
- ナンバー・ディスプレイをISDN回線でお使いのときは、ナンバー・ディスプレイ対応のターミナルアダプタ (TA) をお使いください。
- ナンバー・ディスプレイをご利用のときは、留守モード時の呼出回数 (P.107) を2回以上に設定してください。
- 相手の番号は親機、子機ともに20桁まで記録されています。ただし、ディスプレイに表示されるのは、親機では下13桁、子機では12桁までです (子機で12桁を超える電話番号は最初の12桁が表示された後、1桁ずつスクロールして表示されます)。
- 内線通話中に電話がかかってきたときは、子機では、着信表示されません。
- ナンバー・ディスプレイは、当社の他のサービスと併用して使用できない場合があります。詳しくは、局番なしの116番または当社のサービス取扱所にお問い合わせください。
- ISDN回線のターミナルアダプタ (TA) のアナログポート・構内交換機 (PBX) や他の通信機器に接続すると、ナンバー・ディスプレイが使えない場合があります。
- 同じ番号を親機や子機の電話帳に登録すると、ナンバー・ディスプレイの名前表示 (親機や子機の電話帳に登録している相手の名前表示) が正常に動作しないことがあります。
- 相手が、ナンバー・ディスプレイをご利用の場合は、発信時に呼出音が聞こえるまでの時間や相手につながるまでの時間が長くなることがあります。
- CES (事業所集団電話) に接続しているときは、CES内部からの着信時には「ナンバー・ディスプレイ」は提供されません。
- かかってきたときに「161」と表示されているときは、F-NET (P.145) からファクスが送信されています。
- 音声で読み上げられる電話帳の登録名などが聞き取りにくい場合は、聞き取りやすいニックネームなどでお知らせされるように別の呼び名を登録することができます (P.156)。

電話帳着信音呼出を設定する

かかってきた番号が電話帳に登録されている場合の着信音を設定することができます。

この機能をご利用になる場合は、ナンバー・ディスプレイのご契約をした後、本商品で利用を「する」に設定してください（P.129）。（お買い上げ時は、電話帳着信音呼出をしない設定になっています。）

親機を設定する

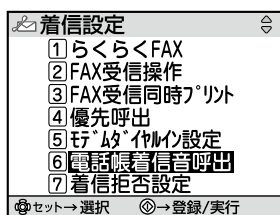
親機の電話帳に登録されている相手からの電話のみ、設定している着信音（P.48）が鳴るように設定できます。電話帳に登録されていない相手の場合は、特別なベル音が鳴ります。

1 【メニュー】を押す

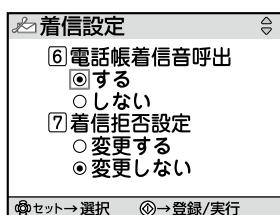
2 「着信設定」をタッチする



3 Δ/∇ で「電話帳着信音呼出」を選択し、【セット】を押す



4 Δ/∇ で「する」を選択し、【セット】を押す



5 【スタート/コピー】を押して登録する

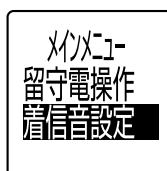
子機を設定する

子機では、電話帳に登録されている相手、非通知、公衆電話、表示圏外からの電話ごとに、それぞれ違った着信音を鳴らすことができます。

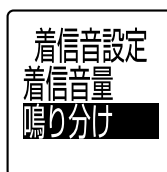
【通話】が消灯している状態で操作してください。

1 【メニュー/セット】を押す

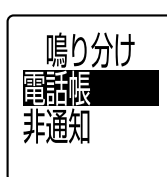
2 Δ/∇ で「着信音設定」を選択し、【メニュー/セット】を押す



3 Δ/∇ で「鳴り分け」を選択し、【メニュー/セット】を押す

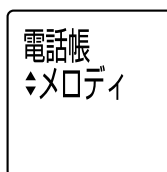


4 Δ/∇ で設定したい項目を選択し、【メニュー/セット】を押す



5 Δ/∇ で着信音を選択し、【メニュー/セット】を押す

「鳴り分け OFF」を選択すると、子機の着信音として設定されている音で鳴ります。



お知らせ

- 電話帳に相手の電話番号が市外局番から正しく登録されていない場合、電話帳着信音呼出が正しく動作しないことがあります。
- 電話帳の相手の電話番号に特番ダイヤル（186 / 184）をつけて登録している場合、電話帳着信音呼出が正しく動作しないことがあります。

非通知や特定の相手からの電話を受けない（着信拒否）

非通知や特定の相手からの電話の着信を拒否できます。かけてきた相手に音声メッセージを流してから電話を切るか、即座に切るかのどちらかを選択できます。設定は親機で行います。

この機能をご利用になる場合は、あらかじめナンバー・ディスプレイのご契約をした後、本商品で利用を「する」に設定してください（P.129）。

（お買い上げ時は、着信拒否をしない設定になっています。）

<着信拒否の種類と内容>

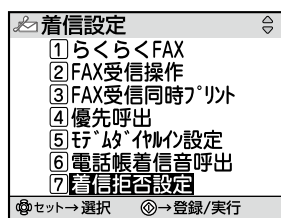
着信拒否の種類	内容
非通知	非通知契約の電話番号からの着信や、ダイヤルする前に「184」を押した電話の着信を拒否できます。
公衆電話	公衆電話からの着信を拒否できます。
表示圏外	電話番号を通知できない地域やサービスに対応していない携帯電話、PHS などからの着信を拒否できます。
指定番号	着信を拒否したい相手の電話番号を 30 件まで登録できます。登録された電話番号からの着信はまったく受け付けなくなります。

1 【メニュー】を押す

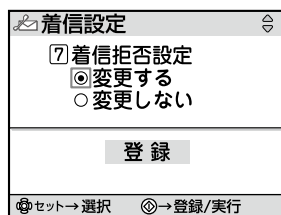
2 「着信設定」をタッチする



3 Δ/▽で「着信拒否設定」を選択し、【セット】を押す



4 Δ/▽で「変更する」、「変更しない」のいずれかを選択し、【セット】を押した後、【スタート/コピー】を押す

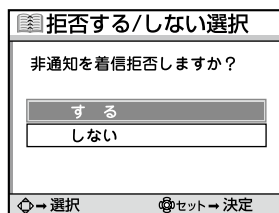


非通知／公衆電話／表示圏外に着信拒否を設定するとき

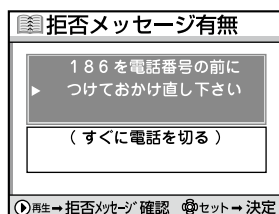
5 Δ/▽で「非通知」、「公衆電話」、「表示圏外」のいずれかを選択し、【セット】を押す



6 Δ/▽で「する」を選択し、【セット】を押す



7 Δ/▽で拒否メッセージの有無を選択し、【セット】を押す



8 複数の着信拒否を設定するときは、手順5～7を繰り返す



9 終了するときは【ストップ】を押す

着信拒否する電話番号を登録するとき

- 5 Δ/∇ で「指定番号」を選択し、【セット】を押す

着信拒否登録

非通知	拒否しない
公衆電話	拒否しない
表示圏外	拒否しない
指定番号	00件/30件

①→選択 ②セット→決定

- 6 Δ/∇ でリスト番号を選択し、【セット】を押す

着信拒否番号リスト 00/30

1	(未登録1)
2	(未登録2)
3	(未登録3)
4	(未登録4)
5	(未登録5)

①→選択 ②セット→決定

- 7 着信を拒否したい電話番号を市外局番から入力し、【セット】を押す

拒否番号入力

☎ 0123456789

①→着信履歴から登録 ②セット→決定

- 8 Δ/∇ で拒否メッセージの有無を選択し、【セット】を押す

拒否メッセージ有無

▶ 申し訳ありませんが、こちらの都合により電話をお繋ぎすることができません
(すぐに電話を切る)

①再生→拒否メッセージ確認 ②セット→決定

- 9 複数の電話番号を登録するときは、手順5～8を繰り返す

着信拒否番号リスト 01/30

1	0123456789 拒否する(申し訳...)
2	(未登録2)
3	(未登録3)
4	(未登録4)
5	(未登録5)

①→選択 ②セット→決定

- 10 終了するときは【ストップ】を押す

STOP お願い

- 着信を拒否する電話番号を登録するときは慎重に行ってください。緊急の電話がかかってきても、登録した相手からの電話は いっさい受けられません。



お知らせ

- 着信拒否した相手から電話がかかってきたときは、着信音は鳴りません。親機のディスプレイには「非通知着信拒否」、「公衆電話拒否」、「表示圏外拒否」または「着信拒否番号」と表示されます。子機のディスプレイには何も表示されません。
- 着信拒否した相手から待機状態以外のときに電話がかかってきた場合、拒否メッセージを流す設定にしているても、即座に電話を切ります。
- 「ナンバー・ディスプレイ」が「する」に設定されていないと、着信拒否設定を行うことはできません。



ワンポイント

- 登録した電話番号を消去するには
「着信拒否する電話番号を登録するとき」の手順6で【消去／キャッチ】を押し、 Δ/∇ で「はい」を選択して【セット】を押します。
- 着信拒否の種類と音声メッセージについて
着信拒否した相手が電話をかけてきた場合、その相手の方に電話料金がかかります。
 - ・非通知着信拒否の場合のメッセージ
「186 を電話番号の前につけておかけ直してください」
 - ・その他の場合のメッセージ
「申し訳ありませんが、こちらの都合により電話をおつなぎすることができません」

かけてきた相手の電話番号を利用する（着信履歴）

電話をかけてきた相手の電話番号は、親機 30 件、子機 20 件まで記憶されています（着信履歴）。

着信履歴をディスプレイに表示して確認したり（着信履歴検索機能）、その相手に簡単な操作で電話をかけたりできます（着信履歴ダイヤル機能）。また、着信履歴の電話番号を電話帳に登録できます。

着信履歴に電話番号や名前を表示させるには、ナンバー・ディスプレイのご契約をした後、本商品でナンバー・ディスプレイの設定を「する」にしてください（P.129）。

親機の着信履歴を利用する

1 ▶ を 2 回押す

着信履歴が着信日時の新しい順に表示されます。

2 ▲／▼ で着信履歴を選択する

▼を押すと、古いものへ 1 件ずつスクロールします。

着信履歴	
中野良子	09/16
着信あり	09/14
着信あり	09/12
着信あり	09/10
電話帳登録・詳細・削除	

詳細を確認するときは

3 【メニュー】を押す

着信履歴	
電話帳登録	
▶ 詳細を見る	
ファクスを送信	
一件消去	
電話帳登録・詳細・削除	

4 ▲／▼ で「詳細を見る」を選択し、【セット】を押す

着信履歴の詳細を確認できます。

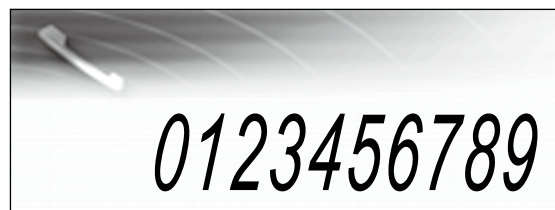
着信履歴詳細	
なまえ：中野良子	相手の電話番号
TEL: 0123456789	
TIME: 2006 09/16 18:36	着信日時
電話帳登録・ファクス送信	

電話帳または、ワンタッチに登録されている名前またはネーム・ディスプレイに登録されている発信者名

電話をかけるときは

3 受話器を取る

選択している相手にダイヤルされます。



電話帳に登録するときは

3 【メニュー】を押す

4 ▲／▼ で「電話帳登録」を選択し、【セット】を押す

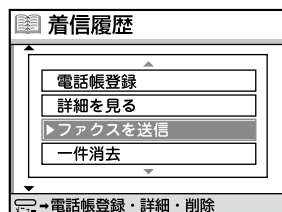
着信履歴	
電話帳登録	
▶ 詳細を見る	
ファクスを送信	
一件消去	
電話帳登録・詳細・削除	

5 「親機に登録する」（P.60）の手順 3～9 にしたがって登録する

モノクロファクスを送信するときは

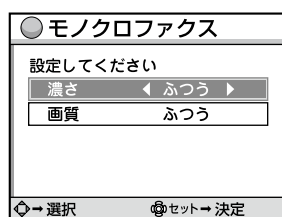
3 【メニュー】を押す

4 Δ/∇ で「ファクスを送信」を選択し、【セット】を押す



5 原稿をセットする (P.38)

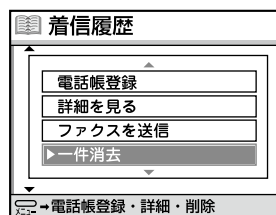
6 $\Delta/\nabla/\leftarrow/\rightarrow$ で濃さと画質を選択し、【セット】を押す



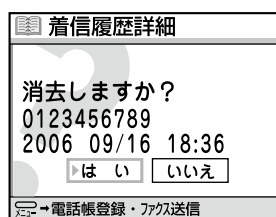
一件消去するときは

3 【メニュー】を押す

4 Δ/∇ で「一件消去」を選択し、【セット】を押す



5 \leftarrow/\rightarrow で「はい」を選択し、【セット】を押す



つづく ➡



お知らせ

- 着信履歴が記憶できる件数を越えたときは、古いものから順に消去されます。
- 非通知や公衆電話などの着信は、「非通知」、「公衆電話」、「表示圏外」、「受信エラー」と表示され、電話番号は記憶されません。
- ナンバー・ディスプレイの利用を「しない」に設定していても、かかってきた電話の着信日時のみ確認することができます。
- ネーム・ディスプレイをご利用の場合でも、かかってきた電話の相手が電話帳または、ワンタッチに登録されているときは、電話帳に登録されている名前が着信履歴に表示されます。
- 携帯通話設定機能 (P.80 ~ 87) を利用して携帯電話に電話をかけるときは、事業者識別番号を自動的につけてダイヤルします。このとき、親機の【オンフック】が点滅します。
- ナンバー・ディスプレイの設定が間違っていると、着信履歴が残らないことがあります。



ワンポイント

●着信履歴を利用してファクスを送信するには

「着信履歴の相手先にファクス送信するには」(P.112) の手順で送信してください。

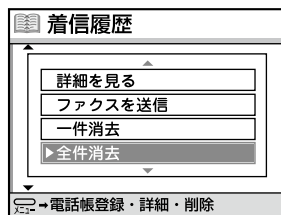
●親機で着信履歴を消去するには

- ① 「親機の着信履歴を利用する」の手順 2 で消去する着信履歴を表示させ、【消去／キャッチ】を押す
- ② \leftarrow/\rightarrow で「はい」を選択して【セット】を押す

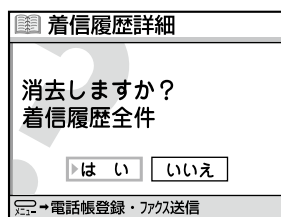
すべての着信履歴を消去するときは

3 【メニュー】を押す

4 ▲／▼で「全件消去」を選択し、【セット】を押す



5 ◀／▶で「はい」を選択し、【セット】を押す



子機の着信履歴を利用する

【通話】が消灯している状態で操作してください。

<着信履歴の見かた（子機）>

電話帳に登録されている名前か、ネーム・ディスプレイに登録されている発信者名、または電話番号

01着信履歴
12月20日 22:55
お父さん

着信日時

1 ▶を2回押す

最新の着信履歴が表示されます。

2 ▲／▼で着信履歴を選択する

▼を押すと、着信日時の新しい順に1件ずつ表示されます。

01着信履歴
8月5日 12:34
0123456789

電話番号を確認するときは

3 ◀を押す

◀を押すたびに、名前と電話番号の表示が切り替わります。

02着信履歴
8月5日 15:45
054612345

電話をかけるときは

3 【通話】を押す

選択している相手にダイヤルされます。

電話帳に登録するときは

3 【メニュー／セット】を押す

4 Δ / ∇ で「電話帳登録」を選択し、【メニュー／セット】を押す

着信履歴
電話帳登録
一件消去

5 名前を入力したら、もう一度【メニュー／セット】を押す

中野恵子
漢>

6 読みがなを入力したら、もう一度【メニュー／セット】を押す

読み?
カケル
か>

7 【メニュー／セット】を押す

電話番号?
0123456789

一件消去するときは

3 【メニュー／セット】を押す

4 Δ / ∇ で「一件消去」を選択し、【メニュー／セット】を押す

着信履歴
電話帳登録
一件消去

5 Δ / ∇ で「はい」を選択し、【メニュー／セット】を押す

消去しますか
はい
いいえ



お知らせ

- 着信履歴が記憶できる件数を越えたときは、古いものから順に消去されます。
- 非通知や公衆電話などの着信は、「非通知」、「公衆電話」、「表示圏外」、「受信エラー」と表示され、電話番号は記憶されません。
- ナンバー・ディスプレイの利用を「しない」に設定していても、かかってきた電話の着信日時のみ確認することができます。
- 着信履歴から電話帳に登録できる発信者名は、最大全角 6 文字までです。
- 子機の表示は 12 桁までです。電話番号が 12 桁以上の場合、最初の 12 桁を表示したあと、残りをスクロールして表示します。

ネーム・ディスプレイを利用する

ネーム・ディスプレイ（有料）をご契約になると、電話をかけてきた相手の名前や会社名がディスプレイに表示されます。この機能をご利用になる場合は、ネーム・ディスプレイとは別にナンバー・ディスプレイのご契約（有料）が必要です。ナンバー・ディスプレイのご契約後は、ナンバー・ディスプレイの利用を「する」に設定してください（P.129）。（お買い上げ時は「する」の設定になっています。）

電話がかかってきたときの表示

ディスプレイ表示	内容
〈親機〉 松浦尚彦 031234XXXX	ネーム・ディスプレイをご利用の場合は、相手の名前（または会社名）と電話番号がディスプレイに表示されます（相手が発信者名を「非通知」で契約している場合やダイヤルする前に「184」を押した場合は、相手の名前や番号は表示されません）。 相手の名前が電話帳に登録されている場合は、その名前が表示されます。
〈子機〉 9月1日 15:00 松浦尚彦 031234XXXX	

ナンバー・ディスプレイ



お知らせ

- 電話をかけてきた相手が発信者名を表示するに設定していない場合、名前は表示されません。ただし、その場合でも、電話番号が親機の電話帳（子機の場合は子機の電話帳）に登録している番号と一致すると、電話帳に登録している名前を表示します。
- 親機（または子機）の電話帳に登録している内容によって発信者名の表示が異なることがあります。
- 携帯電話・PHS・国際電話・公衆電話からの着信時、発信者名は表示されません。
- 本商品で表示できる漢字（JIS 第一水準および JIS 第二水準）以外の漢字コードを受信した場合は、ディスプレイにはスペースを表示します。
- キャッチホン・ディスプレイ（P.139）をご利用の場合は、通話中にかかってきた相手の電話番号をディスプレイに表示します。
- 電話帳に登録できる発信者名は、最大全角 6 文字までです。
- 着信履歴には、発信者名は最大全角 6 文字までしか表示できません。

キャッチホン・ディスプレイを利用する

キャッチホン・ディスプレイ（有料）をご契約になると、通話中に別の人から着信があった場合、相手の電話番号がディスプレイに表示されますので、相手の電話番号を確認してからキャッチホンを受けることができます。この機能をご利用になる場合は、キャッチホン・ディスプレイとは別にナンバー・ディスプレイのご契約（有料）が必要です。ナンバー・ディスプレイのご契約後は、ナンバー・ディスプレイの利用を「する」に設定してください（P.129）。（お買い上げ時は「する」の設定になっています。）

キャッチホンの受けかたについては、74 ページをご覧ください。

電話がかかってきたときの表示	
ディスプレイ表示	内容
〈親機〉 (電話帳に登録されていない番号の場合)	キャッチホン・ディスプレイをご利用の場合は、相手の電話番号がディスプレイに表示されます（相手が発信者名を「非通知」で契約している場合やダイヤルする前に「184」を押した場合は、相手の電話番号は表示されません）。
035678XXXX	
(電話帳に登録されている番号の場合)	相手の名前が電話帳に登録されている場合は、その名前が表示されます。
松浦尚彦 031234XXXX	

ディスプレイ表示	内容
〈子機〉 (電話帳に登録されていない番号の場合)	
9月1日 15:00 035678XXXX	
(電話帳に登録されている番号の場合)	
9月1日 15:00 松浦尚彦 031234XXXX	



お知らせ

- ・ 保留中、留守番電話動作中、ファクス送受信中は、電話番号や相手の名前などをディスプレイに表示しません。
- ・ キャッチホン・ディスプレイは、他のサービスと併用して使用できない場合があります。詳しくは当社の営業所などにお問い合わせください。
- ・ キャッチホン・ディスプレイをご利用になる場合は、次の点にご注意ください。
 - ・ ファクス送信中／受信中にキャッチホンが入ると、ファクスの画像が乱れたり通信エラーになることがあります。
 - ・ キャッチホンⅡを利用して、割り込み回数を「0」回に設定すると、割り込みが入りづらくなりますので番号表示できません。
 - ・ 通話中にキャッチホンで切り替えた相手からファクスを受信した場合、らくらくファクス機能がご利用になれません。親機で受信する場合は【スタート／コピー】を、子機で受信する場合は【文字／ファクス】を押してください。
- ・ 通話中にキャッチホンが入ると、約 1 秒程度の無音状態が発生することがありますが、故障ではありません。
- ・ キャッチホンの着信時には、1 秒程度の無音状態が発生します。また、従来の着信表示音に加えて「ピポッ」といった割り込み音が入ります。この割り込み音とお話中の声が重なると電話番号の表示ができないことがあります。
- ・ 次のようなときは、電話番号を表示しない場合があります。
 - ・ 大きな声で通話しているとき
 - ・ 周囲が騒がしいとき
- ・ ISDN 回線のターミナルアダプタ（TA）のアナログポートや構内交換機（PBX）に接続すると、キャッチホン・ディスプレイが使えない場合があります。
- ・ 着信拒否相手からのキャッチホンを受けた場合は、【消去／キャッチ】で話し相手を切り替えることはできません。また、最初の相手との通話が終わって電話を切った時点でまだ着信拒否相手が呼び出し中のままだったときには、その着信拒否相手に対して着信拒否動作（P.132）を行います。
- ・ 1 本の電話回線に 2 台以上の電話機などを接続（ブランチ接続 P.26）してご利用の場合は、発信電話番号が正常に表示されないことがあります。
- ・ CES（事業所集団電話）に接続しているときは、CES 内部からの着信時には、「キャッチホン・ディスプレイ」は提供されません。
- ・ 通話中の声により通話が途切れる場合があります。
- ・ あとからかけてきた方の電話番号などは親機、子機ともに約 30 秒間表示されます。

モデムダイヤルイン

モデムダイヤルインサービス

モデムダイヤルインでは、一つの回線に複数の電話番号を設定できます。このサービスをご利用になるには、当社との契約（有料）が必要です。（詳しくは、局番なしの116番または当社のサービス取扱所にお問い合わせください。）

本商品では、各電話番号（3つまで）ごとに下記の動作を設定できます。

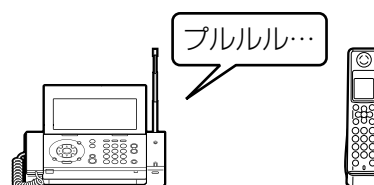
電話モードの番号にかかってくると

親機と子機の両方で呼び出し音が鳴ります。



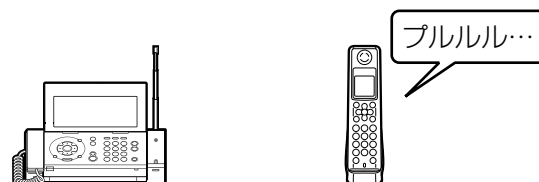
親機専用番号にかかってくると

親機のみで呼び出し音が鳴ります。



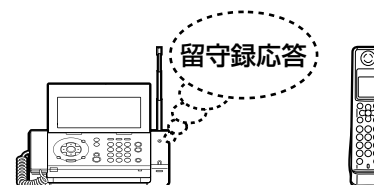
子機専用番号にかかってくると

子機のみで呼び出し音が鳴ります。



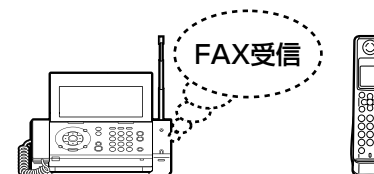
留守録専用番号にかかってくると

呼び出し音は鳴らず、留守録を開始します。



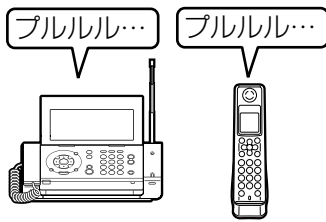
FAX専用番号にかかってくると

呼び出し音は鳴らず、
自動的にFAX受信を開始します。



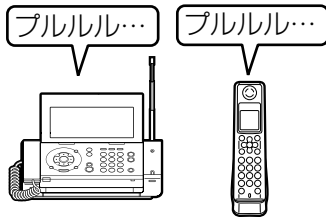
電話モードの番号（親機子機ともに着信音が鳴り、応答できます）

■留守番電話（留守・おやすみモード）を解除している（オフ時）ときには



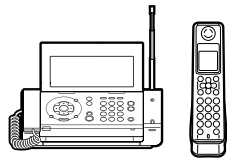
- 電話の場合はそのままお話しください。
- ファクスの場合は受信してください。詳しくは「ファクス受信設定について」の「電話モードの場合」(P.115)をご覧ください。
- 留守応答時間は「着信動作を割り当てる」(P.143)で変更できます。

■留守モードをセットしたときには



- 留守モード(P.89)の動作をします。

■おやすみモードをセットしたときには

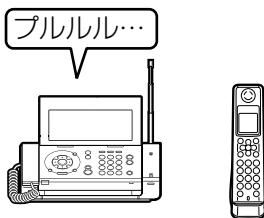


着信音は鳴りません。

- おやすみモード(P.89)の動作をします。

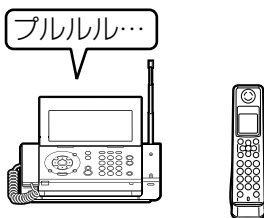
親機専用番号（親機だけ着信音が鳴り、応答できます）

■留守番電話（留守・おやすみモード）を解除している（オフ時）ときには



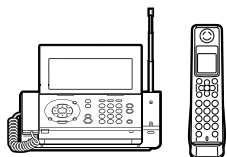
- 子機は鳴らず、応答もできません。この点を除くと電話モードと同じ動作をします。

■留守モードをセットしてお出かけのときには



- 留守モード(P.89)の動作をしますが、子機は鳴らず、応答もできません。

■おやすみモードをセットしたときには



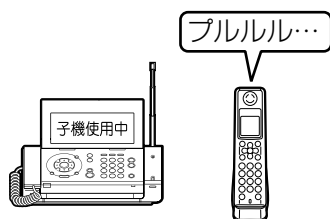
着信音は鳴りません。

- おやすみモード(P.89)の動作をしますが、子機はでは応答できません。

子機専用番号（子機だけ着信音が鳴り応答できます）

■複数の子機がある場合は
全ての子機の着信音が鳴ります。

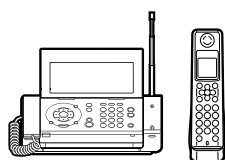
■子機専用番号へ着信があったときは
留守番電話の設定にかかわらず、いつも同じ動作をします。



- 子機をとってお話ください。
- 親機には「子機使用中」と表示され、着信音は鳴らず応答もできません。
- 子機で受けた電話を親機へ転送することができます。(P.77)
- ファクスの場合は、子機からの操作で受信できます。(P.119)
- らくらくFAXは、セットしていても無効となります。
- おやすみモード設定中でも、子機専用番号への着信には着信音が鳴ります。

留守録専用番号（留守録を開始します）

■留守録専用番号へ着信があったときは
留守番電話の設定にかかわらず、いつも同じ動作をします。

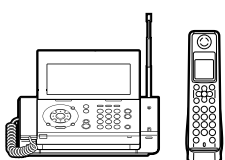


着信音は鳴らず、
自動応答します。

- 親機・子機とも鳴らず応答もできません。応答メッセージが流れ、「ピー」と鳴った後に相手の用件を録音します。(相手がファクスを送信すると自動的に受信します。) 詳しくは「留守モードについて」をご覧ください。
- 留守応答中、親機には「ダイヤルイン 留守電応答中」と表示されます。
- 【ストップ】を押すと留守応答と録音が強制終了して通話できます。

ファクス専用番号（ファクス受信を開始します）

■ファクス専用番号へ着信があったときは
留守番電話の設定にかかわらず、いつも同じ動作をします。



着信音は鳴りません。

- 親機・子機とも鳴らず応答もできません。相手からのファクスを自動受信します。
- メモリがいっぱいのときには自動受信できずに着信音が鳴ります。不要なメッセージやファクスを消去してから、再度ファクスを送信してもらってください。詳しくは「用件を再生する」(P.92)、「メモリ内の受信ファクスを消去する」(P.121) をご覧ください。



ワンポイント

●留守モード時呼出回数について

モデムダイヤルイン設定で「子機専用の番号にする」、「留守録専用の番号にする」、「ファクス専用の番号にする」に設定した番号に電話がかかってきた場合は、留守モード時呼出回数 (P.107) の設定は無効になります。

●優先呼出について

モデムダイヤルインの設定をした場合、優先呼出の設定は「電話モードの番号にする」で指定された番号に電話があった場合のみ有効です。ただし、おやすみモード時には着信音は鳴りません。

着信動作を割り当てる

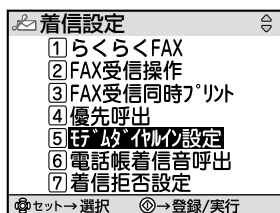
1 【メニュー】を押す

2 「着信設定」をタッチする

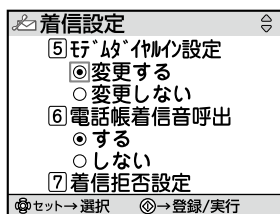


3 Δ/∇ で「モデムダイヤルイン設定」を選択し、【セット】を押す

モデムダイヤルインの設定画面が表示されます。



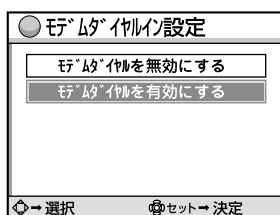
4 Δ/∇ で「変更する」を選択し、【セット】を押す



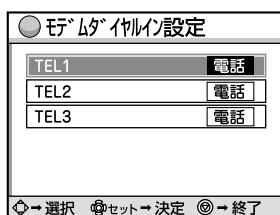
5 【スタート/コピー】を押す

6 Δ/∇ で「モデムダイヤルインを有効にする」を選択し、【セット】を押す

電話番号の入力画面が表示されます。



7 Δ/∇ で「TEL1」を選択し、【セット】を押す



8 最初の電話番号を市外局番から入力し、【セット】を押す

文字の入力のしかたは 50 ページをご覧ください。



9 入力した電話番号の着信動作を選択し、【セット】を押す

「子機専用の番号にする」「留守電専用の番号にする」「ファクス専用の番号にする」を選択した場合は手順 7 の電話番号入力画面に戻ります。

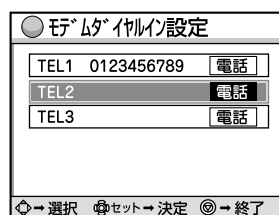


10 Δ/∇ で「留守応答時間」を選択し、【セット】を押す

手順 7 の電話番号入力画面に戻ります。



11 手順 7 ～手順 10 の操作を繰り返して、「TEL2」「TEL3」の電話番号についても着信動作を設定する



12 【ストップ】を押す



お知らせ

- モデムダイヤルイン設定で、「モデムダイヤルインを有効にする」を選択しているときには、FAX 受信動作を設定できません。モデムダイヤルイン設定で受信動作を選択してください。
- モデムダイヤルイン設定に未登録の電話番号へ電話がかかってくると「電話モード（親機・子機用番号）」（P.141）に着信があったときの動作をします。この場合、留守応答設定を設定してあっても留守応答はしません。



ワンポイント

- モデムダイヤルインはナンバー・ディスプレイに対応しています。ただし、キャッチホン※¹、転送でんわ、ボイスワープ※²、トリオホンなどと重複しての利用はできません。
- ※ 1：モデムダイヤルイン 1 回線の場合、INS ネットサービスでの INS キャッチホン〔フレックスホン（コールウェイティング機能）〕の場合は、利用できます。
- ※ 2：INS ボイスワープは利用できます。
- モデムダイヤルイン設定をしている場合には、以下のように着信履歴が残ります。

着信動作	履歴	
	親機	子機
電話モードの番号にする	○	○
親機専用の番号にする	○	×
子機専用の番号にする	×	○
ファクス専用の番号にする	○	×
留守モードの場合（子機）	×	○
留守モードの場合（親機）	○	×
おやすみモードの場合（子機）	×	○
おやすみモードの場合（親機）	○	×
留守電専用の番号にする	○	×

○：着信履歴が残ります。×：着信履歴は残りません。

●留守モード時呼出回数

留守モード設定時に、モデムダイヤルイン設定で「子機専用の番号にする」、「留守電専用の番号にする」、「FAX 専用番号にする」に設定した番号に電話がかかってきた場合は、留守モード時呼出回数で設定した呼び出し方にしたがわず、トールセーバーや、応答までの呼出回数の指定は無効になります。

●優先呼出

優先呼出設定はモデムダイヤルインの「電話モードの番号にする」で指定された番号にのみ有効です。

●電話帳着信音呼出について

かかってきた電話によって着信音を変えるナンバーディスプレイの電話帳着信音呼出の設定は、モデムダイヤルインで「電話モードの番号にする」、「親機専用番号にする」で指定された番号への着信についてのみ有効です。

その他のサービス

ファクシミリ通信網でできること

できること	説明
一斉同報通信	1 回の操作で同じ原稿を最大 10000 力所まで同時に送信することができます。夜間割引もあります。
短縮ダイヤル	最大 10000 個の短縮ダイヤルが利用できます。
再コール	相手が通信中のとき、2 分間隔で 5 回まで自動的にダイヤルします。再ダイヤルの回数は変更できます。
不達通知	再コールをしても相手が話し中などで送信できなかったとき、そのことを送信側に通知します。
閉域接続	サークル仲間など、特定の相手との通信ネットワークを作ることができます。



- 145

iFAX を使う

iFAXは、NTT コミュニケーションズが提供する有料サービスです。本商品では、このサービスを利用してファクスをEメールとして送信することができます。

Eメールにファクスを送信する

- 相手が iFAX 利用者の場合は、ユーザ ID (iFAX 利用者が取得している 10 桁のお客様番号) を指定することで送信できます。
- 相手が iFAX 利用者でない場合でも、メールアドレスを iFAX 宛先リストに登録すれば送信できます。また、宛先リストに宛先をグループ化して登録すると、指定したグループに一斉同報することができます (宛先リスト同報)。宛先リスト同報サービスを使用するには、別途 NTT コミュニケーションズが提供する「グループ指定通信機能」の申し込みが必要です。

宛先リスト番号 00 に登録した E メールアドレスに送信する場合 (例)

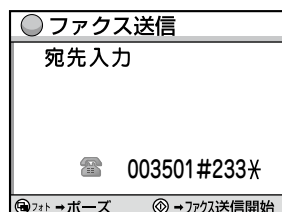
「相手と話してからモノクロファクスを送信する」(P.111) の手順 1～2 にしたがって原稿をセットし、受話器を取るか、【オンフック】を押します。

1 【0】【0】【3】【5】【0】【1】を押す

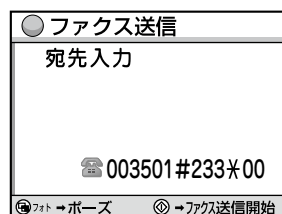
ブップブップという音が鳴ります。

2 【#】【2】【3】【3】【*】を押す

ダイヤル (パルス) 回線をご使用の場合は【#】の前に【*】(トーン) を押してください。

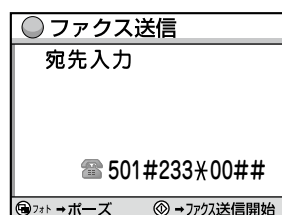


3 宛先リスト番号【0】【0】を押す

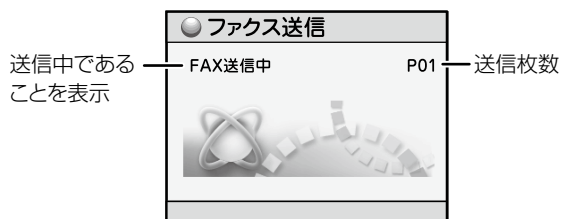


4 【#】【#】を押す

ピーという音が鳴ります。



5 【スタート/コピー】を押す



お知らせ

- Eメールをファクスで受信するには、Eメールの送信側で「iFAX」をご契約いただくか、ファクス受信側で着信課金機能のご契約が必要です。
- ご利用になるには、NTT コミュニケーションズとの加入契約が必要です。「iFAX 接続型サービス」でご契約ください。
- 「iFAX」について詳しくは、NTT コミュニケーションズにお問い合わせください。

子機の増設

新しい子機を増設するには

付属の子機を含めて、子機を4台まで増やすことができます。子機を増やすときには、次の操作で新しい子機を親機に登録してください。

子機を登録する

<子機の操作>

1 子機を充電する

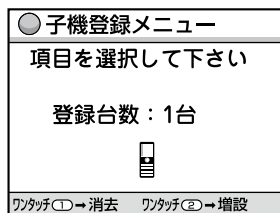
子機の充電については、40 ページをご覧ください。

2 充電器から取り、【切】を押し【通話】が消灯している状態にする

<親機の操作>

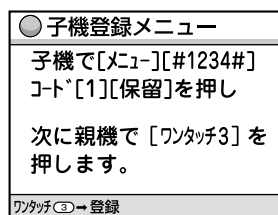
3 【メニュー】を押し、【#】【1】【2】【3】【4】【#】の順に押す

「子機登録メニュー」が表示されます。



4 【ワンタッチ 2】を押す

「子機操作画面」になります。子機番号 (NO.1 ~ NO.4) は、自動的に登録した順に若い番号が設定されます。好きな子機番号を設定することはできません。すでに子機を4台登録している場合は、「登録できません」と表示されます。



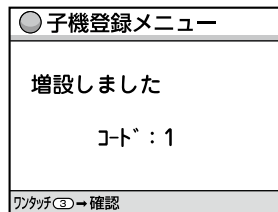
<子機の操作>

【メニュー／セット】【#】【1】【2】【3】【4】【#】
【1】【保留／内線】の順に押す

<親機の操作>

5 【ワンタッチ 3】を押す

「増設しました」と表示されます。



6 もう一度【ワンタッチ 3】を押して確認する

STOP お願い

- お手持ちの子機で登録操作をしないでください。子機番号が変わってしまいます。登録操作は、必ず1台ずつ行ってください。



ワンポイント

- 親機の操作を途中で間違えたときは
【ストップ】を押して、最初からやり直してください。
- 子機の入力操作を間違えたときは
【切】を押して、最初からやり直してください。

登録を確認する

<親機の操作>

1 ▼を押す

例) 子機 1、子機 2 が登録されている場合

○ 内線呼出し
子機番号を 選択して下さい
1 - 2 ?
ダイヤルボタン → 子機番号入力

2 登録した子機番号を押す

例) 【2】「子機 2」を押した場合
増設した子機の呼出音が鳴ります。
鳴らない場合は正しく登録されていません。もう一
度、登録しなおしてください。

○ 通話
子機2呼出中



登録を消去するには

すべての子機の登録を消去する操作です。子機を選んで消去することはできません。

<親機の操作>

1 【メニュー】を押し、【#】【1】【2】【3】【4】【#】の順に押す

「子機登録メニュー」が表示されます。

○ 子機登録メニュー
項目を選択して下さい
登録台数：2台
 
ワンタッチ① → 消去 ワンタッチ② → 増設

2 【ワンタッチ 1】を押す

○ 子機登録メニュー
消去しますか？ 登録台数：2台
<input type="button" value="はい"/> <input type="button" value="いいえ"/>
ワンタッチ① → 消去 ワンタッチ② → 増設

3 ◀を押して「はい」を選択し、【セット】を押す

すべての子機の登録が消去されます。
再び子機を使用する場合は、増設登録をしてください。

ドアホンを接続する

JC-762CL には 2 台のドアホン（別売品）が接続できます。

ドアホン 1 では「ピンポン」、ドアホン 2 では「ピンポンピンポン」の呼出音が鳴ります。

接続にはドアホンのほかにドアホンボックス（別売／品名：Uードアホンボックス）が必要です。詳しくは、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店で相談ください。

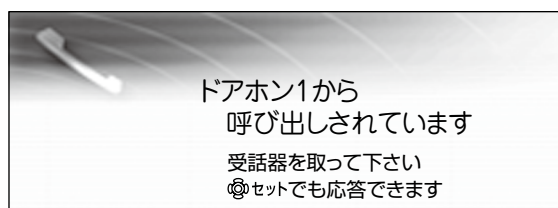
ドアホンの呼び出しに応答する

親機で応答する

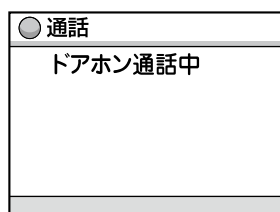
1 ドアホンからの呼出音が鳴ったら、受話器を取る

ディスプレイに「ドアホン 1 (2) から呼び出しされています」と表示されている間(約 30 秒間)に受話器を取ってください。

【セット】または【オンフック】を押しても応答できます。



2 相手と話す



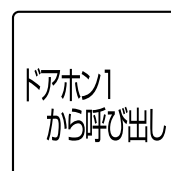
3 終わったら、受話器を戻す

子機で応答する

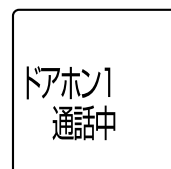
1 ドアホンの呼出音が鳴ったら、子機を充電器から取る

充電器に置いていないときは、【通話】を押します。

ディスプレイに「ドアホン 1 (2)」と表示されている間(約 30 秒間)に子機を取ってください。



2 相手と話す



3 終わったら、子機を充電器に戻すか、【切】を押す



お知らせ

- ・ファクス送受信中は、ドアホンからの呼出音は鳴りません。
- ・子機間通話中にドアホンからの呼び出しがあると、子機間通話が中止されます。ドアホンの呼出音が聞こえたら、【通話】を押すと応答できます。
- ・おやすみモード（P.95）にセットしてあるときでも、ドアホンからの呼出音は鳴ります。



ワンポイント

●ドアホンの呼出音について

呼び出すドアホンによって次のように鳴ります。

ドアホン	呼出音（親機）	呼出音（子機）
ドアホン 1	「ピンポーン」	「ピロピロピロピロ ピロピロピロピロ」
ドアホン 2	「ピンポン ピンポン」	「ピロピロ ピロピロ ピロピロ」

●呼出音の音量を調節するには（P.46）

●外線通話中にドアホンで呼び出されたときは

親機の場合、ドアホンの呼出音が聞こえたら、受話器を取ったまま【セット】を押してドアホンに応答します（外線は保留となります）。外線との通話に戻るときは、いったん受話器を戻した後、受話器を取ります。

子機の場合、ドアホンの呼出音が受話口から聞こえたら、【切】を押して外線通話を切り、再度ドアホンの呼出音が聞こえたら、【通話】を押してドアホンに応答します。

●内線通話中にドアホンで呼び出されたときは

親機の場合、ドアホンの呼出音が聞こえたら、受話器を取ったまま【セット】を押してドアホンに応答します（内線通話は自動的に切れます）。

子機の場合、ドアホンの呼出音が受話口から聞こえたら、【切】を押して内線通話を切り、再度ドアホンの呼出音が聞こえたら、【通話】を押してドアホンに応答します。

●ドアホンと通話中に外線電話がかかってきたときは

親機の場合、外線の呼び出し（スピーカからは P.48 で設定した着信音、受話口からは「ブルルルル〜」という呼出音）が聞こえたら、いったん受話器を戻した後、再度受話器を取ります（ドアホン通話は自動的に切れます）。

子機の場合、外線の呼出音（ブルルルル〜）が受話口から聞こえたら、【切】を押してドアホン通話を切り、再度外線の着信音が聞こえたら、【通話】を押して応答します。

親機のディスプレイを設定する

待機画面を選択する

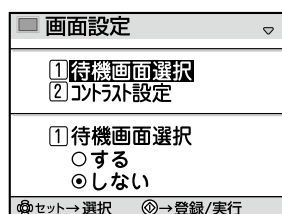
親機のディスプレイに表示される待機画面をお好みに合わせて変更できます。表示させる画像には、あらかじめ内蔵されている画像のほか、メモリーカードに保存されている写真を使うこともできます。メモリーカードについての詳細は、『ダイレクトプリントガイド』をご覧ください。

1 【メニュー】を押す

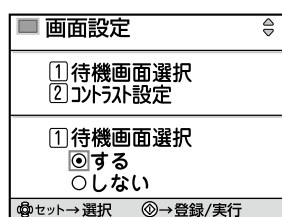
2 「画面設定」をタッチする



3 Δ/∇ で「待機画面選択」を選択し、【セット】を押す



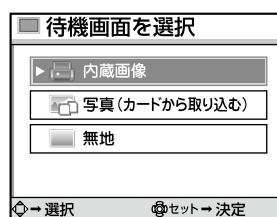
4 Δ/∇ で「する」を選択し、【セット】を押す



5 【スタート/コピー】を押す

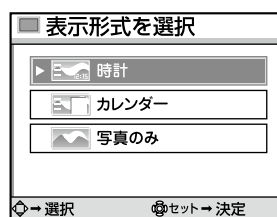
6 Δ/∇ で待機画面に設定する画像の種類を選択し、【セット】を押す

※選べる待機画面、表示形式については、次ページの「待機画面選択内容」をご覧ください。



「内蔵画像」または「無地」を選択したときは

7 Δ/∇ で表示形式を選択し、【セット】を押す



「写真 (カードから取り込む)」を選択したときは

7 メモリーカードをカードスロットにセットする

メモリーカードのセット方法については、『ダイレクトプリントガイド』「メモリーカードをセットする」(P.16)をご覧ください。

8 Δ/∇ で写真サイズを選択し、【セット】を押す

メモリーカード内に保存されている写真のサムネイルが表示されます。



9 使用する写真をタッチする



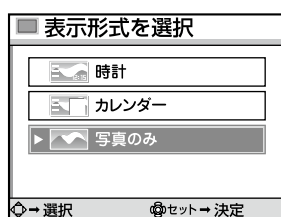
10 「確定」をタッチする

手順 8 で「小さい写真」を選択したときは、設定が終了します。「全画面写真」を選択したときは、手順 11 に進んでください。

11 △／▽で画面をスクロールして表示する範囲を決め、【セット】を押す



12 △／▽で表示形式を選択し、【セット】を押す



<待機画面選択内容>

項目	オプション	内容
内蔵画像	時計	内蔵されている画像の上に時計が表示される
	カレンダー	内蔵されている画像の上にカレンダーが表示される
	写真のみ	内蔵されている画像のみが表示される
写真（カードから取り込む）	—	メモリーカードに保存されている画像を選択する「全画面写真」サイズのときは、時計やカレンダーも表示させることができる
無地	時計	無地の画面に時計が表示される
	カレンダー	無地の画面にカレンダーが表示される
	写真のみ	無地の画面のみ表示される

ディスプレイのコントラストを調節する

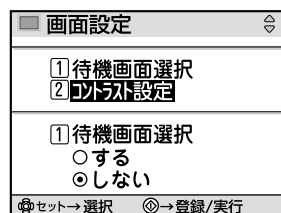
コントラスト（表示される濃さ）を調節できます。

1 【メニュー】を押す

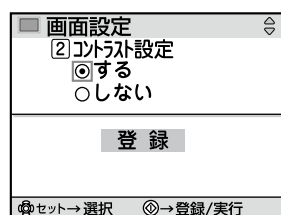
2 「画面設定」をタッチする



3 △／▽で「コントラスト設定」を選択し、【セット】を押す



4 △／▽で「する」を選択し、【セット】を押す



5 【スタート／コピー】を押す

6 ◀／▶を押してコントラストを調節する



7 【セット】を押す



お知らせ

- カードから読み込んだ画像を待機画面に設定した場合、停電するとこの待機画面情報は消え、お買い上げ時の待機画面に戻ります。
- 待機画面の選択と画面コントラストの変更を一度の操作で同時に行うことはできません。一方の設定を完了してから次の設定を行ってください

キータッチ音量を設定する

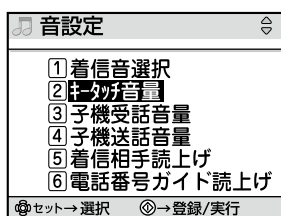
親機の操作パネル上の各ボタンやタッチパネルを押したときに鳴る「ピッ」という音（キータッチ音）の大きさを調節することができます。鳴らないようにすることもできます。

1 【メニュー】を押す

2 「音設定」をタッチする

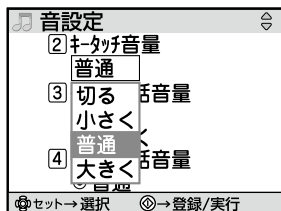


3 ▲／▼で「キータッチ音量」を選択し、【セット】を押す



4 【セット】を押し、▲／▼で設定を選択して【セット】を押す

「切る」を選択するとキータッチ音が鳴らなくなります。



5 【スタート／コピー】を押す

設定



お知らせ

- キータッチ音量を「切る」にすると、キー操作音とキー操作エラー音が鳴らなくなります。

電話がかかってきたときの音声読上げを設定する

本商品には、電話やファクスの着信を音声でお知らせする機能があります。

通常は「電話です」という音声で呼び出し、ナンバー・ディスプレイ（またはネームディスプレイ）をご利用の場合は電話番号や名前で呼び出します。

「着信相手読上げ」を「しない」にすると、着信音のみの呼び出しになります。

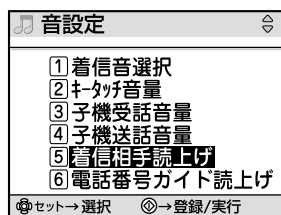
（お買い上げ時の設定は「する」になっています。）

1 【メニュー】を押す

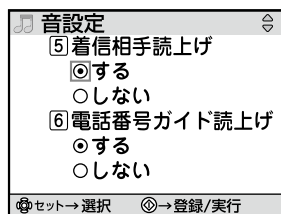
2 「音設定」をタッチする



3 ▲／▼で「着信相手読上げ」を選択し、【セット】を押す



4 ▲／▼で「する」を選択し、【セット】を押す



5 【スタート／コピー】を押す

音量を調節するときは、音量調節（P.46）をご覧ください。

電話をかけるときの音声ガイドを設定する

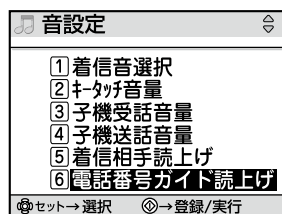
ダイヤルボタンを押したときにはその数字を、【ワンタッチ】を押したときや電話帳を選択したときにはその登録先を読み上げます。

1 【メニュー】を押す

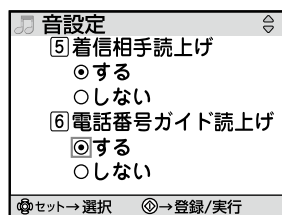
2 「音設定」をタッチする



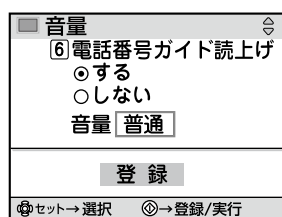
3 △／▽で「電話番号ガイド読上げ」を選択し、【セット】を押す



4 △／▽で「する」を選択し、【セット】を押す



5 △／▽で「音量」を選択し、【セット】を押す



6 △／▽で音量「普通」または「大きく」を選択し、【セット】を押す

親機の便利な機能を設定する

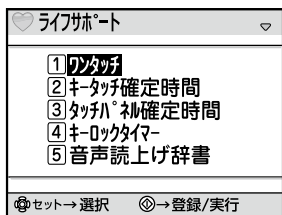
1 【メニュー】を押す

2 「ライフサポート」をタッチする



3 ▲／▼で設定したい項目を選択し、【セット】を押す

設定できる項目については、下記をご覧ください。



●手順3で選択できる設定内容

ワンタッチ	電話番号を登録し、ワンタッチで電話がかけられるようにする
キータッチ確定時間	ボタンを押してから機能が動作するまでの時間を設定する。「長く」にすると、ボタンを長めに押さないと反応しなくなる
タッチパネル確定時間	タッチパネルをタッチしてから機能が動作するまでの時間を設定する。「長く」にすると、タッチパネルを長めにタッチしないと反応しなくなる
キーロックタイマー	親機のボタン操作を無効にする時間の長さを設定する
音声読上げ辞書	ナンバー・ディスプレイまたはネーム・ディスプレイをご利用の場合にのみ有効な設定。着信時に、電話帳の登録名や電話番号の代わりにニックネームなどが読み上げられるようにする。最大10件登録できる

4 各項目の設定をする

●手順4での操作

ワンタッチ	58 ページ参照
キータッチ確定時間	① ▲／▼ で設定を選択し、【セット】を押す 設定値：「普通」「長く」 ② 【スタート／コピー】を押す
タッチパネル確定時間	① ▲／▼ で設定を選択し、【セット】を押す 設定値：「普通」「長く」 ② 【スタート／コピー】を押す
キーロックタイマー	① ▲／▼ で設定を選択し、【セット】を押す 設定値： 「おそうじモード(3分)」 「チャイルドロック(連続)」 ② 【スタート／コピー】を押す
音声読上げ辞書	① ▲／▼ で「文字(1～10)」を選択し、【セット】を押す ② タッチパネルで、電話帳に登録されているフリガナ（または「なまえ」／「TEL」の内容）を入力する ③ ▲／▼ で「読み方(1～10)」を選択し、【セット】を押す ④ タッチパネルで、ニックネームなどを入力する ⑤ 【スタート／コピー】を押す

■：お買い上げ時の設定

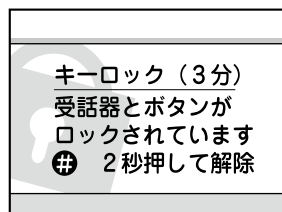
親機のボタン操作を無効にする（キーロック）

親機のボタン操作を設定時間の間無効にすることができます。操作パネルの掃除をするときなどに便利です。

キーロックをセットする

1 【#】（キーロック）を約 2 秒間押す

お買い上げ時は、約 3 分たつと自動的に解除される設定（おそうじモード）になっています。



キーロックを解除する

1 【#】（キーロック）を約 2 秒間押す



お知らせ

- 水を固くしぼった布で操作パネルを拭くときや親機内部の掃除をするときは、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
- キーロック中に電話がかかってきても、キーロックを解除するまで親機で電話を受けることができません。
- キーロック中でも、子機は使用できます。子機を使った留守録設定（P.93）や、電話帳転送（P.65）を行うこともできます。



ワンポイント

● ボタン操作を無効にしたままにするには

キーロックタイマーを「チャイルドロック（連続）」に設定すると（P.156）、3 分を過ぎてもキーロックが解除されません。小さなお子様やペットによる誤操作の防止に便利です。解除するときは、【#】（キーロック）を約 2 秒間押します。

メモリに保存されている内容を一括消去する（全消去）

メモリに保存されている受信ファクスや留守番電話を一括して消去することができます。メモリがいっぱいになって用件の録音やファクスの受信ができなくなったときなどに使用します。

1 待機画面表示中に【消去／キャッチ】を押す

留守番電話、ファクス受信画像の件数が表示されます。

2 Δ ／ ∇ で一括消去したい項目を選択し、【セット】を押す

確認画面が表示されます。

● 消去	
留守番電話	0 件
ファクス受信画像	2 件

◀→ 選択 消去 または Ⓢ セット → 消去

3 \triangleleft ／ \triangleright で「はい」を選択し、【セット】を押す

処理が終了すると「消去しました」と表示されます。

● 消去	
消去しますか？ ファクス受信画像	
▶ はい	いいえ

◀→ 選択 消去 または Ⓢ セット → 消去



ワンポイント

● 1 件ずつ消去するには

用件の場合は 92、94 ページ、ファクスの場合は 121 ページをご覧ください。

子機の便利な機能を設定する

1 【通話】が消灯している状態で【メニュー／セット】を押す

2 **△／▽**で「便利設定」を選択し、【メニュー／セット】を押す



3 **△／▽**で設定したい項目を選択し、【メニュー／セット】を押す

設定できる項目については、下記をご覧ください。


●手順 3 で選択できる設定内容

キータッチトーン	ボタンを押したときに「ピッ」という音を鳴らすかどうかを設定する
クイック通話	子機を充電器から取るだけで外線につながるようにするかどうかを設定する
液晶コントラスト	子機のディスプレイのコントラストを調節する

4 各項目の設定をする

●手順 4 での操作

キータッチトーン	① △／▽ で設定を選択し、【メニュー／セット】を押す 設定値：「ON（鳴らす）」「OFF（鳴らさない）」 ② 【メニュー／セット】を押す
クイック通話	79 ページ参照
液晶コントラスト	① △／▽ でコントラストを調節する ② 【メニュー／セット】を押す

：お買い上げ時の設定

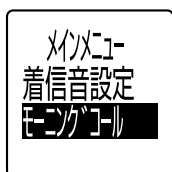
子機のモーニングコールを利用する

子機を目覚まし時計として使うことができます。モーニングコールを設定すると、毎日指定した時刻にアラームが約 2 分間鳴ります。

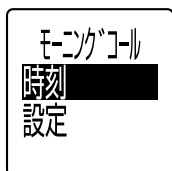
モーニングコールを設定する

- 1 【通話】が消灯している状態で【メニュー／セット】を押す

- 2 Δ ／ ∇ で「モーニングコール」を選択し、【メニュー／セット】を押す

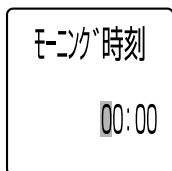


- 3 Δ ／ ∇ で「時刻」を選択し、【メニュー／セット】を押す



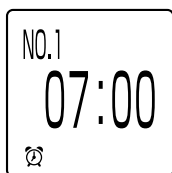
- 4 【0】～【9】を押して時刻を入力する

1桁の数字は0から入力します。
24時間制で入力します。



- 5 【メニュー／セット】を押す

モーニングコールが設定され、ディスプレイに「 ☎ 」が表示されます。

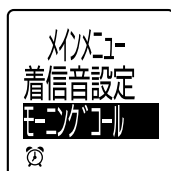


モーニングコールの設定／解除を切り替える

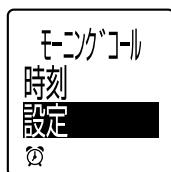
時刻の設定を変えずに、モーニングコールのON／OFFを切り替えることができます。

- 1 【通話】が消灯している状態で【メニュー／セット】を押す

- 2 Δ ／ ∇ で「モーニングコール」を選択し、【メニュー／セット】を押す



- 3 Δ ／ ∇ で「設定」を選択し、【メニュー／セット】を押す



- 4 Δ ／ ∇ で「ON」または「OFF」を選択し、【メニュー／セット】を押す

設定したときはディスプレイに「 ☎ 」が表示され、解除したときは消えます。



鳴っているアラームを止める

アラームは、鳴りはじめて 1 分経過すると鳴りかたが速くなります。約 2 分後には自動的に止まりますが、途中で止めるときは次のように操作します。

1 子機のいずれかのボタンを押す

アラームが止まります。

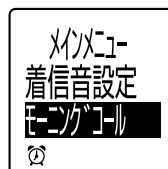
充電器から取ったり、充電器に置いていない

ときは充電器に戻してもアラームが止まります。

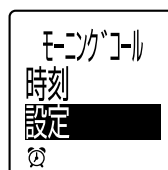
モーニングコールの設定を確認する

1 【通話】が消灯している状態で【メニュー／セット】を押す

2 Δ ／ ∇ で「モーニングコール」を選択し、【メニュー／セット】を押す



3 Δ ／ ∇ で「設定」を選択し、【メニュー／セット】を押す



4 設定状態や設定時刻を確認し、【切】を押す



お知らせ

- 子機の時刻が設定（P.45）されていないと、モーニングコールは使えません。
- 子機が 2 台以上ある場合は、それぞれモーニングコールを設定できます。
- 子機の音量を「消音」に設定していても、モーニングコールは鳴ります。
- アラームを止めても、モーニングコールの設定そのものは解除されません。
- 設定した時刻に子機を使用している場合は、モーニングコールは動作しません。



ワンポイント

●アラームが鳴っているときに電話がかかってきたときは

アラームが止まって着信／呼出音が鳴ります。

親機または他の子機で電話に出ると、再度アラームが鳴りはじめます。

子機のキッチンタイマを使う

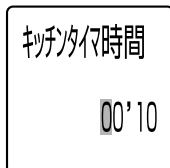
子機をタイマとして使うことができます。キッチンタイマを設定すると、指定した時間が経過したときにアラームが約 1 分間鳴ります。

キッチンタイマを設定する

- 1 【通話】が消灯している状態で【メニュー／セット】を押す
- 2 Δ ／ ∇ で「キッチンタイマ」を選択し、【メニュー／セット】を押す



- 3 【0】～【9】を押して時間を入力する
1桁の数字は0から入力します。秒単位で60分まで設定できます。
(例：5分30秒に設定するときは、「0530」と入力します。)



- 4 【メニュー／セット】を押す
秒単位でカウントダウンが開始されます。



鳴っているアラームを止める

アラームは、鳴りはじめて約 1 分後には自動的に止まりますが、途中で止めるときは次のように操作します。

- 1 子機のいずれかのボタンを押す
アラームが止まります。
充電器から取ったり、充電器に置いていないときに充電器に戻してもアラームが止まります。

設定

お知らせ

- ・カウントダウン中の子機では、中止するまで他の操作を行うことはできません。
- ・モーニングコールを設定しているときは、キッチンタイマは使えません。
- ・子機が 2 台以上あるときは、それぞれの子機でキッチンタイマをセットすることができます。

ワンポイント

- 設定を解除するには
カウントダウン表示中に【切】を押します。
- カウントダウン中にかかってきた電話や内線、ドアホンの呼び出しに応答するには
カウントダウン中は着信／呼出音は鳴らずにディスプレイに着信が表示され、【通話】が点滅します。
【切】を押してカウントダウンを中止し、子機の着信／呼出音が鳴ってから【通話】を押します。
- 外線や内線、ドアホンなどの着信中にタイマの時間になったときは
アラームが鳴りはじめます。いずれかのボタンを押してアラームを止め、子機の着信／呼出音が鳴ってから【通話】を押すと、応答できます。
- アラームが鳴っているときにかかってきた電話や内線、ドアホンの呼び出しに応答するには
着信／呼出音は鳴らずにディスプレイに着信が表示され、【通話】が点滅します。
いずれかのボタンを押してアラームを止め、子機の着信／呼出音が鳴ってから【通話】を押します。

子機に使う人の名前を表示する

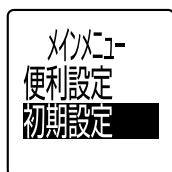
子機のディスプレイに、使う人の名前を表示させることができます。

使用者名を登録する

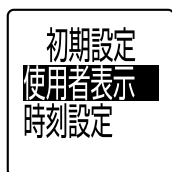
登録すると、待機画面表示中のディスプレイに名前が表示されます。

- 1 【通話】が消灯している状態で【メニュー／セット】を押す

- 2 Δ/∇ で「初期設定」を選択し、【メニュー／セット】を押す



- 3 Δ/∇ で「使用者表示」を選択し、【メニュー／セット】を押す

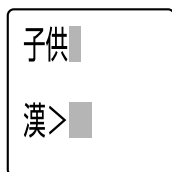


- 4 Δ/∇ で「登録」を選択し、【メニュー／セット】を押す

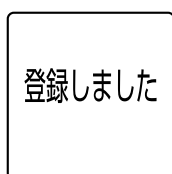


- 5 使用者の名前を入力する

文字の入力のしかたは 53 ページをご覧ください。



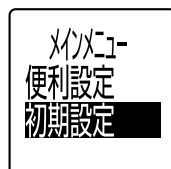
- 6 【メニュー／セット】を押す



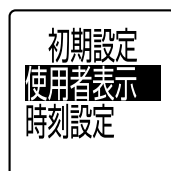
登録した使用者名を消去する

- 1 【通話】が消灯している状態で【メニュー／セット】を押す

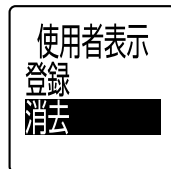
- 2 Δ/∇ で「初期設定」を選択し、【メニュー／セット】を押す



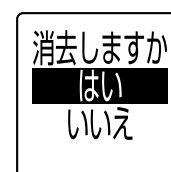
- 3 Δ/∇ で「使用者表示」を選択し、【メニュー／セット】を押す



- 4 Δ/∇ で「消去」を選択し、【メニュー／セット】を押す



- 5 Δ/∇ で「はい」を選択し、【メニュー／セット】を押す



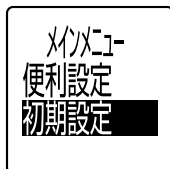
設定

子機をお買い上げ時の状態に戻す

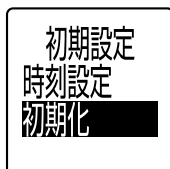
子機のすべての設定をお買い上げ時の設定に戻し、電話帳の登録内容も一括して消去することができます。

1 【通話】が消灯している状態で【メニュー／セット】を押す

2 Δ ／ ∇ で「初期設定」を選択し、【メニュー／セット】を押す

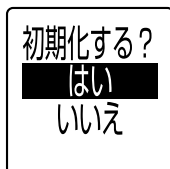


3 Δ ／ ∇ で「初期化」を選択し、【メニュー／セット】を押す



4 Δ ／ ∇ で「はい」を選択し、【メニュー／セット】を押す

処理が終了すると「初期化が終了しました」と表示されます。




さまざまなリストを印刷する

ファクスの送受信結果や電話帳、機能設定のリストを印刷することができます。

リストを印刷する

1 待機画面表示中に【メニュー】を押す

2 「各種プリント」をタッチする 



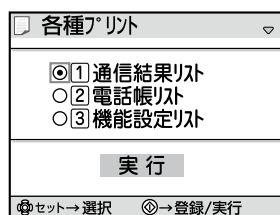
3 Δ / ∇ で印刷したい項目を選択し、【セット】を押す

次のいずれかを選択します。

通信結果リスト：ファクス送受信の結果の一覧

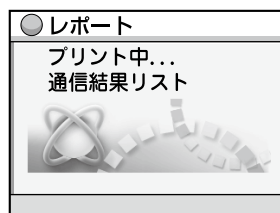
電話帳リスト：親機に登録されている電話帳の一覧

機能設定リスト：親機の登録・設定状態の一覧



4 【スタート／コピー】を押す

リストが印刷されます。



設定



お知らせ

- 記録紙がなくなると、印刷は中止されます。



ワンポイント

- 印刷を中止するには
【ストップ】を押します。

通信結果リストの見かた

送受信した最新 10 件までのファクスの記録を確認することができます。

*** 通信結果 リスト ***

《 送信 》

[送信日時]	[相手先電話番号]	[ページ数]	[通信時間]	[通信結果]	[エラーの内容]
10/17 19:43	035678XXXX	1	00'10	NG	ストップで中止
10/17 19:46	035678XXXX	0	00'00	NG	相手話し中
10/17 20:03	035678XXXX	1	01'22	OK	

《 受信 》

[受信日時]	[相手先電話番号]	[ページ数]	[通信時間]	[通信結果]	[エラーの内容]
10/17 19:35	035678XXXX	1	00'45	OK	
10/17 19:40	035678XXXX	1	00'37	NG	受信のやり直し

通信結果リストには、送信と受信を分けて、次の内容が記録されます。

[送信日時] / [受信日時]	ファクスの送信／受信を開始した日時
[相手先電話番号]	送信：ダイヤルした番号 受信：相手のファクスに登録されている番号
[ページ数]	送信／受信したファクスの総ページ数
[通信時間]	送信／受信にかかった時間
[通信結果]	「OK」：送信／受信が正常に完了した 「NG」：異常が発生し、送信／受信が正常に完了しなかった
[エラーの内容]	通信結果「NG」時のエラーの内容 （「通信結果リストのエラー表示」下記）

●通信結果リストのエラー表示

エラーの内容	意味
相手応答なし	相手と話した後の送信時、相手側がファクスを受信しなかった／受信時に相手側が送信しなかった
相手話し中	自動送信時、相手が話し中だった
原稿が長すぎ	原稿がつまった／長さが 90cm 以上の原稿を送ろうとした／送信時間が 32 分を超えた
原稿を点検	原稿が正しくセットされていなかった
受信のやり直し	受信が正常に行われなかった
送信のやり直し	送信が正常に行われなかった
ストップで中止	【ストップ】を押して中断した
メモリオーバー	ファクスを受信している途中でメモリがいっぱいになった
カラー機能なし	相手先のファクスがカラーに対応していません

電話帳リストの見かた

電話帳リストには、登録した相手の名前、電話番号が印刷されます。

*** 電話帳 リスト ***

【 相手の名前 】 【 電話番号 】	相川花子 031234XXXX
【 相手の名前 】 【 電話番号 】	時報 117
【 相手の名前 】 【 電話番号 】	天気予報 (電 気 気 象 庁)

機能設定リストの見かた

機能設定リストには、機能設定項目名、現在の登録・設定内容およびお買い上げ時の設定が印刷されます。

*** 機能設定 リスト ***

[機能設定項目]	[設定内容]	[初期値]
【初期設定】 ・あなたの名前 ・あなたの電話番号 ・回線種類 ・ナンバー・ディスプレイ ・回線検出	松浦 031234XXXX プッシュ する	設定なし 設定なし プッシュ する

こんなときは

記録紙や原稿が汚れるときは

印刷した記録紙や原稿が汚れるときは、プリンタ内部のクリーニングを行ってください。

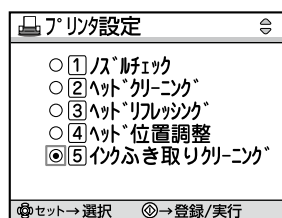
インクふき取りクリーニングをする

プリンタ内部にインクが付着していると、印刷した記録紙や原稿が汚れることがあります。定期的にインクふき取りクリーニングを行ってください。

- 1 セットされているすべての原稿および記録紙を取り除く
- 2 【メニュー】を押す
- 3 「プリンタ設定」をタッチする

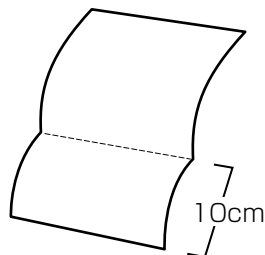


- 4 Δ / ∇ で「インクふき取りクリーニング」を選択し、【セット】を押す



- 5 【スタート/コピー】を押す

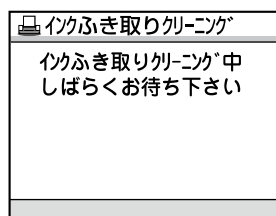
- 6 A4 サイズの普通紙の下から 10cm のところを折り、開いたものを 1 枚用意する



- 7 用意した紙のオモテ面を谷折りにして、記録紙トレイにセットする



- 8 【セット】を押す



STOP お願い

- クリーニング用の用紙がうまく給紙されないと、クリーニングが行われず、待機画面に戻ってしまいます。この場合は、再度初めから操作してください。

プリンタ内部の突起をクリーニングする

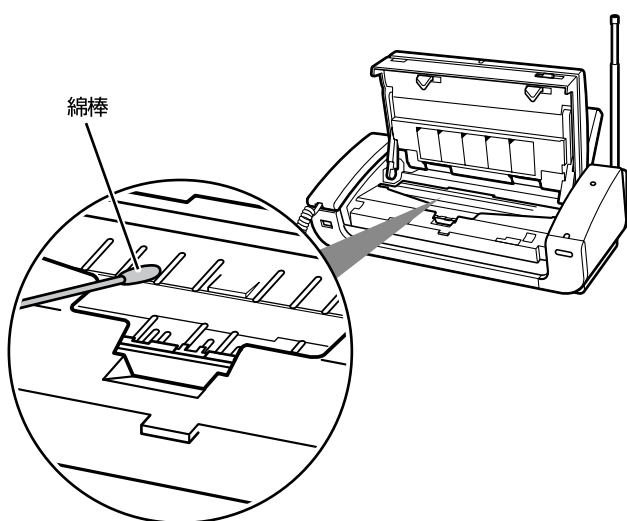
3回インクふき取りクリーニングを行ってもインクが付くときは、プリンタ内部の突起が汚れている場合があります。手順にしたがって、クリーニングしてください。



警告

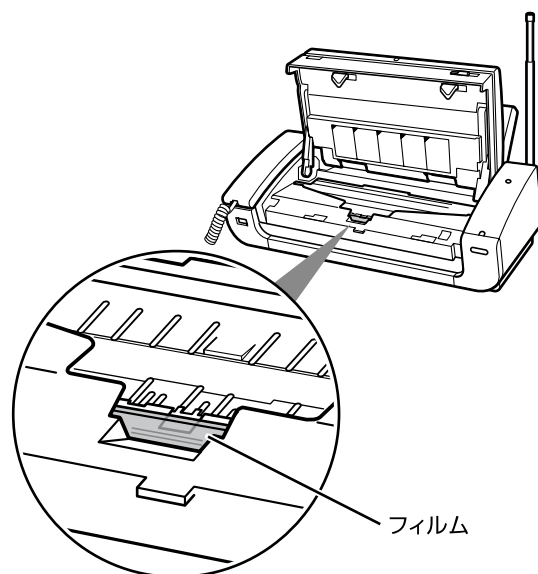
プリンタ内部をクリーニングするときは、必ず電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

- 1 電源プラグを電源コンセントから抜く
- 2 操作パネルを開ける
- 3 綿棒などを使って、インク汚れをていねいにふき取る



注意

フィルムには、絶対触れないようにしてください。印字不良や故障の原因となり、印刷できなくなります。



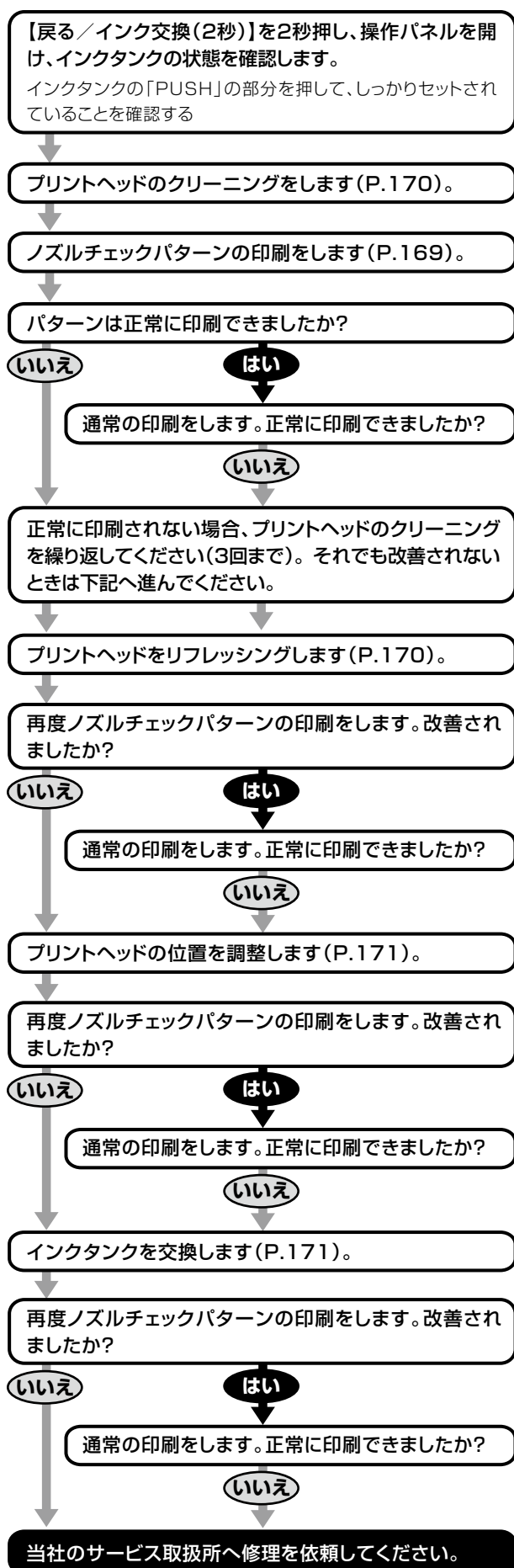
- 4 操作パネルを閉める



お知らせ

- 電源プラグを抜くと、停電になったときと同様の状態になります (P.177)。

印刷にかすれやむらがあるときは



ノズルチェックパターンを印刷する

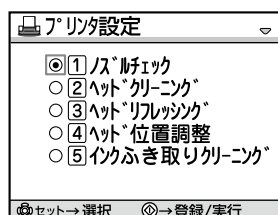
プリントヘッドのノズルからインクが正しく出ているかを確認するために、ノズルチェックパターンを印刷します。

- 1 A4サイズの記録紙(普通紙)を1枚セットする
- 2 【メニュー】を押す
- 3 「プリンタ設定」をタッチする

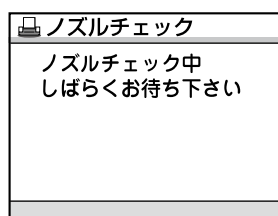


- 4 Δ / ∇ で「ノズルチェック」を選択し、【セット】を押す

チェックには約20秒かかります。



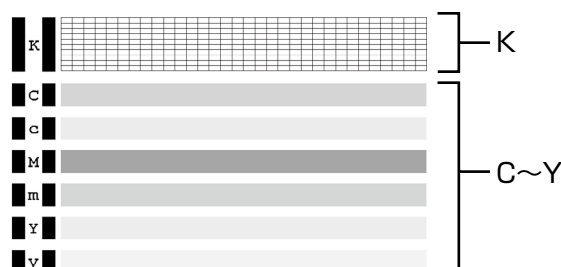
- 5 【スタート／コピー】を押す



- 6 印刷されたノズルチェックパターンを確認する

ノズルチェックパターンを確認する

印刷されたノズルチェックパターンを確認します。欠けや白いすじがなければOKです。



「K」の部分の線が欠けていたり、「C～Y」の部分に白いすじがある場合は、プリントヘッドのクリーニングが必要です。

プリントヘッドをクリーニングする

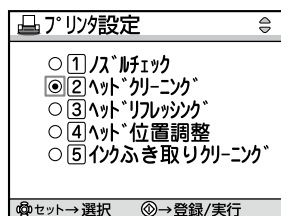
ノズルチェックパターンに欠けや白いすじがある場合は、プリントヘッドのクリーニングを行ってノズルのつまりを解消してください。

1 【メニュー】を押す

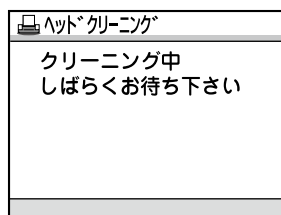
2 「プリンタ設定」をタッチする



3 ▲/▼で「ヘッドクリーニング」を選択し、【セット】を押す



4 【スタート/コピー】を押す



5 クリーニング終了後、A4サイズの記録紙（普通紙）を1枚セットし、ノズルチェックパターンを印刷する（P.169）

6 印刷されたノズルチェックパターンを確認する（P.169）

プリントヘッドをリフレッシュする

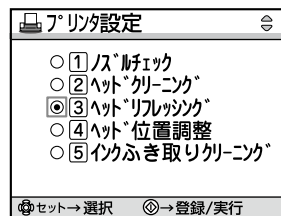
プリントヘッドのクリーニングを行っても効果がない場合は、ヘッドリフレッシュを行ってください。

1 【メニュー】を押す

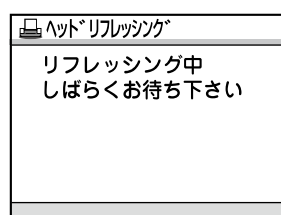
2 「プリンタ設定」をタッチする



3 ▲/▼で「ヘッドリフレッシュ」を選択し、【セット】を押す



4 【スタート/コピー】を押す



5 クリーニング終了後、A4サイズの記録紙（普通紙）を1枚セットし、ノズルチェックパターンを印刷する（P.169）

6 印刷されたノズルチェックパターンを確認する（P.169）

特定の色だけが印刷されない場合は、そのインクタンクを交換します（P.171）。



お知らせ

- プリントヘッドをクリーニングすると、インクを消費します。クリーニングは必要な場合のみ行ってください。
- クリーニングには約 60 秒かかります。この間、ほかの操作は行わないでください。
- ヘッドリフレッシュをすると、インクを大量に消費します。ヘッドリフレッシュは、必要な場合のみ行ってください。
- ヘッドリフレッシュには約 2 ～ 3 分かかります。この間、ほかの操作は行わないでください。

プリントヘッド位置を調整する

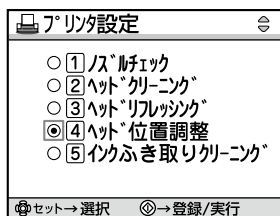
罫線がずれて印刷されるなど、印刷結果が思わしくないときには、プリントヘッドの位置を調節してください。プリントヘッド位置調整パターンを印刷し、その結果を見てプリントヘッドの位置を調整します。

1 【メニュー】を押す

2 「プリンタ設定」をタッチする



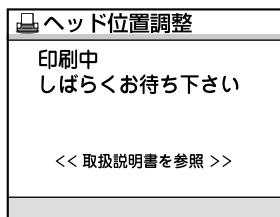
3 ▲/▼で「ヘッド位置調整」を選択し、【セット】を押す



4 A4 サイズの記録紙（普通紙）を1枚セットし、【スタート／コピー】を押す

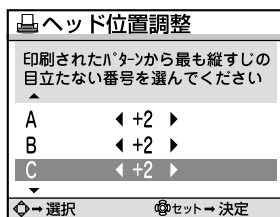
5 ヘッド位置調整画面が表示されたら、【セット】を押す

プリントヘッド位置調整パターンが印刷されます。印刷されたものを見ながら、手順6の操作を行ってください。



6 ▲/▼で行を選択し、◀/▶で目的の番号を表示させる

もっとも縦すじが目立たないパターンの番号を表示させます。この操作を繰り返して「A」～「K」すべての数値を選択します。



7 【セット】を押す

インクタンクを交換する

インクがなくなったときは、インクタンクを交換してください。

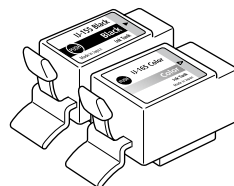
インクタンクの型番や取り付け位置を間違えると正しく印刷できません。本商品では、次のインクタンクを使用しています。

●ブラックインクタンク：IJ-155 Black

ファクシミリ用 IJ「H」形「5」インクカートリッジ

●カラーインクタンク：IJ-165 Color

ファクシミリ用 IJ「H」形「6」インクカートリッジ

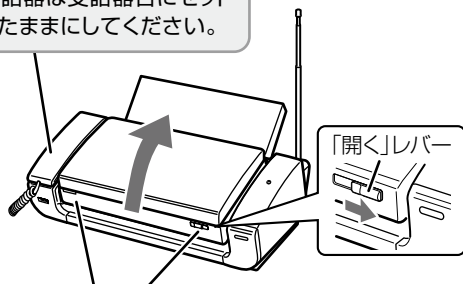


交換の操作

インクタンクの交換は、操作パネル裏に書かれている説明を参考にしてください。

- 1 【戻る／インク交換（2秒）】を約2秒間押す
- 2 ディスプレイを閉め、「開く」レバーを右に引きながら、操作パネルを開ける

受話器は受話器台にセットしたままにしてください。

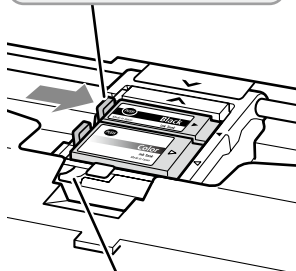


両手で操作パネルのここを持って、静かに持ち上げてください。

- 3 インクのなくなったインクタンクを取り外す

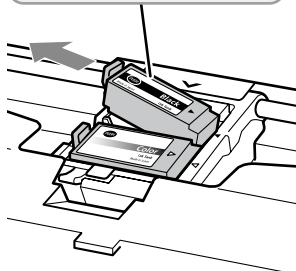
●インクタンクを取り外しかた

タブを矢印の方向に押す



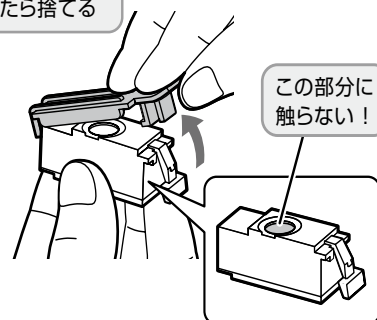
プリントヘッドは取り外さない

インクタンクを取り出す



- 4 新しいインクタンクを準備する

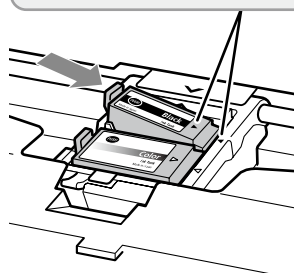
取り外したら捨てる



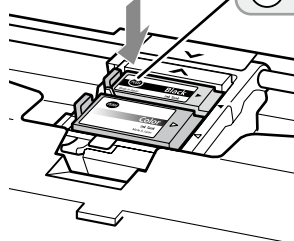
- 5 インクタンクを取り付ける

●インクタンクの取り付けかた

▶マークと◀マークをあわせて、斜めに差し込む



(PUSH) をしっかりと押す!

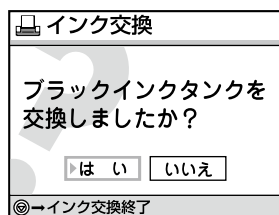


- 6 操作パネルを「カチッ」と音がするまで閉め、ディスプレイを開く

- 7 【ストップ】を押す

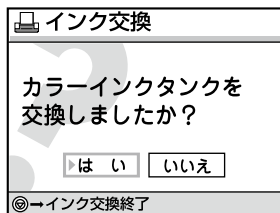
ブラックインクタンクを交換していない場合は、手順9に進みます。

- 8 「ブラックインクタンクを交換しましたか？」と表示されたら、「はい」または「いいえ」を選択し、【セット】を押す



9 「カラーインクタンクを交換しましたか？」と表示されたら、「はい」または「いいえ」を選択し、【セット】を押す

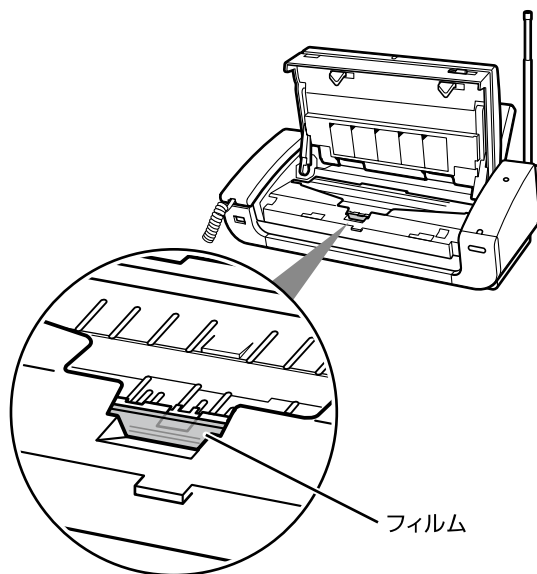
カラーインクタンクを交換していない場合はここで終了です。



10 手順9で「はい」を選択すると「インクふき取りクリーニングをおすすめします」という画面が現れます。このあと「インクふき取りクリーニング」(P.167)の手順5に進んで、インクふき取りクリーニングを行ってください。

△注意

フィルムには、絶対触れないようにしてください。印字不良や故障の原因となり、印刷できなくなります。



お知らせ

- インクタンクを取り付ける際は、並び順を間違えないよう、表示をよくご確認ください。
- 最適な印刷品質を保つため、当社指定インクタンクのご使用をおすすめします。また、インクのみのもつめ替えはおすすめできません。
- インクタンクの交換はすみやかにを行い、インクタンクを取り外した状態で放置しないでください。
- 交換用インクタンクは新品のものを装着してください。使いかけのインクタンクを装着すると、ノズルがつまる原因になります。また、インク交換時期を正しくお知らせできません。
- 最適な印刷品質を保つため、インクタンクは開封後6か月以内に、未開封の場合でも購入後2年以内に使い切ってください。(取り付けた年月日を控えておくことをおすすめします)。
- 黒のみの原稿やグレースケール印刷を指定した場合でも、各色のインクが使われる可能性があります。また、ヘッドクリーニングやヘッドリフレッシュでも、各色のインクが使われます。
- インクがなくなった場合は、すみやかに新しいインクタンクに交換してください。
- 衣服や周囲を汚さないよう、インクタンクの取り扱いには注意してください。
- インク取付窓周辺はインクで汚れています。手が汚れないように気をつけてください。
- 新しいインクタンクの包装は、手順どおりにはがしてください。
- インクが飛び出すことがありますので、インクタンクの側面は強く押さないでください。
- 新しいインクタンクから取り外した保護キャップは、再装着しないでください。地域の条例にしたがって捨ててください。
- 保護キャップを取り外したあと、インク出口に手を触れないでください。インクが正しく供給されなくなる場合があります。
- ナビメニューでも手順の確認ができます。



ワンポイント

●プリントヘッドの乾燥や目づまりを防ぐには

きれいな印刷を保つためには、定期的(月1回程度)に印刷を行うことをおすすめします。長期間使用されないと、プリントヘッドが乾燥して目づまりを起こす場合があります。

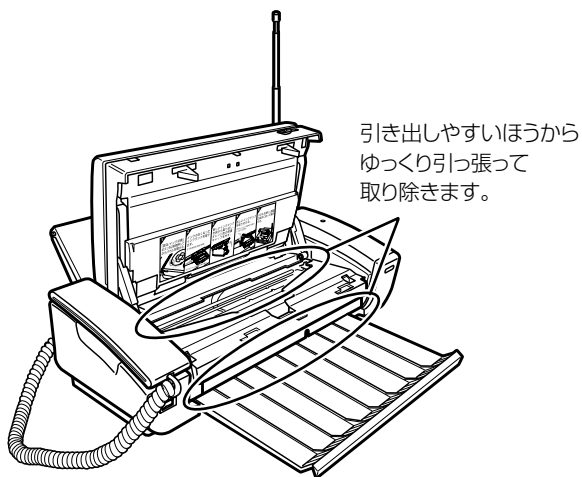
●インクタンクを交換し終わったら

コピーをする(P.126)などして正しくプリントできるかどうかを確認することをおすすめします。

原稿または記録紙がつまったときは

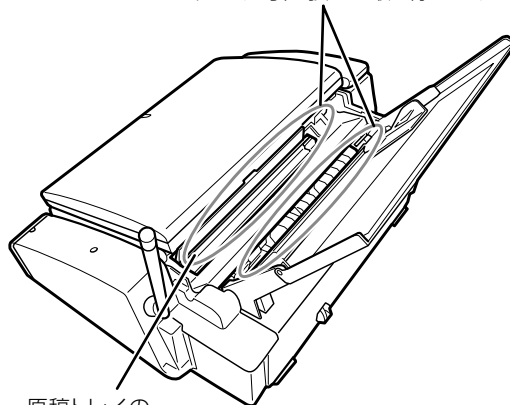
つまった原稿または記録紙は、次の手順で取り除いてください。

- 1 つまっていない原稿や記録紙をすべて取り除く**
原稿トレイ、記録紙トレイ、排紙トレイなどに残っているすべての原稿や記録紙を取り除きます。
- 2 原稿トレイおよび記録紙トレイからはみ出している紙を、ゆっくり引き抜く**
なるべく破れないように、慎重に引き抜いてください。
- 3 排紙トレイからはみ出している紙を、ゆっくり引き抜く**
なるべく破れないように、慎重に引き抜いてください。
- 4 操作パネルを開き、つまっている紙を取り除く**



- 5 つまっている紙を後方から取り除く**

引き出しやすいほうから
ゆっくり引っ張って取り除きます。



- 6 取り除き終わったら操作パネルを閉め、【ストップ】を押す**

STOP お願い

- 記録紙や原稿は、抜き取りやすい方向に静かに引いて、破れないように注意して取り除いてください。
- 無理な力を加えると、記録紙が破れることがあります。親機内部で記録紙が破れたときは、内部につまった記録紙をすべて取り除いてください。
- つまった紙が引き抜けない場合や、紙片が取り除けない場合、また取り除いても紙づまりのエラー（P.182）が解除されない場合には、当社のサービス取扱所へお問い合わせください。

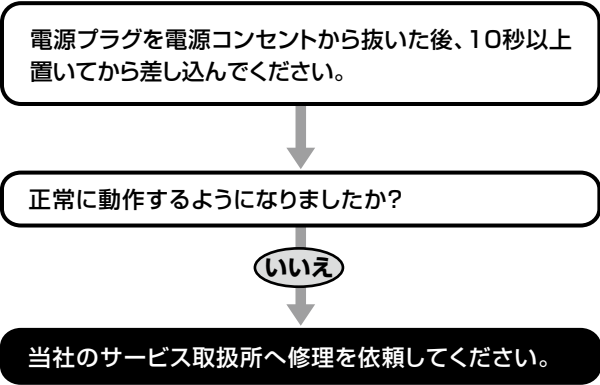


お知らせ

- つまった原稿または記録紙を取り除くときに、電源プラグを抜く必要はありません。

正常に動作しないときは

電話が正常に動作しない



記録紙がうまく送られない／ 記録紙がつまった

原因	対処方法
適切な記録紙を使用していない	厚い記録紙や反りのある記録紙などを使用していないかどうか確認してください (P.36)。
記録紙がつまった	記録紙を取り除いてください (P.174)。

白紙が出る

原因	対処方法
コピーやファックスの原稿が正しくセットされていない	原稿面をウラ向きにセットしてください (P.38)。
インクがなくなっている	インクタンクを交換してください (P.171)。

デジタルカメラからうまく印刷できない

デジタルカメラから直接印刷を行ったときに、カメラにエラーが表示される場合があります。表示されるエラーと対処方法は以下のとおりです。

- カメラによっては、“PictBridge”の設定が必要な場合があります。
- 本商品と接続して直接印刷できるのは、“PictBridge”対応のデジタルカメラです。
- “PictBridge”対応以外のデジタルカメラは絶対に接続しないでください。火災や感電、本商品の損傷の原因になることがあります。また、誤って接続してしまった場合は、電源プラグの抜き差しが必要となります。その際には登録されたデータが失われる場合があります（P.175）。
- 以下の説明は、“PictBridge”対応のデジタルカメラに表示されるエラーについて説明しています。ご使用のカメラにより表示されるエラーやボタン操作が異なる場合があります。カメラのエラー表示を確認して、エラーを解除してください。
- 接続した状態での操作時間が長過ぎたり、データ送信に時間がかかり過ぎる場合は、通信タイムエラーとなり印刷できない場合があります。そのときは、カメラから一度接続ケーブルを抜いてから、再度ケーブルを接続してください。ケーブルを接続しただけでは、自動で電源が入らないカメラをお使いの場合は、手動で電源を入れてください。
それでも改善されない場合は、ほかの写真を選んで印刷できるかどうか確認してください。
- 印刷にかすれやむらがあるときは、プリントヘッドのノズルが目詰まりしている可能性があります。「印刷にかすれやむらがあるときは」（P.169）をご覧ください。
- 印刷時に記録紙が反ったり、印刷面がこすれたりした場合は、適切な記録紙に印刷しているか確認してください。
- 表示されるエラーや対処方法については、カメラに付属の使用説明書もあわせてご覧ください。その他、カメラ側のトラブルについては、各機器の相談窓口へお問い合わせください。

カメラ側エラー表示	対処方法
プリンターは使用中です／プリンターは準備中です	印刷が終了するまでお待ちください。または、準備動作を行っている場合は、終了するまでお待ちください。
ペーパーがありません／ペーパーエラー	記録紙をセットして、カメラのエラー画面で[続行]*を選んでください。
ペーパーが詰まりました	カメラのエラー画面で[中止]を選び、印刷を中止してください。記録紙を取り除き、記録紙をセットし直してから本商品の【セット】を押し、再度印刷を行ってください。
カバーが開いています	操作パネルを閉じてください。
プリントヘッド未装着	プリントヘッドが取り付けられていない場合は、プリントヘッドを取り付けてください。それでもエラーが表示される場合は、プリントヘッドが故障している可能性があります。お買い求めの販売店または修理受付窓口にお問い合わせください。
廃インクタンク（廃インク吸収体）が満杯です	廃インク吸収体が満杯になりました。本商品は、クリーニング操作などにより、余分なインク（廃インク）が廃インク吸収体に吸収されます。吸収体が満杯になると印刷が行えません。お早めにお買い求めの販売店または修理受付窓口にプリンタの点検をご依頼ください（部品の交換が必要になる場合があります）。
インクがありません	インクタンクが取り付けられていないときはインクタンクを取り付けてください。インクタンクが取り付けられているときは、インクタンク上部の⑧部分を押してしっかり取り付けてください。インクタンクが正しく取り付けられると、印刷を再開します。

*[続行]を選ぶ代わりに、本商品の【セット】を押しても有効です。

赤外線通信でうまく印刷できない

原因	対処方法
設置場所、距離、角度が正しくない	「赤外線通信で印刷するには」をご覧ください。正しい設置場所、距離、角度を確認してください。 →『ダイレクトプリントガイド』
赤外線通信で正しく印刷するための条件を満たしていない	IrDAポートを搭載し、IrMCバージョン 1.1 規格に準拠した機種を使用してください。


停電になったときは

本商品は AC 電源を必要としているため、停電時は親機も子機も使用できなくなります。そのため、あらかじめ停電時用の電話機（AC 電源がなくても使える電話機）をご用意いただくことをおすすめします。

次のように、電源プラグを抜いたときや停電になったときでも保存されるデータと、保存されないデータがあります。

保存されるデータ	<ul style="list-style-type: none">• メモリに保存されている受信ファクスや録音された用件、自作応答メッセージ• 本商品の登録、設定内容 * 1• 電話帳の内容
保存されないデータ	<ul style="list-style-type: none">• 日付時刻設定• 待機画面に設定されていたメモリーカードの画像 * 2• 登録、設定途中だったデータ• 録音中だった用件• 再ダイヤル（親機）• 着信履歴• 留守メッセージの設定• 各種音量調整

- * 1 以下の内容が保存されます。
待機画面選択、コントラスト設定、応答メッセージ録音、おやすみタイマー設定、留守録モニタージュ設定、留守録転送、リモート暗証番号、留守録保存、留守モード時呼出回数、ワンタッチ、キータッチ確定時間、タッチパネル確定時間、キーロックタイマー、音声読上げ辞書、あなたの名前と TEL、回線種別、ナンバー・ディスプレイ、携帯通話設定、らくらく FAX、FAX 受信動作、FAX 受信同時プリント、優先呼出、電話帳着信音呼出、着信拒否設定、着信音選択、キータッチ音量、子機受話音量、子機送話音量、着信相手読上げ、モデムダイヤルインの設定、電話番号ガイド読上げ設定、回線検出
- * 2 メモリーカードの画像を待機画面に設定していた場合は、お買い上げ時の設定に戻ります。

**お知らせ** 

• 停電復帰後は強制的に留守電モードになります。また、応答メッセージは固定の応答メッセージになります。

故障かな？と思ったら

修理に出したり、当社のサービス取扱所にお問い合わせいただく前に、次のことをチェックしてください。

●親機のトラブル

全般

こんなときは	こうしてください	参照ページ
正常に動作しない	一度電源プラグを電源コンセントから抜いた後、10 秒以上おいてから差し込んでください。	P.175
ディスプレイに何も表示されない	電源プラグが外れていませんか？ ➡ 電源プラグを正しく差し込んでください。	P.25
	待機画面が OFF になっていませんか？ ➡ 最後の操作から約 5 分以上たっています。【ストップ】を押してください。	P.18

電話／留守番電話

こんなときは	こうしてください	参照ページ
電話がかけられない	電話回線の種類が正しく自動設定されていますか？ ➡ 電話回線の種類をご契約の回線種別に手動で設定してみてください。	P.28
	電話回線や受話器が正しく接続されていますか？ ➡ 接続を確認してください。	P.25
ダイヤルした番号に電話がかからない	ターミナルアダプタ（TA）や ADSL モデムに接続していますか？ 通話を切ってからすぐにダイヤルしましたか？ ➡ 通話を切った後、しばらくしてからダイヤルしてください。	—
	発信音（ツーン音）を確認しましたか？ ➡ 受話器を取ってからかける場合は、ダイヤルする前に必ず発信音（ツーン音）を確認してください。	P.66
携帯電話に電話がつながらない	当社のひかり電話サービスと携帯通話設定をご利用中ですか？ ➡ 携帯通話設定を解除してください。	P.81
	携帯通話設定は正しく設定されていますか？ ➡ 事業者番号などの設定を確認してください。	P.80
110、119、177、186、184 や、0120（フリーダイヤル）などの番号にかからない	ADSL モデムなどに接続していますか？ ➡ 電話回線の種類をご契約の回線種別に手動で設定してください。	P.28

こんなときは	こうしてください	参照ページ
ダイヤル終了後、着信音が聞こえはじめるまでの時間が長い	相手の方がナンバー・ディスプレイをご利用の場合は、長くなることがあります。	—
着信音が鳴らない	着信音量が「消音」(OFF) に設定されていませんか？ ➡ 着信音量を「消音」以外に設定してください。	P.46
	おやすみモードにセットしていませんか？ ➡ おやすみモードを解除してください。	P.95
	ADSL や ISDN 回線に接続していますか？ ➡ ADSL モデムやターミナルアダプタ (TA) の接続方法を確認してください。	—
	ADSL モデムやターミナルアダプタ (TA) の設定は合っていますか？ ➡ ADSL モデムの着信音設定を『IR』に設定し直してください。ターミナルアダプタ (TA) のアナログポートの設定が間違っていないか確認してください。	—
	子機専用モデムダイヤルイン番号への着信ではありませんか？ ➡ 親機のモデムダイヤルイン設定を確認してください。	P.143
受話器で応答できない	子機専用、または留守録専用のモデムダイヤルイン番号への着信ではありませんか？ ➡ 親機のモデムダイヤルイン設定を確認してください。	P.143
こちらの声が相手に届かない	受話器の下の方を手でふさいでいませんか？ ➡ ふさがないように正しくお持ちください。	—
雑音がひどい	適切な場所に設置されていますか？ ➡ 適切な場所に設置してください。	—
スピーカ (オンフック) からの音が聞こえない、聞こえにくい	音量が小さくなっていませんか？ ➡ スピーカ (オンフック) の音量を調節するか、受話器で聞いてください。	P.46
用件が録音されない	メモリがいっぱいになっていませんか？ ➡ 不要な用件やファクスを消去してください。	P.92 P.121 P.158
	留守モードにセットされていますか？ ➡ 留守モードにセットしてください。	P.91
【消去／キャッチ】が効かない	着信拒否の登録をした相手先からのキャッチホンではありませんか？ ➡ 着信拒否に設定した相手先からの電話はいっさい受けることができません。受けたい場合は着信拒否を解除してください。	P.132
外出先からリモート操作ができない	トーン信号 (ピポパ音) の出る電話機を使っていますか？ ➡ トーン信号の出る電話機から操作してください。	—
	☎ に続いて正しい暗証番号 (4桁の数字) を入力していますか？ ➡ ☎ を押してから正しい暗証番号 (4桁の数字) を入力してください。	P.101

こんなときは	こうしてください	参照ページ
ファクスを送信できない	ファクス番号はありますか？ ➡ 相手のファクス番号を確認してください。	—
	原稿はセットされていますか？ ➡ 原稿を正しくセットしてください。読み取りを開始しないときは、原稿の反りを直して、原稿の後端を軽く押してください。 ➡ 原稿が記録紙トレイにセットされていませんか？	P.38 P.110
	原稿がつまっていますか？ ➡ つまっている原稿を取り除いてください。	P.174
	原稿をオモテ向きにセットしていませんか？ ➡ 送る面をウラ向きにセットしてください。	P.110
	相手側のファクスの記録紙がなくなっていないですか？ ➡ 相手に確認してください。	—
	回線は正しく接続されていますか？ ➡ 電話回線の種類を手動で設定してみてください。	P.28
	回線検出は「する」になっていますか？ ➡ 時間を置いてから再度送信してください。それでも送信できないときは、回線検出を「しない」に設定してください。	P.114
	カラー非対応のファクスにカラーファクスを送ろうとしていませんか？ ➡ 相手先のファクスがカラー非対応の場合は、モノクロファクスを送信してください。	P.110
ファクスで送信した画像が汚い	紙送りローラや原稿読み取り部、記録ヘッドが汚れていませんか？ ➡ 汚れを拭きとってください。	P.192
原稿や記録紙が汚れる	プリンタ内部が汚れていませんか？ ➡ インクふき取りクリーニングを行い、それでも汚れる場合はプリンタ内部の突起をクリーニングしてください。	P.167
ファクスを受信できない	受話器を置く前に【スタート／コピー】を押しましたか？ ➡ 先に受話器を置くと、電話が切れてしまいます。受信し直してください。	P.118
	メモリがいっぱいになっていませんか？ ➡ 不要なファクスや用件を消去してください。	P.92 P.121 P.158
	印刷中ではありませんか？ ➡ 印刷中はファクスを受信できません。印刷を中止するか、終了してから受信し直してください。	—
ファクスを受信したのに、印刷されない	ファクス受信同時プリントが「しない」に設定されていませんか？ ➡ ファクスが自動的に印刷されるようにするには、ファクス受信同時プリントを「する」に設定してください。	P.124

こんなときは	こうしてください	参照ページ
コピーやファクス受信した画像が汚い (P.167 も ご 覧 く だ さ い。)	静電気や雷などで電話回線の状態が悪くありませんか？ ➡ 相手側にもう一度送信してもらってください。	—
	ファクス受信中にキャッチホンが入りましたか？ ➡ 相手側にもう一度送信してもらってください。	—
	適切な記録紙を使っていますか？ ➡ 使用できる記録紙かどうか確認してください。当社指定の記録紙を使ってみてください。	P.36 P.195
	紙送りローラや原稿読み取り部、記録ヘッドが汚れていませんか？ ➡ 汚れを拭きとってください。	P.192
コピーした画像に横線が入る	紙送りローラや原稿読み取り部、記録ヘッドが汚れていませんか？ ➡ 汚れを拭きとってください。	P.192
白紙が出てくる (P.172 も ご 覧 く だ さ い。)	インクがきれいでいませんか？ ➡ インクタンクを交換してください。	P.171
	コピー原稿をオモテ向きにセットしていませんか？ ➡ コピーする面をウラ向きにセットします。	P.126
	相手側がファクス原稿の向きを逆にセットしている場合があります。 ➡ 相手側に確認してください。	—
	インクタンクが取り付けられていますか？ ➡ インクタンクを取り付けてください。	P.33
	プリントヘッドのノズルがつまっていますか？ ➡ ヘッドクリーニングを行い、それでも解消されない場合はヘッドリフレッシュを行ってください。	P.170
うまく紙送りされない	紙送りローラが汚れている場合があります。 ➡ 紙送りローラの清掃を行ってください。	P.192
	セットされている記録紙が、残り 1 枚になっていませんか？ ➡ 残っている記録紙の下に用紙を追加してみてください。	P.37
	セットされている記録紙が、多すぎませんか？ ➡ A4 普通紙は 30 枚以下、2L 判、L 判、はがきサイズの記録紙は 10 枚以下にしてセットし直してください。	P.36 『ダイレクトプリントガイド』 P.12
ファクス情報サービスをうまく受けられない	トーン（プッシュ）信号が出ていますか？ ➡ お使いの電話がダイヤル回線の場合は【*】（トーン）を押してください。	P.66 P.118
	相手から受信状態にするよう指示はありましたか？ ➡ 最後に【スタート／コピー】を押してください。	—

こんなときは	こうしてください	参照ページ
何度も紙づまりが起きる	記録紙を正しくセットしましたか？ ➡ 記録紙を正しくセットしてください。	P.37
	適切な記録紙を使っていますか？ ➡ 使用できる記録紙かどうか確認してください。当社指定の記録紙を使ってみてください。	P.36 P.195
	紙送りローラが汚れていませんか？ ➡ 紙送りローラの清掃を行ってください。	P.192
	プリンタ内部に異物が入っていませんか？ ➡ 操作パネルを開けて異物を取り除いてください。	—

電話サービス、その他

こんなときは	こうしてください	参照ページ
ドアホンが使えない	正しく接続していますか？ ➡ 当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店にご相談ください。	P.149
	ドアホンボックスの電源プラグが外れていませんか？ ➡ 当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店にご相談ください。	P.149
ナンバー・ディスプレイが正しく動作しない	ナンバー・ディスプレイサービスの利用契約をされましたか？ ➡ ナンバー・ディスプレイの契約が必要です。 ナンバー・ディスプレイの詳細につきましては、局番なしの116番または当社のサービス取扱所へお問い合わせください。	P.129
	静電気や雷などで電話回線の状態が悪くありませんか？ ➡ 回線状態によっては表示できない場合があります。	—
	ナンバー・ディスプレイの設定が「する」になっていますか？ ➡ ナンバー・ディスプレイの設定を「する」にしてください。	P.129
ネーム・ディスプレイが正しく動作しない	ネーム・ディスプレイはナンバー・ディスプレイの付加サービスです。ナンバー・ディスプレイとネーム・ディスプレイサービスの利用契約をされましたか？ ➡ 表示させるときは、ナンバー・ディスプレイとネーム・ディスプレイの契約が必要です。 ナンバー・ディスプレイとネーム・ディスプレイの詳細につきましては、局番なしの116番または当社のサービス取扱所へお問い合わせください。	P.138
	静電気や雷などで電話回線の状態が悪くありませんか？ ➡ 回線状態によっては表示できない場合があります。	—
	ナンバー・ディスプレイの設定が「する」になっていますか？ ➡ ナンバー・ディスプレイの設定を「する」にしてください。	P.129

こんなときは	こうしてください	参照ページ
キャッチホン・ディスプレイが正しく動作しない	キャッチホン・ディスプレイサービスの利用契約をされましたか？ ➡ 相手の番号を表示させるときは、ナンバー・ディスプレイの契約とキャッチホン・ディスプレイおよび「キャッチホン、キャッチホンII、マジックボックス、ボイスワープ、話中転送」サービスの中から、いずれかの契約が必要です。	P.74 P.139
	ナンバー・ディスプレイの設定が「する」になっていますか？ ➡ ナンバー・ディスプレイの設定を「する」にしてください。	P.129
電話帳着信音呼出ができない	電話帳に登録した番号は市外局番から登録しましたか？ ➡ 相手の電話番号を市外局番から登録してください。	P.131
	ナンバー・ディスプレイサービスの利用契約をされましたか？ ➡ ナンバー・ディスプレイの契約が必要です。 ナンバー・ディスプレイの詳細につきましては、局番なしの116番または当社のサービス取扱所へお問い合わせください。	P.129

印刷

こんなときは	こうしてください	参照ページ
デジタルカメラの写真の印刷が始まらない／途中で止まる	長すぎる接続ケーブルを使っていませんか？ ➡ 5m 以内の USB ケーブルを使用してください。	『ダイレクトプリントガイド』 P.28
メモリーカードを認識しない	差し込むスロットが間違っていないですか？ ➡ 正しいスロットを確認して挿入してください。	『ダイレクトプリントガイド』 P.16
	メモリーカードを正しい向きにして差し込んでいますか？ ➡ カードの向きを確認して挿入してください。	『ダイレクトプリントガイド』 P.16
	アダプターの必要なメモリーカードではありませんか？ ➡ 挿入するときにアダプターが必要なメモリーカードはアダプターを取り付けてからスロットに挿入してください。	『ダイレクトプリントガイド』 P.15
	最後まで差し込んでいますか？ ➡ メモリーカードは奥までしっかりと差し込んでください。	—
ディスプレイに「？」が表示される。インデックスプリントに空白が印刷される	サポートされていない形式のファイルです。 ➡ ファイルを差し替えてください。(JPEG であってもサポートしていないファイル形式があります。)	—
L 判の写真の印刷時間が長い	写真の画素数が大きすぎませんか？ ➡ 400 万画素以下の画像をお勧めします。	—

こんなときは	こうしてください	参照ページ
携帯電話の写真の印刷が始まらない／途中で止まる	親機と携帯電話を正しく配置していますか？ ➡ 親機と携帯電話の赤外線通信ポートが、正しい角度、正しい距離で向き合うように置き、間をさえぎるものを取り除いて、印刷をやり直してください。	『ダイレクトプリントガイド』 P.34
	本商品との赤外線通信を行うための条件は満たされていますか？ ➡ 携帯電話が対応機種かどうかを確認してください。	『ダイレクトプリントガイド』 P.33
記録紙がうまく送られない	紙送りローラが汚れていませんか？ ➡ 紙送りローラの清掃を行ってください。	P.192
	セットされている記録紙が残り 1 枚になっていませんか？ ➡ 残っている記録紙の下に用紙を追加してみてください。	P.37
	セットされている記録紙が多すぎませんか？ ➡ A4 普通紙は 30 枚以下、2L 判、L 判、はがきサイズの記録紙は 10 枚以下にしてセットし直してください。	P.36
	記録紙ガイドを記録紙に押しつけていませんか？ ➡ 記録紙ガイドは記録紙に強く押しつけず、軽く沿わせるようにしてください。	P.37
	プリンタ内部に異物が入っていませんか？ ➡ 操作パネルを開けて異物を取り除いてください。	—
印刷が汚い (P.167 もご覧ください。)	適切な記録紙を使っていますか？ ➡ 使用できる記録紙かどうか確認してください。当社推奨の用紙を使ってみてください。	P.36 P.195
	紙送りローラや原稿読み取り部が汚れていませんか？ ➡ 汚れを拭きとってください。	P.192
印刷にかすれやむらがある	インクがなくなっているか、プリントヘッドのノズルが目づまりしている可能性があります。 ➡ ノズルチェックパターンを印刷してみてください。	P.169
白紙が出てくる	インクタンクが取り付けられていますか？ ➡ インクタンクを取り付けてください。	P.33 P.171
	ファイル形式は JPEG ですか？ ➡ JPEG ファイルに差し替えてください。(JPEG であってもサポートしていないファイル形式があります。)	『ダイレクトプリントガイド』 P.15

親機のディスプレイのメッセージ

メッセージ	意味	参照ページ
回線検出できません	回線検出を「しない」に設定してください。	P.114
<ul style="list-style-type: none"> ・ブラックインクをセット ・カラーインクをセット ・ブラック・カラーインクをセット 	インクタンクを取り付けていないときに表示されます。インクタンクを取り付けてください。	P.33 P.171
<ul style="list-style-type: none"> ・ブラックインクが少なくなっています ・カラーインクが少なくなっています ・ブラック・カラーインクが少なくなっています 	インクの残りが少なくなっています。新しいインクタンクに交換してください。	P.171
プリントヘッド高温エラー	長時間印刷をしたため、プリントヘッドが過熱しています。しばらく時間をおいてから印刷を行ってください。	—
原稿を確認して下さい	原稿を正しくセットしてください。読み取りを開始しないときには、原稿の反りを直して、原稿の後端を軽く押してください。	P.38
原稿を点検して下さい	原稿を正しくセットしてください。読み取りを開始しないときには、原稿の反りを直して、原稿の後端を軽く押してください。	P.38
原稿を取り除いて下さい	原稿がつまっています。つまった原稿を取り除いて、もう一度操作してください。	P.174
	長さが 90cm 以上の原稿は、コピーおよびファクス送信ができません。適切なサイズの原稿をセットしてください。	P.38
子機使用中	子機を使用中です。表示が消えるまで親機は操作できません。	—
子機操作中	電話帳転送などで子機が操作中です。表示が消えるまで親機は操作できません。	—
登録できません	電話番号を入力していないために、親機の電話帳に登録できません。電話番号を入力してください。	P.60
話し中でした	相手が応答しませんでした。もう一度やり直してください。	—
表示することができませんでした	メモリ残量が少なくなっているか、受信したファクス画像の一部が壊れているため、ファクスの内容を画面に表示できません。【消去／キャッチ】を押してこのファクスを消去する操作を行ってください。また不要な用件やファクスも消去してください。	P.92 P.121 P.158
メモリ残量ありません	メモリがいっぱいです。不要な用件やファクスを消去してください。	P.92 P.121 P.158

メッセージ	意味	参照ページ
メモリがありません	電話帳登録時に表示された場合は、すでに電話帳が 100 件登録されています。不要な電話帳を消去してください。	P.62
メモリ残量わずかです	メモリが残り少なくなっています。不要な用件やファクスを消去してください。	P.92 P.121 P.158
メモリ消去	何らかの原因でメモリが壊れたため、用件、ファクス、自作応答メッセージが消去されている可能性があります。	—
セットボタンを押して時刻設定して下さい	停電や電源プラグの差し直しなどで、日付時刻設定が消えています。日付と時刻を設定してください。	P.44
やり直して下さい	ファクスが送信できていません。もう一度送信してください。	—
	ファクスが受信できませんでした。もう一度送信してもらってください。	—
相手にカラー機能がありません モノクロで送ってください	カラーファクスを送信するには、相手先のファクスもカラーに対応している必要があります。カラー非対応のファクスへは、モノクロファクスを送信してください。	P.110
記録紙を確認して下さい	記録紙を正しくセットしてください。	P.37
記録紙の位置が違います 正しくセットし直してください	原稿トレイから紙を取り除き、記録紙トレイに正しく記録紙をセットしてください。	P.37
<ul style="list-style-type: none"> 記録紙を取除いて下さい 操作パネルを開けて、用紙を取除いて下さい 	<p>記録紙がつまっています。</p> <p>① つまった記録紙を取り除いてください。</p> <p>② それでもこの表示が出るときは、本商品をお買い上げになった販売店または当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。</p>	P.174
接続に失敗しました	回線検出が「する」に設定されていることを確認し、時間をおいてから再度、送信してください。それでも送信できないときは、回線検出を「しない」に設定してください。	P.114
受信エラー	ナンバー・ディスプレイサービスの利用契約をしていない場合は、ナンバー・ディスプレイの利用を「しない」に設定してください。	P.129
	回線状態が悪い場合に表示されることもあります。	—
ブラックインクタンクを交換しましたか？	インクタンクを交換した場合は「はい」を、交換していない場合は「いいえ」を選んで、【セット】を押してください。	—
カラーインクタンクを交換しましたか？	インクタンクを交換した場合は「はい」を、交換していない場合は「いいえ」を選んで、【セット】を押してください。	—

メッセージ	意味	参照ページ
操作パネルが開いています	操作パネルが開いています。操作パネルをきちんと閉めてください。操作パネルが閉まっている場合は、一度パネルを開けてから、閉め直してください。	—
プリンタエラー 電源入れ直し	プリンターの異常を検出しました。 ① 電源プラグを電源コンセントから抜き、差し直してください。 ② プリンタ内部に異物が入っている可能性があります。その場合、操作パネルを開けて異物を取り除いてください。 ③ それでもこの表示が出るときは、本商品をお買い上げになった販売店または当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。	—
プリントヘッド未装着	プリントヘッドが取り付けられていないか、誤ったプリントヘッドが取り付けられています。	P.31
廃インクタンク満杯	廃インク吸収体が満杯になったため、各種の印刷やコピーができません。当社のサービス取扱所にプリンタの点検をご依頼ください（部品の交換が必要になる場合があります）。	P.176
優先呼出設定です	着信の優先呼出が設定されています。	P.79
回線種別を確認	電話機コードが接続されているかどうか確認し、ご契約の回線種別を設定してください。	P.28
留守録転送モード	留守録転送が設定されています。	P.104
着信音 OFF です	着信音量が消音に設定されています。	P.46
プリンターを点検	プリンターの異常を検出しました。待機画面でメッセージを確認してください。	—

●子機のトラブル

全般

こんなときは	こうしてください	参照ページ
ディスプレイに何も表示されない	電池パックのプラグは正しく接続されていますか？ ➡ プラグを奥まで確実に差し込んでください。	P.40
	子機を充電器に戻さないで、長期間放置しませんでしたか？ ➡ 充電器に戻して 15 時間以上充電してください。	P.40
短いアラーム音が鳴り、使えない	親機の電源プラグが抜けていませんか？ ➡ 親機の電源プラグを確実に差し込んでください。	P.25
	親機を使っていませんか？ ➡ 親機が使用中のときは使えません。	—
	親機と離れすぎていませんか？ ➡ 親機に近づいてもう一度【通話】を押してください。	—
	他の子機を使っていませんか？ ➡ 他の（増設）子機が使用中のときは使えません。	—
	近くにテレビや OA 機器など、強い電波や雑音が発生する機器はありませんか？ ➡ 強い電波や雑音が発生していると思われる機器の電源を切ってからお使いください。	P.41
【通話】を押しても【通話】が点灯しない	電池パックは十分に充電されていますか？ ➡ 充電器に戻して充電してください。	P.40
【通話】を押すと【通話】は点灯するが、使えない	「ナンバー・ディスプレイ」を利用している場合など、子機を使うタイミングによっては、このような症状になることがあります。 ➡ 一度子機を充電器に戻すか、【切】を押すと、普通に使えるようになります。	—
途中で電話が切れる	テレビやコンピュータなど、雑音が発生する機器が近くにありませんか？ ➡ 雑音が発生する機器から離れてください。	P.41
	親機に近づきすぎていませんか？ ➡ 親機から離れてください。	P.41
	電池パックのプラグがしっかりと差し込まれていますか？ ➡ プラグを奥まで確実に差し込んでください。	P.40
	電話を受ける、かけるの操作をやり直してください。	—
電話がかけられない／受けられない	電話回線の種類は正しく設定されていますか？ ➡ ご契約の電話回線を調べ、親機で回線の種別を合わせてください。	P.28
ダイヤルした番号に電話がかからない	発信音（ツー音）を確認しましたか？ ➡ ダイヤルする前に、必ず発信音（ツー音）を確認してください。	P.67

こんなときは	こうしてください	参照ページ
相手の声が聞き取りにくい	受話音量が小さくなっていませんか？ ➡ 受話音量を調節してください。	P.47
こちら側の声が相手に聞こえない、または、とぎれて聞こえる	送話口を指でふさいでいませんか？ ➡ 送話口をふさがないように子機を持ち直してください。	—
雑音がひどい	適切な場所に設置されていますか？ ➡ 適切な場所に設置してください。	P.41
着信音が聞こえない	着信音量が「消音」(OFF) に設定されていませんか？ ➡ 着信音量を「消音」以外に設定してください。	P.47
	おやすみモードが設定されていませんか？ ➡ 親機のおやすみモードを解除してください。	P.95
充電しても、すぐに電池がなくなる	電池パックが古くなっていませんか？ ➡ 新しい電池パックに交換してください。	P.43
充電器に置いても【切】が点灯しない	充電端子が汚れていませんか？ ➡ 充電端子の汚れを綿棒などで拭きとってください。	P.191
	充電器の電源アダプタが電源コンセントから抜けていませんか？ ➡ 電源アダプタを電源コンセントに接続してください。	P.40
	充電器に正しく置いてありますか？ ➡ 端子同士が接続されるよう子機を充電器に正しく置いてください。	P.40
子機で外線を受けたとき、きちんとつながらない	もう一度【通話】を押してください。	—
子機の一部があたたかい	充電によるものです。故障ではありません。	—
【クリア／キャッチ】が効かない	着信拒否の登録をした相手先からのキャッチホンではありませんか？ ➡ 着信拒否に設定した相手先からの電話はいっさい受けることができません。受けたい場合は着信拒否を解除してください。	P.132
電話帳着信音呼出ができない	電話帳に登録した番号は市外局番から登録しましたか？ ➡ 相手の電話番号を市外局番から登録してください。	P.131
	電話帳に特番ダイヤル（186 / 184）をつけて登録していませんか？ ➡ 特番ダイヤルをつけずに、相手の電話番号を市外局番から別に登録してください。	P.131
	ナンバー・ディスプレイサービスの利用契約をされましたか？ ➡ ナンバー・ディスプレイの契約が必要です。 ナンバー・ディスプレイの詳細につきましては、局番なしの116番または当社のサービス取扱所へお問い合わせください。	P.129

こんなときは	こうしてください	参照ページ
電話帳操作中に強制終了される	<p>操作中に親機が使用されませんでしたか？</p> <p>➡ 親機使用後に再度操作してください。</p>	P.63
アラーム音が鳴り続ける (約 15 秒間)	<p>子機と親機の距離が離れすぎていませんか？</p> <p>➡ 通話エリア外と思われます。子機を親機に近づけてください。</p>	—
	<p>【通話】などを押した直後に親機が使用されませんでしたか？</p> <p>➡ 親機使用後に再度操作してください。</p>	—

子機のディスプレイのメッセージ

メッセージ	意味	参照ページ
電池残量がありません	子機の電池パックが消耗しています。子機を充電器に置いて、充電してください。	P.40
電話帳登録されていません	子機の電話帳に 1 件も登録されていません	—
電話帳メモリが一杯です	すでに子機の電話帳に 100 件登録されています。不要な電話帳を消去し、もう一度登録し直してください。	P.64
用件再生 メッセージはありません	留守番電話に用件が録音されていません。	—
転送失敗	電話転送中に、子機と親機との距離が離れすぎています。子機を親機に近づけてもう一度操作してください。	—
親機と通信できません	親機が使用中です。親機使用後に再度操作してください。	—
接続できません	他の子機が使用されています。また、電波状態が悪いときに表示されます。	—
モーニングコール設定できません	子機の時刻が設定されていないため、モーニングコールの設定ができません。時刻を設定してください。	P.45
名前未入力	子機の利用者名が入力されていません。利用者名を入力してください。	P.163

各部のお手入れ

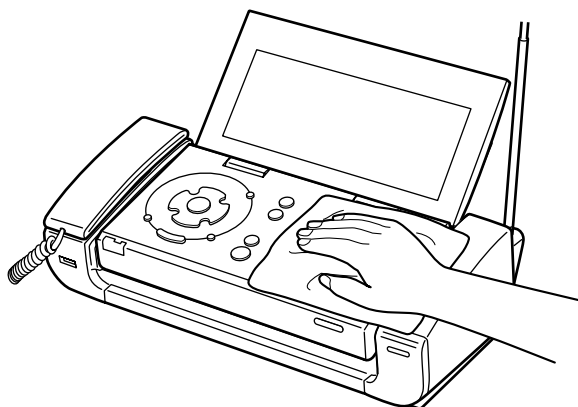
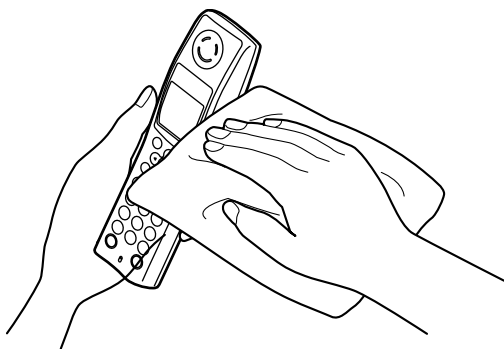
親機外部と子機

親機や子機の汚れは、乾いた柔らかい布で拭きとってください。汚れがひどいときは、水を含ませて固くしぼった布で拭きとった後、から拭きしてください。



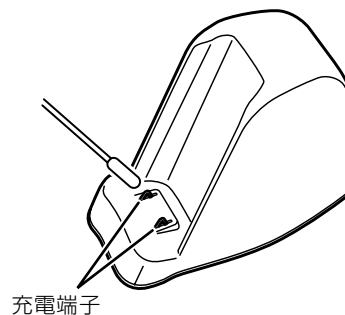
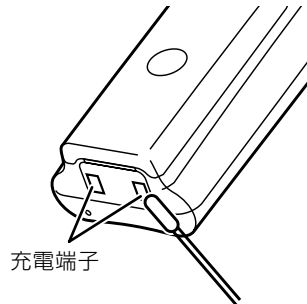
警告

水拭きするときは、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。また、ベンジン、シンナー、アルコール、油類、化粧品、中性洗剤などは使用しないでください。



充電端子

子機や充電器の充電端子は、綿棒などを使って定期的に清掃してください。充電端子が汚れていると充電できなくなることがあります。



親機ディスプレイ

ディスプレイが汚れたときは乾いたやわらかい布、または中性洗剤に浸し、よく絞った布で拭いてください。



警告

ディスプレイを拭くときは、酸性またはアルカリ性の洗剤や有機溶剤などを使用しないでください。



ワンポイント

●親機のボタン操作を無効にするには

【#】（キーロック）を約2秒間押して、キーロックをセットしてください。親機のボタン操作が設定時間の間無効になるため、操作パネルの掃除をするときなどに便利です。キーロックを解除するには、【#】（キーロック）を約2秒間押します。お買い上げ時は、約3分たつと自動的に解除される設定（おそうじモード）になっています。

親機内部

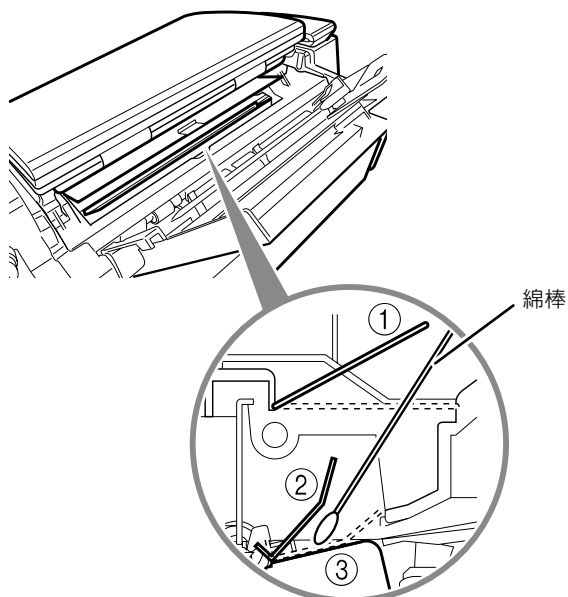
原稿や記録紙が汚れたりつまったりするトラブルを防ぐため、親機内部の清掃を定期的に行ってください。

⚠ 警告

親機の内部を清掃するときは、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

原稿読み取り部を清掃する

- 1 原稿トレイの付け根の部分のフタ①を開け、その奥のもう一つのフタ②を開ける
- 2 原稿読み取り部のガラス面③とフタ②の裏側の白い部分を、水を含ませて固く絞った綿棒または薄い布で拭く



内部を横から見た図

- 3 拭いた部分を、乾いた綿棒または薄い布でから拭きする

こんなときは

STOP お願い

- 清掃するときは、原稿読み取り部に傷をつけないようご注意ください。傷がつくと、コピーやファクスに線が入ったりすることがあります。
- 原稿トレイの付け根の部分にインクの汚れがついていることがあります。あらかじめ、水に浸してよく絞った布で拭くなどして、手に汚れがつかないようにお気をつけください。

主な仕様

●ファクス部

形名	JC-762CL
適用回線	一般加入電話回線、NCC 回線、ファクシミリ通信網 (F ネット: 16 Hz)
圧縮方式	MH 方式
通信モード	G3 / ECM 主: 8 dot / mm 副: 3.85 line / mm (普通) 7.7 line / mm (細かい)
記録方式	インクジェット方式
表示装置	液晶ディスプレイ (640 × 240 ドット、8.9 インチ、バックライト付カラー)
通信速度	9600 / 7200 / 4800 / 2400bps: 自動フォールバック
電送時間	約 18 秒 *1
中間調伝送	64 階調
記録紙サイズ	A4
最大記録有効幅	204 mm
最大読取幅	A4 サイズ
ファクス受信枚数	最大約 50 枚 (20 件) *2*3

●電話部

ダイヤル形式	押しボタン式パルスダイヤル / 押しボタン式トーンダイヤル
選択信号種別	DP 信号 (20PPS) PB 信号 (DTMF)
電話番号の記憶容量	親機: 電話帳ダイヤル 100 局 (23 桁以内)、 ワンタッチ番号 3 局 (32 桁以内)、 着信履歴 30 局、再ダイヤル 1 局 子機: 電話帳ダイヤル 100 局 (23 桁以内)、 着信履歴 20 局、再ダイヤル 10 局

●留守録部

自作応答メッセージ	1 件 (最大 40 秒)
用件録音時間	最大約 20 分 (30 件) *2 (1 件最大 3 分)

●コードレス部 (子機)

使用可能距離	約 100 m (環境により異なる)
充電完了時間	約 15 時間
使用可能時間 (充電完了後)	「連続通話時: 約 7 時間」 「待ち受け時: 約 200 時間」 (使用環境温度が 25℃ のとき)

●共通部

寸法 (幅×奥行×高さ) 単位: mm	親機: 363 × 300 × 223 (用紙カバー展開時) 363 × 259 × 159 (用紙カバー折りたたみ時) 子機: 46 × 32 × 181 充電器: 53 × 102 × 87
質量	親機: 約 4.6kg (受話器を含む) 子機: 約 150 g (電池パック含む) 充電器: 約 75 g (電源アダプタ含まず)
電源	親機: AC100 V 50 / 60 Hz 子機: 2.4 V、600 mAh (ニッケル水素電池) *4 充電器: 電源アダプタ DC9 V、100 mA
直流抵抗値	約 110 Ω
消費電力	親機: 約 7.3 W (待機バックライトオフ時) / 約 12.2 W (待機バックライトオン時) / 約 33 W (動作時最大) 子機、充電器: 約 1.8 W (充電中、電源アダプタ含む)
使用環境	動作保証範囲 温度: 5℃ ~ 35℃ 湿度: 10% ~ 90% RH (一部高温高湿、低温低湿状態除く) 画像品質保証範囲 (搬送性含む) 温度: 15℃ ~ 27.5℃ 湿度: 20% ~ 80% RH

仕様および外観は改良のため予告なく変更することがありますがご了承ください。

- * 1 当社 A4 標準原稿 (A4 サイズ 700 字程度: 標準画質 (8 × 3.85 本 / mm)) を「普通」で送ったときの時間です。これは画像情報のみの転送速度で、通信の制御時間は含まれていません。なお、実際の通信時間は原稿の内容、相手機種、回線の状態により異なります。
- * 2 用件録音とファクス受信はメモリを共用しています。
- * 3 当社 A4 標準原稿 (A4 サイズ 700 字程度: 標準画質 (8 × 3.85 本 / mm)) の場合。
- * 4 ニッケル水素電池はリサイクル可能です。使用済みの電池は、当社のサービス取扱所までお持ちいただき、リサイクル推進にご協力をお願いいたします。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書にしたがって正しい取り扱いをしてください。

- 電源高調波抑制規格 JIS C 61000-3-2 に適合しています。

消耗品／別売品について

本商品の消耗品には、以下のものがあります。指定以外の消耗品は使用しないでください。

消耗品について

●インクタンク

- ・ブラックインクタンク IJ-155 Black
ファクシミリ用 IJ「H」形「5」インクカートリッジ
 - ・カラーインクタンク IJ-165 Color
ファクシミリ用 IJ「H」形「6」インクカートリッジ
- インクカートリッジについては、パーツサービスセンタ（☎0120-86-8289）またはお買い求めになった販売店にお申し付けください。

キヤノン製インクタンクも使用できます

品番：ブラックインクタンク BCI-15 Black

品番：カラーインクタンク BCI-16 Color

●電池パック

電池パックー 086〔コードレス電話機用〕

電池パックについては、パーツサービスセンタ（☎0120-86-8289）またはお買い求めになった販売店にお申し付けください。

●ファクシミリ用記録紙

EP 形 A4 記録紙（1）〔A4 サイズ（250 枚 1 組）〕
ファクシミリ用記録紙については、パーツサービスセンタ（☎0120-86-8289）またはお買い求めになった販売店にお申し付けください。

別売品について

●増設子機※

アナログコードレス電話機「C3」：漢字子機

●ドアホン※

ドアホンは 2 台まで接続することができます。玄関や勝手口などで来客との対応ができる各種ドアホンが使用できます。

●ドアホンボックス※

U ドアホンボックス

●充電器※

アナログコードレス電話機「C3」充電器

●充電器用電源アダプタ※

電源アダプタ（K）ー 077

●キャリアシート※

A4 サイズ、5 枚／袋

破れた原稿や、薄い原稿、反っている原稿など、状態の悪い原稿をはさんで、ファクス送信やコピーに使います。

※ 印は、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店へお申し付けください。

●フォトプリント用記録紙

下記の表のキヤノン製フォトプリント専用紙が使用できます。

記録紙の名称	型番	一度にセット できる枚数	記録紙サイズ	印刷時に「種類」で 選択する項目
カラー BJ 用普通紙	LC-301 A4	30 枚	[A4]	[普通紙]
スーパーホワイトペーパー	SW-101 A4 SW-201 A4	30 枚	[A4]	
プロフェッショナルフォトペーパー	PR-101 A4	1 枚	[A4]	[プロフォトペーパー]
	PR-101 L	10 枚	[L 判]	
	PR-101 2L	10 枚	[2L 判]	
プロフェッショナルフォトはがき	PH-101	10 枚	[はがき]	
スーパーフォトペーパー	SP-101 A4	5 枚	[A4]	[スーパーフォトペーパー]
	SP-101 L	10 枚	[L 判]	
	SP-101 2L	10 枚	[2L 判]	
スーパーフォトペーパー・シルキー	SG-101 A4	5 枚	[A4]	
	SG-101 L	10 枚	[L 判]	
	SG-101 2L	10 枚	[2L 判]	
マットフォトペーパー	MP-101 A4	10 枚	[A4]	[高品位専用紙]
	MP-101 L	10 枚	[L 判]	
エコノミーフォトペーパー	EC-101 L	10 枚	[L 判]	[スーパーフォトペーパー]
	EC-101 2L	10 枚	[2L 判]	
	EC-101C	5 枚	[カード]	
フォト光沢ハガキ	KH-201N	10 枚	[はがき]	[フォトはがき]
ハイグレードコートはがき	CH-301	10 枚	[はがき]	
キヤノン光沢紙	GP-401 A4	10 枚	[A4]	[光沢紙]
片面光沢名刺用紙	KM-101	5 枚	[名刺]	[スーパーフォトペーパー]
両面マット名刺用紙	MM-101	5 枚		
ピクサスブチシール (16 面光沢) (フリーカット)	PS-101	1 枚	[シール]	[プロフォトペーパー]
	PS-201			
フォトシールセット (2 面、4 面、9 面、16 面)	PSHRS	1 枚	[シール]	[高品位専用紙]

当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店へお申し付けください。

各機能に使用可能な記録紙サイズ

	A4	2L 判	L 判	はがき	カード	名刺	シール
メモリーカードから印刷	○	○	○	○	○	○	○
携帯電話から印刷	○	○	○	○	○	○	○
カメラダイレクト印刷	○	○	○	○	○	○	○
カラーコピー	○	×	○	○	×	×	×
モノクロコピー	○	×	×	×	×	×	×
受信カラーファクスの印刷	○	×	×	×	×	×	×
受信モノクロファクスの印刷	○	×	×	×	×	×	×

参考

区点コード表 — JIS 漢字第一水準漢字

親漢字コードは左列の番号と上横列の番号を組み合わせた 4 桁の番号です。(例) 亜 漢字コード 1601

下記の漢字コード表は JIS 区点コード (第一水準漢字) に準じています (一部記号を除く)。

分類		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
記号	010	(SP)	、	、	、	、	、	、	、	、	、
	011	!	、	、	、	、	、	、	、	、	、
	012	<	>	>	//	全	々	々	〇	一	一
	013	、	/	/	、	全	々	々	〇	一	一
	014	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、
	015	<	>	<	>	「	」	「	」	「	」
	016	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
	017	≧	≧	≧	≧	≧	≧	≧	≧	≧	≧
	018	\$	¢	£	¥	#	&	*	@	\$	☆
	019	★	○	●	◎	◇	△	▲	▼	※	〒
	020	◆	□	■	■	■	■	■	■	■	■
	021	→	←	↑	↓	■	■	■	■	■	■
	022										
	023	℃	℃	U	n			€	€	€	€
	024	∠	∠	∠	∠	∠	∠	∠	∠	∠	∠
	026	∞	∞	∞	∞	∞	∞	∞	∞	∞	∞
	027	∞	∞	∞	∞	∞	∞	∞	∞	∞	∞
	028	∞	∞	∞	∞	∞	∞	∞	∞	∞	∞
	029	∞	∞	∞	∞	∞	∞	∞	∞	∞	∞
数字	031										
	032	4	5	6	7	8	9	0	1	2	3
アルファベット	033				A	B	C	D	E	F	G
	034	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q
	035	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	
	036				a	b	c	d	e	f	g
	037	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o
	038	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y
	039	z									
ひらがな	040	あ	あ	あ	い	い	う	う	え	え	お
	041	お	あ	あ	い	い	う	う	え	え	お
	042	お	あ	あ	い	い	う	う	え	え	お
	043	お	あ	あ	い	い	う	う	え	え	お
	044	お	あ	あ	い	い	う	う	え	え	お
	045	お	あ	あ	い	い	う	う	え	え	お
	046	お	あ	あ	い	い	う	う	え	え	お
カタカナ	050	ア	ア	イ	イ	ウ	ウ	エ	エ	オ	コ
	051	オ	ア	イ	イ	ウ	ウ	エ	エ	オ	コ
	052	オ	ア	イ	イ	ウ	ウ	エ	エ	オ	コ
	053	オ	ア	イ	イ	ウ	ウ	エ	エ	オ	コ
	054	オ	ア	イ	イ	ウ	ウ	エ	エ	オ	コ
	055	オ	ア	イ	イ	ウ	ウ	エ	エ	オ	コ
	056	オ	ア	イ	イ	ウ	ウ	エ	エ	オ	コ
特殊記号	060	A	B	Γ	Δ	E	Z	H	Θ	I	T
	061	K	Λ	M	N	Ω	Π	P	Σ	Τ	
	062	Y	Φ	X							
	063			α	β	γ	δ	ε	ζ	η	
	064	θ	ι	κ	λ	μ	ν	ξ	ο	π	ρ
	065	σ	τ	υ	φ	χ	ψ	ω			
	070	A	Б	В	Г	Д	Е	Ё	Ж	З	И
	071	И	Й	К	Л	М	Н	О	П	Р	С
	072	Т	У	Ф	Х	Ц	Ч	Ш	Щ	Ъ	Ы
	073	Ь	Э	Ю							
	074										а
	075	б	в	г	д	е	ё	ж	з	и	й
	076	к	л	м	н	о	п	р	с	т	у
	077	ф	х	ц	ч	ш	щ	ъ	ы	ь	э
	078	ю	я								
	079										
	080	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	081	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	082	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	083	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

分類		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
あ	160	亜	亜	娃	阿	哀	愛	挨	始	逢	
	161	葵	茜	稚	握	渥	旭	葦	芦	蓼	
	162	梓	庄	惡	宛	姐	虹	輶	綯	綾	
	163	貼	或	拔	安	庵	按	暗	案	闇	
	164	鞍	杏	菜							
い	164			以	伊	位	依	偉	囲	夷	委
	165	威	尉	性	意	慰	易	椅	為	畏	異
	166	移	維	緯	胃	姜	衣	連	違	遺	医
	167	井	亥	域	育	郁	磯	一	告	溢	逸
	168	稻	茨	芋	鰯	允	磯	咽	員	因	姻
	169	引	飲	淫	胤	蔭					
	170						時				
う	170							右	宇	烏	羽
	171	迂	雨	卯	鵜	窺	丑	碓	臼	渦	噓
	172	頃	壽	蔚	鰻	姥	威	浦	瓜	閨	噂
	173	云	連	雲							
え	173				在	餌	畎	當	要	影	映
	174	曳	米	永	泳	洩	瑛	盈	穎	願	英
	175	衛	詠	銳	液	疫	益	駟	悅	謁	越
	176	閭	櫻	沿	円	園	壇	奄	宴	延	怨
	177	掩	援	沿	演	炎	焰	煙	猿	猿	猿
	178	艶	苑	園	遠	鉛	鷺	塩			
お	178								於	汚	甥
	179	凹	央	奧	往	応					
	180		押	旺	横	欧					
	181	臍	黄	岡	冲	狄					
	182	牡	乙	俺	卸	恩					
か	182										
	183	仮	何	伽	価	佳	加	可	嘉	下	化
	184	家	寡	科	暇	果	架	歌	河	夏	嫁
	185	禍	禾	稼	箇	花	苛	茹	荷	火	珂
	186	蝦	課	稼	貨	迦	過	茹	蚊	華	峨
	187	我	牙	画	臥	芽	蛾	賀	雅	俄	餓
	188	介	会	解	回	塊	壞	廻	快	怪	悔
	189	恢	懷	戒	拐	改					
	190		魁	開	階	海	灰	界	皆	給	芥
	191	蟹	概	開	階	凱	劾	外	咳	書	崖
	192	慨	蛙	垣	栴	蚺	街	該	該	骸	崖
	193	馨	挽	格	核	蛻	鉤	劃	嚇	各	廓
	194	孤	較	郭	閣	殼	獲	確	穫	覺	角
	195	赫	掛	笠	檻	隔	革	確	渥	桀	額
	196	顙	括	活	渴	滑	梶	鯢	渴	割	喝
	197	怡	括	括	渴	滑	梶	鯢	渴	且	鯉
	198	叶	梶	梶	茅	宣	兜	電	蒲	釜	鎌
	199	嘴	鴨	栢	茅	宣	兜	電	蒲	釜	鎌
	200		粥	刈	刈	刈	瓦	乾	冠	寒	刊
	201	勸	幹	感	慣	堪	姦	完	官	寬	干
	202	幹	款	汗	漢	澗	換	敢	柑	桓	棺
	203	款	款	簡	緩	間	灌	環	甘	監	看
	204	牛	管	簡	緩	間	灌	肝	監	莞	舘
	205	諫	貫	選	岸	嚴	玩	開	眼	韓	舘
	206	館	丸	含							
	207	廣	雁	頑	顏						
き	207	基	奇	嬌	寄	岐	企	伎	危	喜	器
	208	旗	既	期	棋	棄	希	幾	忌	揮	机
	209		機	規	毅	氣					
	210	紀	微	婦	記	貴	汽	軌	祈	季	稀
	211	鬼	龜	偏	儀	妓	起	軌	輝	飢	騎
	212	懷	疑	祇	義	嬌	宜	議	技	擬	欺
	213	古	吃	喫	枯	丘	誼	玷	拘	菊	鞠
	214	客	脚	喫	逆	朽	詰	仇	休	葵	却
	215		弓	急	救	糾	久	汙	汙	及	吸
	216	宮	窮	笈	級	糾	求	汙	汙	汙	球
	217	究	拒	亨	學	京	給	汙	汙	汙	居
	218	巨	魚	快	學	峽	處	共	凶	協	興
	219	禦	供	橋	境	峽	強	彊	怯	恐	舘
	220		叫	鏡	況	峽	強	嬌	胸	脅	興
	221	卿	教	鏡	響	峽	強	嬌	胸	脅	興
	222	扶	鄉	局	曲	峽	強	嬌	胸	脅	興
	223	養	業	局	曲	峽	強	嬌	胸	脅	興
	224	巾	錦	局	曲	峽	強	嬌	胸	脅	興
	225	芹	菌	局	曲	峽	強	嬌	胸	脅	興
	226			局	曲	峽	強	嬌	胸	脅	興

分類		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
<	226	俱	句	区	狗	玖	矩	苦	軀	驅	九
	227	駒	具	愚	虞	喰	空	偶	寓	遇	駟
	228	串	櫛	釧	屑	屈					
	229	串	掘	窟	雀	靴					
	230		線	桑		熟	嚮	蓮	熊	限	桑
	231	栗					君	薰	訓	群	軍
	232	郡									
け	232	挂	卦	裂	祁	係	傾	刑	兄	啓	圭
	233	携	型	契	形	徑	惠	慶	慧	憩	揭
	234	繁	敬	景	柱	深	鞋	稽	系	經	繼
	235	鷄	野	望	荊	蛩	計	詣	警	輕	類
	236	傑	芸	迎	潔	劇	就	擊	激	朽	件
	237	傑	欠	決	兼	穴	結	血	訣	月	嫌
	238	倭	倦	健	拳	犬	劍	喧	園	堅	
	239	建	憲	懸	拳	犬		硯	硯	玄	鼎
	240		換	權	拳		獻	鍵	減		驗
	241	肩	見	謙	賢	軒	遺	源			現
	242	鯨	元	原	嚴	幻	弦				
	243	絃	眩	言	諺	限					
こ	243	姑	孤	己	庫	孤	平	個	古	呼	固
	244	糊	袴	股	胡	菰	戸	故	枯	湖	狐
	245	顧	鼓	五	胡	伍	虎	誇	跨	鈺	雇
	246	御	悟	梧	伍	瑚	午	吳	跨	娛	後
	247	乞	鯉	交	橋	侯	暮	語	吾	護	功
	248	効	鯉	厚	佼	向	候	倅	誤	公	
	249		勾	喉	口	垢	好	孔	孝	宏	工
	250	巧	后	幸	坑	庚	康	弘	恒	慌	抗
	251	拘	巷	攻	瓜	兒	更	杭	校	梗	構
	252	江	洪	浩	港	溝	甲	皇	硬	稿	糠
	253	紅	紘	絞	綱	耕	考	肱	腔	剛	膏
	254	航	荒	行	衡	講	貢	購	鄧	酵	鉗
	255	仏	銅	閭	降	項	香	高	鴻	剛	鉗
	256	号	合	壕	拷	濤	豪	轟	邁	克	劓
	257	忽	國	穀	醅	込	黑	獄	漉	腰	刻
	258		惚	骨	鵠	込		聖	婚	恨	懇
	259	昏	昆	根	捆	混	痕	紺	良	魂	
	261										些
さ	262	佐	叉	唆	嵯	左	差	查	沙	磋	砂
	263	詐	鎖	婆	坐	座	挫	偵	催	再	最
	264	哉	塞	妻	辛	彩	才	探	裁	裁	濟
	265	災	采	犀	碎	些	祭	斎	細	菜	阪
	266	載	際	剝	在	材	罪	財	牙	坂	削
	267	堺	榨	肴	咲	崎	埼	崎	鷲	作	校
	268	昨	世	昨	咲	冊	窄	策	索	錯	
	269	銚	察	撈	擦	刷	札	殺	薩	雜	阜
	270		別	撈	擦	擦	晒	三	傘	參	山
	271	鯖	撒	散	棧	燦	珊	產	算	藥	蚕
	272	慘	散	酸	斬	斬	暫	殘			
	273	譚	贊								

分類		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
し	273	使	刺	司	史	嗣	四	仕	仔	伺	
	274	子	屍	市	師	志	思	始	姉	姿	
	275	施	旨	枝	止	死	氏	支	姊	斯	
	276	紙	紫	肢	脂	至	視	祉	私	糸	
	277	諸	貴	賜	雌	飼	齒	詩	試	誌	
	278	字	寺	慈	持	時	齒	似	侍	兒	
	279		次	滋	治	爾	聖				
	280	耳	目	時	辭	汐	鹿	痔	識	示	而
	281	軸	穴	栗	七	叱	執	式	識	賜	竺
	282	濕	漆	疾	質	実	部	失	嫉	室	悉
	283	屢	蕊	病	舍	写	射	篠	倨	柴	煮
	284	社	紗	者	謝	車	遮	捨	赦	斜	勺
	285	尺	杓	灼	爵	酌	蛇	蛇	邪	借	弱
	286	惹	杓	取	守	積	獨	獨	若	叙	種
	287	腫	主	酒	首	朱	殊	殊	授	樹	
	288	縵	趣	囚	取	受	呪				
	289	縵	需	囚	取	受					
	290	終	宗	就	吳	愁	拾	洲	秀	秋	
	291	輯	繡	習	臭	冤	衆	嬰	豐	蹴	
	292	從	遇	酋	汁	醜	什	住	充	叔	
	293	夙	戎	柔	祝	獸	紱	重	統	術	
	294	夙	宿	淑	祝	猷	紱	熟	出	循	
	295	述	俊	峻	淳	準	舜	駿	准	遵	
	296	旬	順	殉	淳	所	盾	純	巡	緒	
	297	醇	書	初	諸	諸	叙	渚	徐		
	298	署	書	初	諸	諸					
	299	忍	鋤	勝	傷	償	商	唱	嘗	梁	
	300	妄	娼	匠	將	召	尚	唱	嘗	廠	
	301	彰	娼	宵	將	小	尚	唱	嘗	廠	
	302	松	承	宵	招	沼	尚	唱	嘗	廠	
	303	照	梢	省	樵	沼	涉	唱	嘗	廠	
	304	紹	症	薑	樵	蕉	涉	唱	嘗	廠	
	305	詳	肖	賞	樵	蕉	涉	唱	嘗	廠	
	306	丈	象	賞	樵	蕉	涉	唱	嘗	廠	
	307	情	忤	象	杖	鉅	鍾	障	娘	上	
	308	釀	銳	囑	杖	淨	城	壘	壤	讓	
	309		忤	囑	植	飾	狀				
	310	蝕	辱	忤	伸	燭	職	色	舐	食	
	311	心	慎	忤	伸	燭	職	色	舐	食	
	312	疹	真	忤	伸	燭	職	色	舐	食	
	313	身	辛	忤	伸	燭	職	色	舐	食	
	314	尋	甚	忤	伸	燭	職	色	舐	食	
	315			忤	伸	燭	職	色	舐	食	
す	315	須	酢	國	厨	逗	吹	帥	筒	諏	
	316	炊	睡	粹	翠	衰	遂	垂	推	水	
	317	瑞	髓	崇	嵩	数	極	趨	錘	隨	
	318	梶	菅	摺	雀				据	杉	
	319				寸						
	320										
せ	320	勢	姓	征	性	世	瀬	畝	是	淒	制
	321	栖	正	清	性	成	政	整	星	晴	樓
	322	西	誠	醫	請	逝	盛	精	聖	声	製
	323	脆	隻	席	惜	威	腥	青	析	齊	稅
	324	籍	績	脊	責	赤	斤	昔	析	石	積
	325	接	損	折	設	窃	跡	蹟	碩	切	拙
	326	蟬	仙	先	千	占	節	說	雪	絶	舌
	327	扇	撰	桂	桁	泉	宣	專	尖	川	戰
	328	煽	撰	穿	箭	線	淺	洗	朵	潜	煎
	329		織	羨	箭	舛	船	薦	詮	踐	
	330		遷	錢	銃	閃	鮮	善	漸	然	
	331	選	禪	繕	膳						
	332										
そ	332	曾	楚	狙	疏	種	喘	塑	岨	措	曾
	333	組	蘇	訴	阻	疎	礎	祖	租	粗	素
	334	倉	喪	壯	奏	遡	鼠	僧	創	叟	叢
	335	搜	掃	挿	搔	爽	宋	層	匠	槍	想
	336	漕	燥	争	瘦	操	早	曹	巢	綜	聰
	337	草	莊	葬	蒼	相	窓	糟	送	遭	
	338	霜	騷	像	增	藻	裝	走			
	339		臟	藏	贈	造	促	側	則	即	息
	340	捉	束	測	足	速	俗	屬	賊	族	統
	341	卒	袖	具	掬	存	孫	尊	損	村	遜
た	343	他	多	太	汰	記	唾	妥	情	打	
	344	杞	舵	椅	陀	駄	驛	堆	对	耐	
	345	岱	帶	待	怠	態	戴	泰	滯	胎	
	346	腿	苔	袋	貸	退	替	隊	鯛	代	
	347	台	大	第	醒	題	滝	瀧	卓	啄	
	348	宅	托	折	拓	沢	濯	琢	鐸	濁	
	349	諾	叩	侃	達	辰	奪	異	豎	辿	
	350		谷	但	鯉	樽	誰	單	嘆	坦	
	351	棚	探	胆	鯉	淡	炭	壇	端	斷	
	352	担	耽	蛋	談						
	353	綻									
	354	暖									

分類		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
ち	354	智	池	痴	稚	置	值	知	地	弛	恥
	355	畜	竹	筑	蓄	逐	致	蛭	遲	馳	榮
	356	中	仲	宙	忠	抽	秩	望	茶	嫡	着
	357	註	耐	宙	駐	樽	昼	柱	注	虫	衷
	358	丁	兆	周	咩	龍	濁	猪	苧	著	貯
	359	帖	朝	帳	庁	弔	張	彫	徵	懲	挑
	360	朝	謀	潮	牒	叩	眺	聰	鳳	勸	蝶
	361	調	謀	超	跳	鈔	長	頂	鳥	勸	抄
	362	直			珍	賈	鎮				
	363										
つ	364	槍	追	鎗	痛	通	塚	桐	津	墜	椎
	365	漬	柘	辻	薦	綴	鐸	椿	掘	槻	俣
	366	嬌	紬	爪	吊	釣	鶴		漬	坪	垂
て	366	剃	貞	呈	堤	定	帝	亭	低	停	偵
	367	悌	抵	挺	提	梯	汀	庭	庭	廷	弟
	368	艇	訂	諦	蹄	遇	泥	碇	禎	程	締
	369		邸	鄭	鼎	泥	哲	擲	敵		
	370	的	笛	適	鐙	溺	徹	撒	敵	滴	
	371	鉄	典	填	鈦	展	添	繼	甜	貼	
	372	転	順	点	伝	殿	澱	電			
	373										
と	373	堵	塗	妬	屠	徒	斗	杜	渡	兎	吐
	374	賭	途	都	鋸	砥	妬	努	度	登	兔
	375	怒	倒	党	鍬	凍	妬	唐	塔	土	奴
	376	岩	嶋	湯	嶋	投	搭	桃	桃	塘	套
	377	盜	淘	湯	統	燈	燈	當	痘	拷	棟
	378	答	箇	糖	統	到	騰	豆	踏	逃	透
	379		董	糖	騰	討	勸	動	同	堂	導
	380	證	陶	頭	騰	關	朋	苟	道	銅	峠
	381	懂	撞	洞	瞳	童	特	督	禿	篤	毒
	382	鴿	匿	得	德	洩	突	般	屈	薦	舌
	383	獨	読	析	橡	凸	悖	敦	沌	豚	遁
	384	寅	呑	曇	鈍						
	385										
	386										
な	386	謎	灘	捺	鍋	奈	那	内	乍	屈	難
	387	軟	難	汝		楸	馴	縄	暇	南	楠
	388										
に	388	虹	廿	日	二	尼	式	迹	匂	賑	肉
	389		如	尿	乳	入					
	390				韭	任	妊	忍	認		
ぬ	390									濡	
ね	390	祢	寧	葱	猫	熱	年	念	捻	燃	襦
	391	粘									襦
	392										襦
の	392		乃	廼	之	埜	囊	悩	濃	納	能
	393	腦	膿	農	覗	蚤					
は	393	波	派	琶	破	婆	巴	把	播	霸	杷
	394	排	俳	敗	杯	盃	罵	芭	馬	俳	庇
	395	倍	培	煤	梅	煤	牌	背	肺	輩	配
	396	陪	培	煤	梅	煤	牌	背	肺	輩	陪
	397	陪	泊	謁	柏	麥	駁	剥	博	拍	漠
	398	柏	泊	謁	柏	麥	駁	剥	博	拍	漠
	399	爆	縛	莫	駁	麥	駁	剥	博	拍	漠
	400		函	箱	駁	麥	駁	剥	博	拍	漠
	401	畑	畠	八	鉢	澗	髭	髮	伐	肌	罰
	402	拔	反	叛	帆	般	斑	範	汎	判	版
	403	犯	班	畔	繁	番	潘	販	範	釅	煩
	404	頒	飯	挽							
ひ	405	卑	否	妃	庇	彼	悲	批	披	斐	匪
	406	比	泌	疲	皮	碑	秘	罷	肥	被	微
	407	誹	費	飛	非	飛	緋	罷	肥	被	微
	408	批	毘	毘	眉	美	緋	備	備	備	備
	409		鼻	毘	毘	毘	毘	毘	毘	毘	毘
	410	時	伐	終	毘	毘	毘	毘	毘	毘	毘
	411	百	繆	必	毘	毘	毘	毘	毘	毘	毘
	412	評	豹	廓	品	斌	斌	斌	斌	斌	斌
	413	姪	麟								
	414	敏	瓶								
	415										
ふ	415	府	佈	不	付	埠	夫	婦	富	富	布
	416	膚	芙	扶	敷	斧	普	浮	父	符	膚
	417	武	舞	撫	賦	賦	赴	阜	附	侮	撫
	418	伏	副	復	幅	服	淵	憤	扮	焚	奮
	419										
	420										
	421	物	耐	腹	複	覆	噴	憤	扮	焚	奮
	422	粉	糞	紛	雰	文	聞				

分類		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
へ	422	幣	平	弊	柄	並	蔽	丙	併	兵	摒
	423	僻	壁	癖	碧	別	瞥	閉	陸	米	摒
	424	片	篇	編	辺	返	遍	蔑	篋	偏	弁
	425										
	426	襪									
ほ	426	穂	保	舗	舗	圃	捕	歩	甫	補	輔
	427	俣	募	墓	募	戊	暮	母	簿	菩	倣
	428	抱	包	呆	報	奉	宝	峰	峯	崩	庖
	429		捧	放	方	朋					
	430		法	泡	烹	砲	縫	袍	芳	萌	蓬
	431	蜂	褒	訪	豐	邦	鋒	飽	鳳	騰	乏
	432	亡	傍	剖	坊	妨	帽	忘	忙	房	暴
	433	望	某	棒	冒	紡	肪	彭	謀	貌	貿
	434	鉾	防	吠	類	北	僕	殆	墨	撲	朴
	435	牧	睦	穆	釧	勃	沒		堀	幌	奔
ま	436	味	枚	毎	哩	摩	磨	魔	麻	埋	妹
	437	鱈	樹	亦	侯	模	幕	末	枕	銷	怔
	438	鱈	磨	萬	慢	又	抹		沫	迄	怔
	439										
	440										
み	440	蜜	湊	蓼	味	未	魅	巳	實	岬	密
	441				稔	脈	妙	耗	民	眠	
む	441	夢	無	牟	矛	霧	鷄	棕	婿	娘	務
	442										
め	442	名	命	明	盟	迷	銘	鳴	姪	牝	冥
	443	免	棉	綿	緬	面	麵				滅
	444										
も	444	孟	毛	猛	盲	網	耗	摸	模	茂	妄
	445	目	圭	勿	餅	尤	戾	蒙	儲	木	默
	446	紋	門					粉	賁	問	悶
	447										
や	447	矢	厄	久	也	冶	夜	爺	耶	野	弥
	448	鐘		役	約	業	訳	躍	靖	柳	薺
	449										
ゆ	449		愉	愈	油	癒	優	勇	友	有	幽
	450		論	輸	唯	佑	湧	涌	猶	猷	由
	451	悠	憂	損	有	柚	鄧	雄	融	夕	
	452	祐	裕	誘	遊	邑					
よ	452	余	与	誉	與	預	備	幼	妖	容	予
	453	揚	揺	擁	曜	楊	樣	洋	溶	熔	庸
	454	業	羊	耀	葉	蓉	要	謬	浴	躍	用
	455	養	慾	抑	欲	沃	浴	翌	翼	淀	陽
	456										
ら	456	螺	裸	來	萊	賴	雷	洛	絡	落	羅
	457	乱	卵	嵐	欄	濫	藍	蘭	覽	酪	
	458										
り	458	履	李	梨	理	璃				利	吏
	459		痢	裏	裡	里	離	陸	律	率	立
	460	律	掠	略	劉	流	溜	琉	留	硫	粒
	461	隆	竜	龍	侶	慮	旅	虜	了	亮	僚
	462	両	凌	寮	料	梁	涼	獵	療	瞭	稜
	463	糧	良	諒	遼	量	陵	領	力	綠	倫
	464	厘	林	淋	燐	琳	臨	輪	隣	鱗	麟
	465										
る	466	瑠	壺	涙	累	類					
	467	嶺	伶	玲	礼	苓	令	伶	例	冷	勵
	468	齡	磨	歴	列	劣	鈴	諫	零	靈	麗
	469	漣	煉	廉	練	聯	烈	裂	廉	恋	憐
	470										
ろ	470	露	勞	婁	廊	呂	魯	櫓	路	路	
	471	中	狼	老	弄	弄	朗	樓	榔	浪	漏
	472	肋	録	論			蠅	郎	六	麓	禄
	473										
わ	473	梓	鷲	互	倭	和	話	歪	賄	脇	惑
	474	碗	腕		巨	鰐	詫	藁	蔑	槐	濤
	475										

区点コード表—JIS 漢字第二水準漢字

相手機の仕様によっては、サポートしていない第二水準漢字を使用するとその漢字がプリントされるべき場所はスペース（空白）になる場合があります。

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
480		弋	巧	丕	个	卯	丶	井	ノ	乂
481	乖	乘	亂	丿	豫	事	舒	式	ノ	亞
482	歪	上	九	京	毫	亶	从	仍	于	伯
483	伋	仗	勿	伋	仟	价	伱	佚	仄	佛
484	佻	佯	伱	佻	侈	侏	佻	挑	伾	伯
485	侑	佯	俚	侑	俚	侑	俚	俚	侑	倥
486	侑	俚	俚	侑	俚	俚	俚	侑	侑	倥
487	倥	倥	倥	倥	倥	倥	倥	倥	倥	倥
488	倥	倥	倥	倥	倥	倥	倥	倥	倥	倥
489	倥	倥	倥	倥	倥	倥	倥	倥	倥	倥
490	倥	倥	倥	倥	倥	倥	倥	倥	倥	倥
491	倥	倥	倥	倥	倥	倥	倥	倥	倥	倥
492	倥	倥	倥	倥	倥	倥	倥	倥	倥	倥
493	倥	倥	倥	倥	倥	倥	倥	倥	倥	倥
494	倥	倥	倥	倥	倥	倥	倥	倥	倥	倥
495	倥	倥	倥	倥	倥	倥	倥	倥	倥	倥
496	倥	倥	倥	倥	倥	倥	倥	倥	倥	倥
497	倥	倥	倥	倥	倥	倥	倥	倥	倥	倥
498	倥	倥	倥	倥	倥	倥	倥	倥	倥	倥
499	倥	倥	倥	倥	倥	倥	倥	倥	倥	倥
500	勛	勛	勛	勛	勛	勛	勛	勛	勛	勞
501	勛	勛	勛	勛	勛	勛	勛	勛	勛	勞
502	勛	勛	勛	勛	勛	勛	勛	勛	勛	勞
503	勛	勛	勛	勛	勛	勛	勛	勛	勛	勞
504	勛	勛	勛	勛	勛	勛	勛	勛	勛	勞
505	勛	勛	勛	勛	勛	勛	勛	勛	勛	勞
506	勛	勛	勛	勛	勛	勛	勛	勛	勛	勞
507	勛	勛	勛	勛	勛	勛	勛	勛	勛	勞
508	勛	勛	勛	勛	勛	勛	勛	勛	勛	勞
509	勛	勛	勛	勛	勛	勛	勛	勛	勛	勞
510	勛	勛	勛	勛	勛	勛	勛	勛	勛	勞
511	勛	勛	勛	勛	勛	勛	勛	勛	勛	勞
512	勛	勛	勛	勛	勛	勛	勛	勛	勛	勞
513	勛	勛	勛	勛	勛	勛	勛	勛	勛	勞
514	勛	勛	勛	勛	勛	勛	勛	勛	勛	勞
515	勛	勛	勛	勛	勛	勛	勛	勛	勛	勞
516	勛	勛	勛	勛	勛	勛	勛	勛	勛	勞
517	勛	勛	勛	勛	勛	勛	勛	勛	勛	勞
518	勛	勛	勛	勛	勛	勛	勛	勛	勛	勞
519	勛	勛	勛	勛	勛	勛	勛	勛	勛	勞
520	勛	勛	勛	勛	勛	勛	勛	勛	勛	勞
521	勛	勛	勛	勛	勛	勛	勛	勛	勛	勞
522	勛	勛	勛	勛	勛	勛	勛	勛	勛	勞
523	勛	勛	勛	勛	勛	勛	勛	勛	勛	勞
524	勛	勛	勛	勛	勛	勛	勛	勛	勛	勞
525	勛	勛	勛	勛	勛	勛	勛	勛	勛	勞
526	勛	勛	勛	勛	勛	勛	勛	勛	勛	勞
527	勛	勛	勛	勛	勛	勛	勛	勛	勛	勞
528	勛	勛	勛	勛	勛	勛	勛	勛	勛	勞
529	勛	勛	勛	勛	勛	勛	勛	勛	勛	勞
530	姜	姪	姪	姪	姪	姪	姪	姪	姪	姨
531	姪	姪	姪	姪	姪	姪	姪	姪	姪	姨
532	姪	姪	姪	姪	姪	姪	姪	姪	姪	姨
533	姪	姪	姪	姪	姪	姪	姪	姪	姪	姨
534	姪	姪	姪	姪	姪	姪	姪	姪	姪	姨
535	姪	姪	姪	姪	姪	姪	姪	姪	姪	姨
536	姪	姪	姪	姪	姪	姪	姪	姪	姪	姨
537	寔	寔	寔	寔	寔	寔	寔	寔	寔	寶
538	寔	寔	寔	寔	寔	寔	寔	寔	寔	寶
539	寔	寔	寔	寔	寔	寔	寔	寔	寔	寶
540	岑	岑	岑	岑	岑	岑	岑	岑	岑	岷
541	岑	岑	岑	岑	岑	岑	岑	岑	岑	岷
542	岑	岑	岑	岑	岑	岑	岑	岑	岑	岷
543	岑	岑	岑	岑	岑	岑	岑	岑	岑	岷
544	岑	岑	岑	岑	岑	岑	岑	岑	岑	岷
545	岑	岑	岑	岑	岑	岑	岑	岑	岑	岷
546	岑	岑	岑	岑	岑	岑	岑	岑	岑	岷

[illegible]

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
619	涸	汭	沮	汜	沾					
620		汭	汎	汭	汭					
621	浹	浹	洙	洙	汭	汭				
622	浹	浹	洙	洙	汭	汭				
623	浹	浹	洙	洙	汭	汭				
624	浹	浹	洙	洙	汭	汭				
625	浹	浹	洙	洙	汭	汭				
626	浹	浹	洙	洙	汭	汭				
627	浹	浹	洙	洙	汭	汭				
628	浹	浹	洙	洙	汭	汭				
629	浹	浹	洙	洙	汭	汭				
630		浹	洙	洙	汭	汭				
631	浹	浹	洙	洙	汭	汭				
632	浹	浹	洙	洙	汭	汭				
633	浹	浹	洙	洙	汭	汭				
634	浹	浹	洙	洙	汭	汭				
635	浹	浹	洙	洙	汭	汭				
636	浹	浹	洙	洙	汭	汭				
637	浹	浹	洙	洙	汭	汭				
638	浹	浹	洙	洙	汭	汭				
639	浹	浹	洙	洙	汭	汭				
640		浹	洙	洙	汭	汭				
641	浹	浹	洙	洙	汭	汭				
642	浹	浹	洙	洙	汭	汭				
643	浹	浹	洙	洙	汭	汭				
644	浹	浹	洙	洙	汭	汭				
645	浹	浹	洙	洙	汭	汭				
646	浹	浹	洙	洙	汭	汭				
647	浹	浹	洙	洙	汭	汭				
648	浹	浹	洙	洙	汭	汭				
649	浹	浹	洙	洙	汭	汭				
650		浹	洙	洙	汭	汭				
651	浹	浹	洙	洙	汭	汭				
652	浹	浹	洙	洙	汭	汭				
653	浹	浹	洙	洙	汭	汭				
654	浹	浹	洙	洙	汭	汭				
655	浹	浹	洙	洙	汭	汭				
656	浹	浹	洙	洙	汭	汭				
657	浹	浹	洙	洙	汭	汭				
658	浹	浹	洙	洙	汭	汭				
659	浹	浹	洙	洙	汭	汭				
660		浹	洙	洙	汭	汭				
661	浹	浹	洙	洙	汭	汭				
662	浹	浹	洙	洙	汭	汭				
663	浹	浹	洙	洙	汭	汭				
664	浹	浹	洙	洙	汭	汭				
665	浹	浹	洙	洙	汭	汭				
666	浹	浹	洙	洙	汭	汭				
667	浹	浹	洙	洙	汭	汭				
668	浹	浹	洙	洙	汭	汭				
669	浹	浹	洙	洙	汭	汭				
670		浹	洙	洙	汭	汭				
671	浹	浹	洙	洙	汭	汭				
672	浹	浹	洙	洙	汭	汭				
673	浹	浹	洙	洙	汭	汭				
674	浹	浹	洙	洙	汭	汭				
675	浹	浹	洙	洙	汭	汭				
676	浹	浹	洙	洙	汭	汭				
677	浹	浹	洙	洙	汭	汭				
678	浹	浹	洙	洙	汭	汭				
679	浹	浹	洙	洙	汭	汭				
680		浹	洙	洙	汭	汭				
681	浹	浹	洙	洙	汭	汭				
682	浹	浹	洙	洙	汭	汭				
683	浹	浹	洙	洙	汭	汭				
684	浹	浹	洙	洙	汭	汭				
685	浹	浹	洙	洙	汭	汭				
686	浹	浹	洙	洙	汭	汭				
687	浹	浹	洙	洙	汭	汭				
688	浹	浹	洙	洙	汭	汭				
689	浹	浹	洙	洙	汭	汭				
690		浹	洙	洙	汭	汭				
691	浹	浹	洙	洙	汭	汭				
692	浹	浹	洙	洙	汭	汭				
693	浹	浹	洙	洙	汭	汭				
694	浹	浹	洙	洙	汭	汭				
695	浹	浹	洙	洙	汭	汭				
696	浹	浹	洙	洙	汭	汭				
697	浹	浹	洙	洙	汭	汭				
698	浹	浹	洙	洙	汭	汭				
699	浹	浹	洙	洙	汭	汭				
700		浹	洙	洙	汭	汭				

[illegible]

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
781	遞	遡	遡	遡	隨	遲	遲	遞	遞	遞
782	邇	邇	邇	邇	邇	邇	邇	邇	邇	邇
783	邇	邇	邇	邇	邇	邇	邇	邇	邇	邇
784	酖	酖	酖	酖	酖	酖	酖	酖	酖	酖
785	酖	酖	酖	酖	酖	酖	酖	酖	酖	酖
786	釧	釧	釧	釧	釧	釧	釧	釧	釧	釧
787	鈕	鈕	鈕	鈕	鈕	鈕	鈕	鈕	鈕	鈕
788	鉋	鉋	鉋	鉋	鉋	鉋	鉋	鉋	鉋	鉋
789	鉋	鉋	鉋	鉋	鉋	鉋	鉋	鉋	鉋	鉋
790		鉋	鉋	鉋	鉋	鉋	鉋	鉋	鉋	鉋
791	鉋	鉋	鉋	鉋	鉋	鉋	鉋	鉋	鉋	鉋
792	鉋	鉋	鉋	鉋	鉋	鉋	鉋	鉋	鉋	鉋
793	鉋	鉋	鉋	鉋	鉋	鉋	鉋	鉋	鉋	鉋
794	鑒	鑒	鑒	鑒	鑒	鑒	鑒	鑒	鑒	鑒
795	鑒	鑒	鑒	鑒	鑒	鑒	鑒	鑒	鑒	鑒
796	閤	閤	閤	閤	閤	閤	閤	閤	閤	閤
797	閤	閤	閤	閤	閤	閤	閤	閤	閤	閤
798	閤	閤	閤	閤	閤	閤	閤	閤	閤	閤
799	陟	陟	陟	陟	陟	陟	陟	陟	陟	陟
800	陟	陟	陟	陟	陟	陟	陟	陟	陟	陟
801	陟	陟	陟	陟	陟	陟	陟	陟	陟	陟
802	雋	雋	雋	雋	雋	雋	雋	雋	雋	雋
803	霈	霈	霈	霈	霈	霈	霈	霈	霈	霈
804	霈	霈	霈	霈	霈	霈	霈	霈	霈	霈
805	葩	葩	葩	葩	葩	葩	葩	葩	葩	葩
806	鞋	鞋	鞋	鞋	鞋	鞋	鞋	鞋	鞋	鞋
807	韞	韞	韞	韞	韞	韞	韞	韞	韞	韞
808	韶	韶	韶	韶	韶	韶	韶	韶	韶	韶
809	顏	顏	顏	顏	顏	顏	顏	顏	顏	顏
810	顏	顏	顏	顏	顏	顏	顏	顏	顏	顏
811	飢	飢	飢	飢	飢	飢	飢	飢	飢	飢
812	餓	餓	餓	餓	餓	餓	餓	餓	餓	餓
813	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮
814	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮
815	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮
816	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮
817	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮
818	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮
819	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮
820	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮
821	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮
822	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮
823	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓
824	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓
825	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓
826	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓
827	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓
828	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓
829	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓
830	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠
831	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠
832	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠
833	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠
834	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠
835	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠
836	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠
837	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠
838	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠
839	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠
840	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠

保守サービスのご案内

●保証について

保証期間（1 年間）中の故障につきましては、「保証書」の記載にもとづき当社が無償で修理いたしますので「保証書」は大切に保管してください。

（詳しくは「保証書」の無料修理規定をご覧ください。ただし、子機用電池パック、インクタンクを除く。）

●保守サービスについて

保証期間後においても、引き続き安心してご利用いただける「定額保守サービス」と、故障修理のつど料金をいただく「実費保守サービス」があります。

当社では、安心して商品をご利用いただける定額保守サービスをおすすめしております。

保守サービスの種類は

定額保守サービス	●毎月一定の料金をお支払いいただき、故障時には当社が無償で修理を行うサービスです。
実費保守サービス	●修理に要した費用をいただきます。 （修理費として、お客様宅へおうかがいするための費用および修理に要する技術的費用・部品代をいただきます。） （故障内容によっては高額になる場合もありますのでご了承ください。） ●当社のサービス取扱所まで商品をお持ちいただいた場合は、お客様宅へおうかがいするための費用が不要になります。

●故障の場合は

故障した場合のお問い合わせは局番なしの 113 番へご連絡ください。

●お話し中調べは

お話し中調べは局番なしの 114 番へご連絡ください。

●その他

定額保守サービス料金については、NTT 通信機器お取扱相談センタへお気軽にご相談ください。

NTT 通信機器お取扱相談センタ

■ NTT 東日本エリア（北海道、東北、関東、甲信越地区）でご利用のお客様

お問い合わせ先：☎ 0120-970413

※ PHS・携帯電話・050IP 電話からのご利用は：03-5667-7100（通話料がかかります）

■ NTT 西日本エリア（東海、北陸、近畿、中国、四国、九州地区）でご利用のお客様

お問い合わせ先：☎ 0120-109217

※ PHS・携帯電話・050IP 電話からのご利用は

東海、北陸、近畿、中国、四国地区

06-6341-5411（通話料がかかります）

九州地区

092-720-4862（通話料がかかります）

受付時間：9:00～21:00

※年末年始：12月29日～1月3日は休業とさせていただきます

電話番号はお間違えにならないように、ご注意ください。

●補修用部品の保有期間について

本商品の補修用性能部品（商品の性能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後、7 年間保有しています。

索引

【英数】

FAX 受動動作	
電話モード	122
ファクス優先	123
らくらくファクス機能	125
NTT の回線サービス	
F-NET	145
iFAX	146
キャッチホン	74
キャッチホン・ディスプレイ	139
携帯通話設定	80
着信拒否	132
電話帳着信音呼出	131
ナンバー・ディスプレイ	129、131、132、134
モデムダイヤルインサービス	140

【い】

インクタンク	33
交換	171
印刷にかすれやむらがあるときは	169

【お】

応答メッセージ	
自作メッセージ	99
留守録モニタージュ	97
お手入れ	191
音	
音量	46
キータッチ音	153
キータッチトーン	159
着信音	48
親機のトラブル	
印刷	183
コピー／ファクス	180
全般	178
電話サービス、その他	182
電話／留守番電話	178
メッセージ	185
親機の便利な機能	
音声読上げ辞書	156
キータッチ確定時間	156
キーロックタイマー	156

タッチパネル確定時間	156
おやすみモード	95

【か】

各部のなまえとはたらき	16
各部名称	16
画面	
コントラスト	152、159
待機画面	151
待受画面	151

【き】

記録紙	36
記録紙や原稿が汚れるときは	167

【く】

クイック通話	79
クリーニング	
インクふき取りクリーニング	167
プリンタ内部	168
プリントヘッド	170

【け】

原稿	38
原稿または記録紙がつまったときは	174

【こ】

子機の増設	147
子機のトラブル	
全般	188
メッセージ	190
コピー	
カラーコピー	127
モノクロコピー	126

【さ】

再ダイヤル	69
-------	----

【し】

時刻を合わせる	44
充電	40
商品の構成	15

【す】

スピーカホン…………… 78

【せ】

接続…………… 25

【そ】

操作部

親機…………… 17

画面表示…………… 18

子機…………… 19

タッチパネル…………… 18

【た】

ダイヤル回線…………… 28

【ち】

着信履歴…………… 134

【て】

停電…………… 177

電池マーク…………… 41

電話帳

電話をかける…………… 68

登録する…………… 60

電話を受ける…………… 74

着信相手読上げ…………… 154

電話をかける…………… 66

【と】

ドアホンを接続する…………… 149

【な】

内線通話…………… 70

【は】

廃棄（または譲渡、返却）される場合…………… 9

バッテリーマーク…………… 41

【ひ】

日付を合わせる…………… 44

【ふ】

ファクス

受信する…………… 115

送信する…………… 110

ディスプレイで確認する…………… 120

同時プリント…………… 124

名前と電話番号を登録する…………… 56

ファクスを受ける

着信相手読上げ…………… 154

付属品…………… 15

プッシュホン…………… 28

プリントヘッド…………… 31

位置を調整…………… 171

【ほ】

保留…………… 76

保留転送…………… 76

【め】

名称…………… 16

メニュー

親機メニュー…………… 22

子機メニュー…………… 23

ナビメニュー…………… 21

メモリ

印刷する…………… 121

確認する…………… 120

消去…………… 121

全消去…………… 158

【も】

モーニングコール…………… 160

文字入力

親機…………… 50

子機…………… 53

【ゆ】

優先呼出…………… 79

【り】

リスト

機能設定リスト…………… 166

通信結果リスト…………… 166

電話帳リスト…………… 166

リフレッシュング

プリントヘッド…………… 170

【る】

留守モード…………… 91

外線リモート操作…………… 101

内線リモート操作…………… 93

留守録転送…………… 104

【わ】




ワンタッチダイヤル

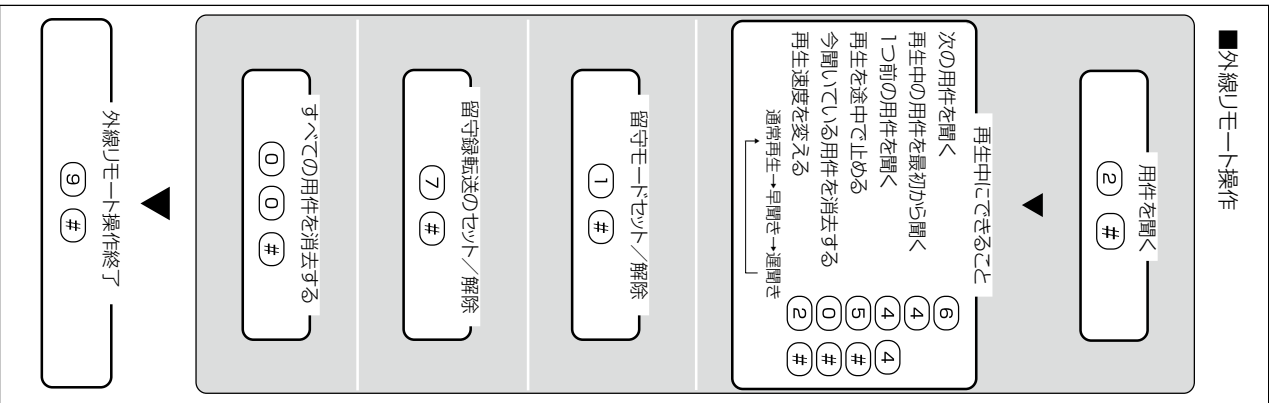
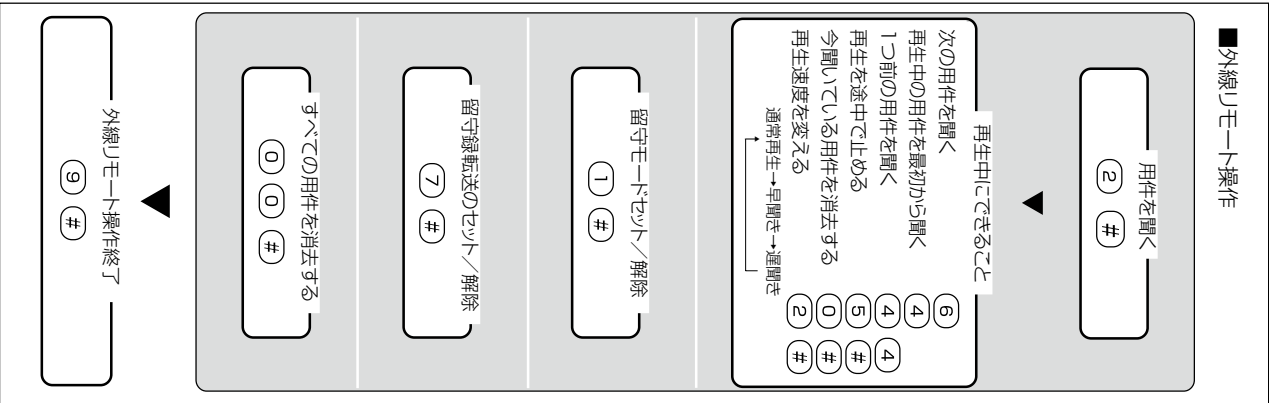
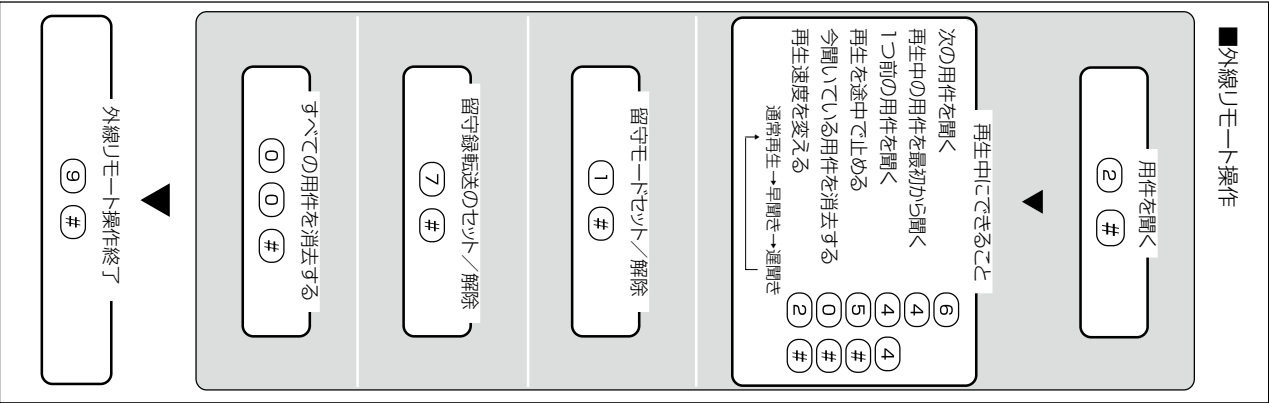
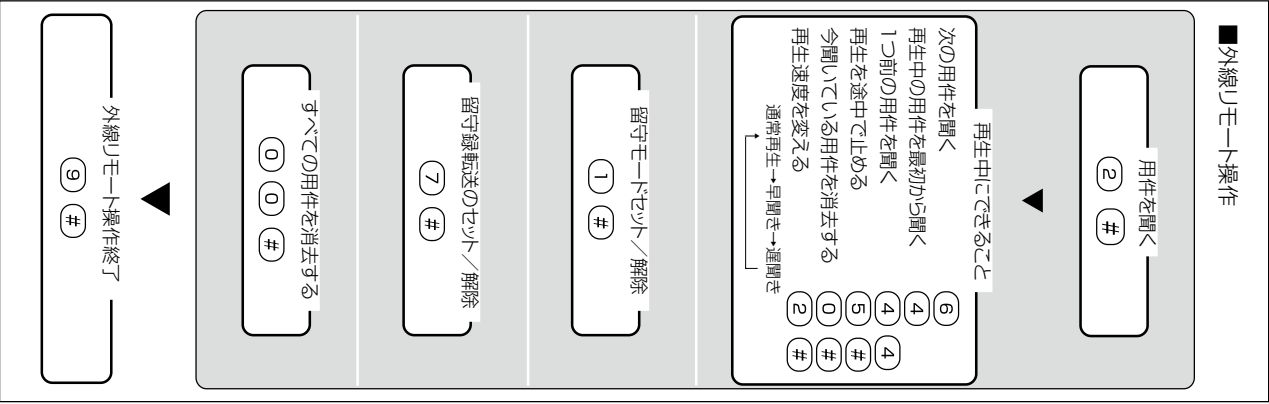
電話をかける…………… 68

登録する…………… 58

外出先からのリモート操作早見表

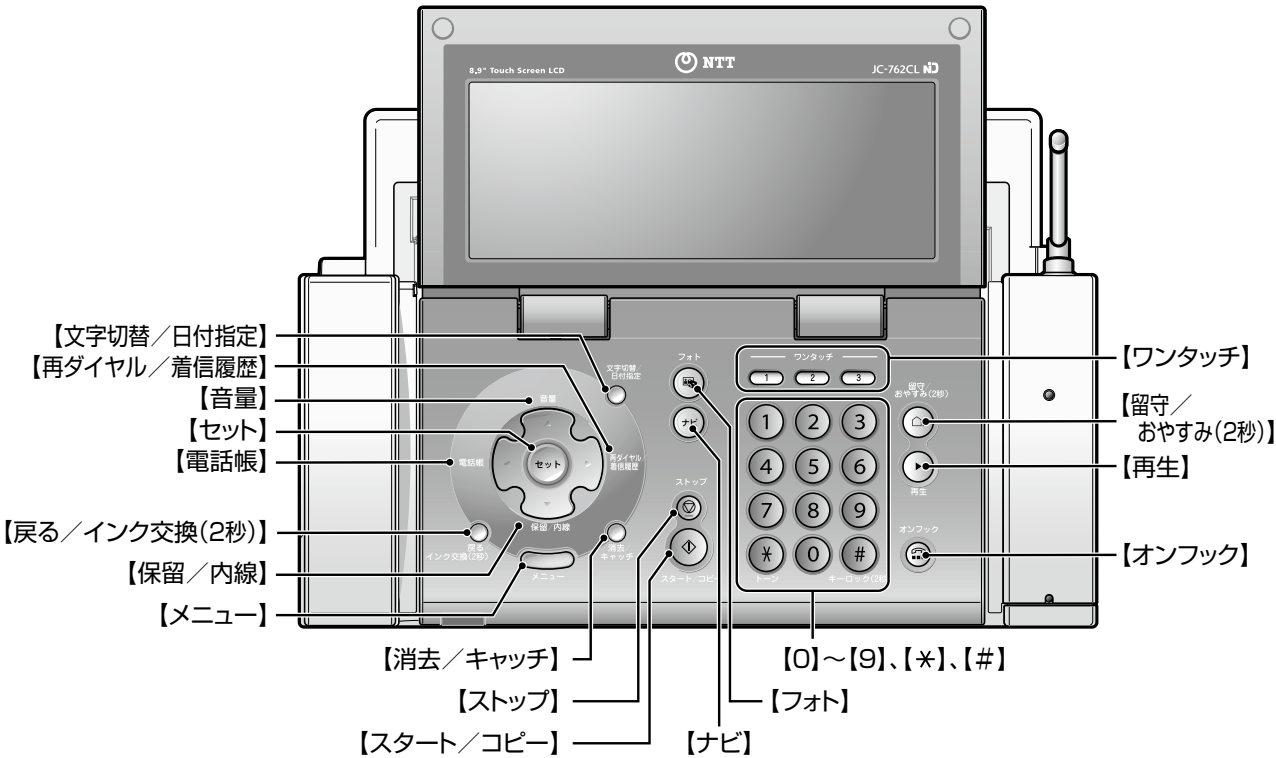
外出先からのリモート操作早見表です。切り取って、定期入れや名刺入れなどに入れてご活用ください。詳しい操作方法については「外出先から操作する (P.101)」をご覧ください。

<div>外線リモート操作早見表</div> <div>■外線リモート操作の手順</div> <div><div>1 自宅に電話をかける</div><div>トーン信号の出せる電話機から操作します。</div><div></div></div> <div>2 応答メッセージが流れている間に (#) を押す</div> <div><div>① ② ③</div><div>④ ⑤ ⑥</div><div>⑦ ⑧ ⑨</div><div>* 0 #</div><div></div></div> <div>3 「暗証番号を入れてください」→暗証番号(4桁の数字)を入力する</div> <div>暗証番号：<div><div></div><div></div><div></div><div></div></div></div> <div>4 外線リモート操作する</div> <div>裏面をご覧ください。</div> <div>5 終わったら電話を切る</div> <div></div>
--

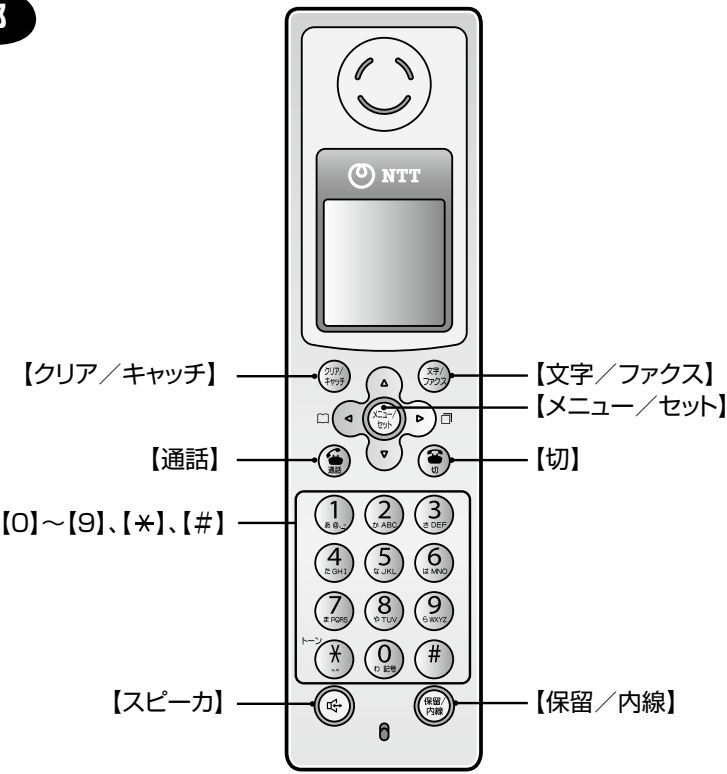


本文中の操作パネル部ボタン名

親機 操作パネル部



子機 操作パネル部



参考



本商品には、ニッケル水素電池を使用しています。
電池のリサイクルにご協力ください。



当社は国際エネルギー省プログラムに参加事業者として、本商品がエネルギー省プログラムの基準に適合していると判断します。



この取扱説明書は、森林資源保護のため、再生紙を使用しています。

当社ホームページでは、各種商品の最新の情報やバージョンアップサービスなどを提供しています。
本商品を最適にご利用いただくために、定期的にご覧いただくことをお勧めします。

当社ホームページ：<http://www.ntt-east.co.jp/ced/>
<http://www.ntt-west.co.jp/kiki/>

使い方等で不明の点がございましたら、NTT 通信機器お取扱相談センタへお気軽にご相談ください。

NTT 通信機器お取扱相談センタ

■NTT 東日本エリア（北海道、東北、関東、甲信越地区）でご利用のお客様

お問い合わせ先： 0120-970413

※PHS・携帯電話・050IP 電話からのご利用は：03-5667-7100（通話料がかかります）

■NTT 西日本エリア（東海、北陸、近畿、中国、四国、九州地区）でご利用のお客様

お問い合わせ先： 0120-109217

※PHS・携帯電話・050IP 電話からのご利用は
東海、北陸、近畿、中国、四国地区
06-6341-5411（通話料がかかります）
九州地区
092-720-4862（通話料がかかります）

受付時間：9:00～21:00

※年末年始：12月29日～1月3日は休業とさせていただきます

電話番号はお間違えにならないように、ご注意願います。

